

3-3. 特別の選考等

3 特別の選考

特別の選考の種類	特別の選考の実施														その他			
	特別免許状の活用状況	英語の資格	実績	スポーツ・芸術での技能や	経 験	国際貢献活動	務 経 験	民間企業等勤	教職経験	うち臨任含む	うち講師含む	うち非常勤含む	師 養 成 塾 「 生 教 師 養 成 塾 」	いわゆる「教		修了希望者	大学院進学・	小学校の特定
	特別免許状の活用	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免		特免	特免	特免
1 北海道	○	○		○			○	○										○ 無線通信士、海技士
2 青森県	○	○	○	○			○	○										
3 岩手県	○	○		○	○		○	○										○ 特定教科特別選考
4 宮城県	○		○*						○	○	○	○					○*	○* 地域枠
5 秋田県	○	○		○	○		*	*										○ 栄養教諭特別選考(任用換) 教職大学院特別選考
6 山形県	○			○			○		○	○	○	○			○			
7 福島県	○								○	○	○	○						
8 茨城県	○	○		○	○		○	○	○	○	○						○	○ 大学等推薦特別選考
9 栃木県	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○					○	○ 若手人材を対象とする一部試験を 免除した選考 ○ 特別支援学級担当等の経験により 一部試験を免除した選考
10 群馬県	○		○	○			○		○	○	○							
11 埼玉県	○	○					○	○	○	○			○					○ 大学推薦特別選考(特例) 大学推薦特別選考
12 千葉県	○	○	○*				○											○ 特定教科特別選考
13 東京都	○		○	○	○								○				○	
14 神奈川県	○	○	○	○	○		○		○	○*		○						○ 社会人経験者 ウ
15 新潟県	○	○		○			○	○										
16 富山県	○	*	○	○	○		○		○									○ 特別選考 特定資格
17 石川県	○	○*	○				○*		○									○* 教育職員普通免許状(看護)を 有しない看護受験者を対象とし た選考
18 福井県	○	○		○											○			○ 教育エキスパート特別選考①専門 教育分野 ○ 教育エキスパート特別選考②英語 教育分野
19 山梨県	○	○	*	○	○		○	○	○								*	
20 長野県	○								○									○ 発達障がい児童生徒特別支援のた めの選考 ○ 博士号取得者を対象とした選考 補欠合格者を対象とした選考 大学推薦選考
21 岐阜県	○		○	○			*											○ 多文化共生特別選考
22 静岡県	○	○			○		○	○	○	○	*							○ ポルトガル語・スペイン語が堪能な 者を対象とした選考 ○ 医療機関等での勤務経験を有する 者を対象とした選考 ○ 身体障害者特別選考 ○ 博士号を取得した者を対象とした選 考
23 愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*				○	○		○ 外国語(ポルトガル語、スペイン語、 中国語、フィリピン(タガログ)語)堪能 者選考 ○ 昨年度の補欠者に対する特別選考 ○ 介護理由退職者特別選考 ○ 大学推薦特別選考 ○ 教職大学院修了見込者、特別支援 教育担当
24 三重県	○	○	○*	○			○	○	○	○	○						○*	
25 滋賀県	○	○*		○	○*													○* 社会人特別選考
26 京都府	○	○		○	○		○	○					○					○ スペシャリスト特別選考 ○ 大学推薦特別選考
27 大阪府	○								○						○			
28 兵庫県	○	○					○	○										
29 奈良県	○	○	○				○	○	○	○	○				○	○		
30 和歌山県	○	○		○	○*				○*									○ 博士号取得者特別選考
31 鳥取県	○	○		○			○	○	○									
32 島根県																		

特別の選考の種類	特別の選考の実施														その他	特免							
	特別の選考の実施状況	特別免許状の活用状況	英語の資格	実績での技術や	スポーツ・芸術	国際貢献活動	民間企業等勤務経験	教職経験	うち臨任含む	うち講師含む	うち非常勤含む	いわゆる「教員養成塾」生	修了希望者	大学院進学者			小学校の特定の教科						
			特免	特免	特免	特免	特免	特免				特免	特免	特免			特免						
33 岡山県	○	○	○	○	○			○	○	○					○	○	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考] 特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考 小学校(地域枠)／中学校(地域枠)／養護教諭(地域枠)						
34 広島県	○	○			○	○		○	○	○							グローバル人材を対象とした特別選考【教職経験者(英語)】 グローバル人材を対象とした特別選考【外国人留学生等】	○					
35 山口県	○	○			○	○											教職大学院修了見込者特別選考 博士号取得者特別選考	*					
36 徳島県	○	○			○			○	○	○													
37 香川県	○	○						○	○	○							○ 実習助手・寄宿舎指導員						
38 愛媛県	○				*					○							○* 講師等特別選考						
39 高知県	○	○						○	○	○													
40 福岡県	○									○*							○ 教職大学院修了予定者						
41 佐賀県	○	○	○		○			○	○							○							
42 長崎県	○				○			○															
43 熊本県	○				○												* *						
44 大分県	○	○			○			○	○														
45 宮崎県	○	○			○			○	○	○													
46 鹿児島県	○	○	○*		○			○	○	○						○*							
47 沖縄県	○				○												○ 特定の資格を有する者を対象とした特別選考						
48 札幌市	○	○			○			○	○														
49 仙台市	○								○	○	○						○* 仙台市退職者特別選考						
50 さいたま市	○		○			○		○	○		○*				○		○ 小学校大学推薦特別選考 特別支援教育特別選考						
51 千葉市	○	○	○*					○									○ 特定教科特別選考	○					
52 横浜市	○				○	○		○	○	○		○					○ 大学推薦特別選考						
53 川崎市	○		○			○		○	○	○	○						○ 医療資格、臨床心理士						
54 相模原市	○		○		○	○		○	○	○	○						○* 医療資格、臨床心理士						
55 新潟市	○		○					○	○								○ 教職大学院特別選考						
56 静岡市	○								○*	○		○					○ 前年度補欠者を対象とした選考						
57 浜松市	○					○		○	○	○							○ バイリンガル選考 発達支援推進教員選考						
58 名古屋市																							
59 京都市	○	○	○	○	○	○											○ フロンティア特別選考 理数工	○					
60 大阪市	○													○									
61 堺市	○					○*		○*	○	○	○	○		○			○ 大学等推薦選考						
62 神戸市																							
63 岡山市	○				○				○	○					○		○ 理科教育推進の特別選考						
64 広島市	○	○			○	○		○	○	○							○ グローバル人材を対象とした特別選考【教職経験者(英語)】 グローバル人材を対象とした特別選考【外国人留学生等】	○					
65 北九州市	○								○	○	○						○ 教職大学院修了者特別選考						
66 福岡市	○				○	○		○	○	○							○ 教職大学院修了者特別選考						
67 熊本市																							
68 豊能地区	○								○	○	○						○ 大学等推薦者対象の選考						
合計	64	36	22	3	39	9	17	1	42	27	42	0	25	24	17	9	0	7	0	12	0	42	12
	(64)	(34)	(15)	(2)	(39)	(8)	(15)	(1)	(42)	(28)	(39)	(0)	(21)	(23)	(16)	(9)	(0)	(7)	(0)	(10)	(0)	(37)	(12)

(注)*は前年度から変更のあった県市を表す。また、()内は前年度の数値である。

(1) 英語の資格による特別の選考

(青森県)

選考名称	社会人特別選考			新規・継続	継続				
対象となる校種・教科	高等学校 英語			特別免許状の活用	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める			年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	1級	TOEIC	860点以上	その他 一般選考の受験資格及び左記の資格要件に加え、出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者(免許状を有しない場合は、上記に加え、5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること)				
	TOEFL PBT	600点以上	TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT	250点以上	GTEC CBT						
	TOEFL iBT	100点以上	IELTS						
資格要件の確認方法	実用英語技能検定試験合格証明書、TOEICやTOEFLのスコアシートの写しを提出								
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接 第二次試験:面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				2				2
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
	平成30年度受験者数(名)					1			1

(宮城県)

選考名称	英語枠			新規・継続	本年度新規				
対象となる校種・教科	小学校			特別免許状の活用	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める			年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	15名程度			満	59	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定		TOEIC		その他 小学校の普通免許状と中学校、高等学校いずれかの外国語(英語)教諭の普通免許状の両方を有する者又は平成30年3月31日までに両方を取得見込みの者。				
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT		IELTS						
資格要件の確認方法	出願時の申請及び2次選考時の免許状の写しの提出								
選考方法・試験内容	一般選考出願者と同様の試験内容による選考を行うが、採用枠内で合格・名簿登載にならなかった受験者においては一般選考に含めて選考を行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
	平成30年度受験者数(名)			27					27

(栃木県1)

選考名称	英語の資格により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	1級	TOEIC	900以上		その他	一般選考の受験資格を満たしていること		
	TOEFL PBT	600以上	TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	100以上	IELTS						
資格要件の確認方法	証明する書類の写しを提出させ、書類選考を実施。								
選考方法・試験内容	対象となった者については、第1次試験の学力試験のうち英語の専門科目を免除し、一般教養試験と面接のみ行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			1	3				4
	平成28年度採用者数(名)			0	0				0
	平成29年度受験者数(名)			3	8				11
	平成29年度採用者数(名)			1	1				2
	平成30年度受験者数(名)			0	7				7

(栃木県2)

選考名称	小学校における英語教育に係る特別選考(英語の免許による一部試験の免除)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	小学校で30名程度			満	44	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定		TOEIC			その他	ア 小学校教諭免許状を既に取得あるいは取得見込みの者。 イ 中学校教諭又は高等学校教諭の英語普通免許状等を既に取得あるいは取得見込みの者。		
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT		IELTS						
資格要件の確認方法	英語の普通免許状等の写しまたは取得見込み証明書を提出させ、書類選考を実施。								
選考方法・試験内容	対象となった者は、第1次試験の一般教養試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)		62						62
	平成29年度採用者数(名)		25						25
	平成30年度受験者数(名)		75						75

(群馬県)

選考名称	英語科教員特別選考				新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校の英語受験者				特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める				年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満	59	歳以下	
資格要件	実用英語技能検定	1級		TOEIC	900点		その他				
	TOEFL PBT			TOEIC&TOEIC SW							
	TOEFL CBT			GTEC CBT							
	TOEFL iBT	100点		IELTS							
資格要件の確認方法	実用英語技能検定合格証、TOEFL得点証明書又はTOEIC得点証明書の写しを提出										
選考方法・試験内容	「中学校教育に関する科目(英語)」若しくは「高等学校教育に関する科目(英語)」のみ受験										
実施状況					小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)					4	4				8
	平成28年度採用者数(名)					2	1				3
	平成29年度受験者数(名)					4	6				10
	平成29年度採用者数(名)					2	3				5
	平成30年度受験者数(名)					4	7				11

(千葉県・千葉市)

選考名称	英語科志願者の特別選考				新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校				特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める				年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満	59	歳以下	
資格要件	実用英語技能検定	1級		TOEIC	860点		その他				
	TOEFL PBT	590点		TOEIC&TOEIC SW							
	TOEFL CBT	240点		GTEC CBT							
	TOEFL iBT	95点		IELTS							
資格要件の確認方法	出願時に合格証書・公開テスト公式認定書の写しを提出										
選考方法・試験内容	1次選考で「専門教科」を免除して実施する。										
実施状況					小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)					37					37
	平成28年度採用者数(名)					4	4				8
	平成29年度受験者数(名)					31					31
	平成29年度採用者数(名)					4	7				11
	平成30年度受験者数(名)					34					34

受験者数は千葉県と千葉市を合算した数値であり、中学校・中高共通・高等学校は中学校に記載。採用者数に千葉市は含まない

(東京都)

選考名称	小学校(英語コース)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校全科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	39	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定		TOEIC		その他	昭和53年4月2日以降に出生し、小学校教諭普通免許状及び英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状を取得済みの者又は平成30年4月1日までに取得する見込みの者を対象とする。			
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT		IELTS						
資格要件の確認方法	合格発表後に免許状の写しを提出させる。								
選考方法・試験内容	一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		—						0
	平成28年度採用者数(名)		—						0
	平成29年度受験者数(名)		56						56
	平成29年度採用者数(名)		9						9
	平成30年度受験者数(名)								0

(神奈川県)

選考名称	英語資格所有者		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	準1級取得者	TOEIC		IPテストを除き730点以上取得	その他	免許状所有または取得見込みであること		
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	80点以上取得者	IELTS						
資格要件の確認方法	資格の原本提示								
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち教科専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			2	33				35
	平成28年度採用者数(名)			1	15				16
	平成29年度受験者数(名)			0	32				32
	平成29年度採用者数(名)			0	12				12
	平成30年度受験者数(名)			22	97				119

(富山県)

選考名称	特別選考 特定資格		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	中高・英語		特別免許状の活用				無		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)								
資格要件	実用英語技能検定	1 級	TOEIC	860 点以上			その他		
	TOEFL PBT	600 点以上	TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	100 点以上	IELTS						
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
	平成30年度受験者数(名)								0

※特別選考「特定資格」の資格ごとの受験者数、採用者数は非公表

(石川県)

選考名称	英語に係る資格を有する英語受験者を対象とした選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	中高・英語		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)								
資格要件	実用英語技能検定	1級	TOEIC	900 点以上			その他	一般選考の受験資格を全て満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の英語受験者のうち、平成27年4月1日以降に、左のいずれかを取得した者	
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	100 点以上	IELTS						
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書と資格証明書の写しを提出、試験初日には資格証明書の原本を提示。								
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容から、筆記試験における教科専門を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			9	中に含む				9
	平成28年度採用者数(名)				4				4
	平成29年度受験者数(名)			5	中に含む				5
	平成29年度採用者数(名)				2				2
	平成30年度受験者数(名)			1					1

(岐阜県)

選考名称	英語特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校・英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)								満
資格要件	実用英語技能検定	1級	TOEIC	860	点以上	その他			
	TOEFL PBT	600	点以上	TOEIC&TOEIC SW					
	TOEFL CBT	250	点以上	GTEC CBT					
	TOEFL iBT	100	点以上	IELTS					
資格要件の確認方法	出願時に成績を証明する書類の写しを提出								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験において、教科専門を免除し、教職教養のみを実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				8				8
	平成28年度採用者数(名)				2				2
	平成29年度受験者数(名)				5				5
	平成29年度採用者数(名)				2				2
	平成30年度受験者数(名)				2				2

(愛知県1)

選考名称	小学校英語特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)								満
資格要件	実用英語技能検定	2級 以上	TOEIC	500	点以上	その他			
	TOEFL PBT	470	点以上	TOEIC&TOEIC SW					
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	52	点以上	IELTS					
資格要件の確認方法	出願資格を満たすことを証明する書類として、主催者団体が発行する公式認定書又は合格証明書(いずれも原本に限る)を出願時に提出する。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験の成績に加味する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)		111						111
	平成29年度採用者数(名)		47						47
	平成30年度受験者数(名)		124						124

(愛知県2)

選考名称	英語有資格者特別選考			新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校・英語			特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める			年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)									
資格要件	実用英語技能検定	1級	TOEIC	860 点以上		その他				
	TOEFL PBT	580 点以上	TOEIC&TOEIC SW							
	TOEFL CBT		GTEC CBT							
	TOEFL iBT	92 点以上	IELTS							
資格要件の確認方法	出願資格を満たすことを証明する書類として、主催者団体が発行する公式認定書又は合格証明書(いずれも原本に限る)を出願時に提出する。									
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認めた人は、第2次試験の実技試験を免除する。									
実施状況				小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				5	28	0			33
	平成28年度採用者数(名)				2	12	0			14
	平成29年度受験者数(名)				5	37	0			42
	平成29年度採用者数(名)				2	15	0			17
	平成30年度受験者数(名)				15	27	0			42

(三重県)

選考名称	小学校英語教育推進者特別選考			新規・継続			今年度新規			
対象となる校種・教科	小学校			特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める			年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	約10名								
資格要件	実用英語技能検定		TOEIC			その他	要項に示した一般選考の申込資格1・2に加えて、小学校教諭普通免許状かつ中学校教諭英語の普通免許状を有する人、または平成30年3月31日までに取得見込の人。			
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW							
	TOEFL CBT		GTEC CBT							
	TOEFL iBT		IELTS							
資格要件の確認方法	提出された免許状、もしくは取得見込状況をもとに審査する。									
選考方法・試験内容	第1次選考試験では一般選考における「筆答試験(教養)」を免除し、第2次選考試験では「中学校教諭(英語)の技能・実技」を実施。									
実施状況				小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)									0
	平成28年度採用者数(名)									0
	平成29年度受験者数(名)									0
	平成29年度採用者数(名)									0
	平成30年度受験者数(名)			19						19

(奈良県1)

選考名称	小学校英語教育推進特別選考			新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	小学校			特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める			年齢制限			基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)									
資格要件	実用英語技能検定	準1級	以上	TOEIC	730		その他 中学校英語、高等学校英語のいずれかの教諭普通免許状所有者(平成30年3月31日までの取得見込みを含む)			
	TOEFL PBT	550 点以上		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT	213 点以上		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	80 点以上		IELTS						
資格要件の確認方法	第1次試験時の教員免許証コピー、資格証明書コピーの提出									
選考方法・試験内容	第1次試験では、一般の受験者と同じ試験を実施し、総得点に加点する。第2次試験では英語力を確認する個人面接を行う。									
実施状況				小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			15						15
	平成28年度採用者数(名)			3						3
	平成29年度受験者数(名)			20						20
	平成29年度採用者数(名)			7						7
	平成30年度受験者数(名)			24						24

(奈良県2)

選考名称	中学校・高等学校英語教育推進特別選考			新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中高英語			特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める			年齢制限			基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)									
資格要件	実用英語技能検定	1級		TOEIC	860		その他			
	TOEFL PBT	600 点以上		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT	250 点以上		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	100 点以上		IELTS						
資格要件の確認方法	第1次試験時に資格証明書コピーの提出									
選考方法・試験内容	第1次試験での教科専門筆記試験を免除 一般教養筆記試験及び集団面接におけるそれぞれの得点が合格最低点以上の者を合格とする。									
実施状況				小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)									0
	平成28年度採用者数(名)									0
	平成29年度受験者数(名)				6	11				17
	平成29年度採用者数(名)				3	1				4
	平成30年度受験者数(名)				4	10				14

(岡山県1)

選考名称	特別選考A[英語の資格による特別選考]		新規・継続				継続			
対象となる校種・教科	①中学校・高等学校の「英語」②高等学校の「数学・理科」③英語を母語とする者		特別免許状の活用				有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)									
資格要件	実用英語技能検定	①1級 ②準1級	TOEIC	①870点以上 ②730点以上			その他	③は、英語を母語とし、日本国内の国公立学校で英語に関する3年以上の教職経験がある者。		
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW							
	TOEFL CBT		GTEC CBT							
	TOEFL iBT	①100点以上 ②80点以上	IELTS							
資格要件の確認方法	①、②: 出願時に、特別選考調書及び実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。 ③: 採用候補者として登録された場合には、在職証明書を提出させる。									
選考方法・試験内容	①、②: 書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 ③: 第1次試験免除、第2次試験は特別面接と模擬授業を課す。									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)			8	21				29	
	平成28年度採用者数(名)			1	3				4	
	平成29年度受験者数(名)			4	14				18	
	平成29年度採用者数(名)			2	7				9	
	平成30年度受験者数(名)			3	16				19	

(岡山県2)

選考名称	小学校(英語枠)		新規・継続				継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用				無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限				基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	20								
資格要件	実用英語技能検定	2級 以上	TOEIC	520 点以上			その他	中学校英語、高等学校英語のいずれかの教諭普通免許状所有者(平成30年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む)		
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW							
	TOEFL CBT		GTEC CBT							
	TOEFL iBT	57 点以上	IELTS							
資格要件の確認方法	願書による。ただし、実用英語技能検定、TOEFL又はTOEICで出願する者は、実施団体が発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。									
選考方法・試験内容	一般選考と同様									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)		33						33	
	平成28年度採用者数(名)		7						7	
	平成29年度受験者数(名)		7						7	
	平成29年度採用者数(名)		1						1	
	平成30年度受験者数(名)		12						12	

(佐賀県)

選考名称	小学校特別選考(英語)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定		TOEIC		その他 「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の所有者又は平成30年3月末までに取得見込みの者。				
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT		IELTS						
資格要件の確認方法	「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込証明書を受験申込時に提出する。								
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験ともに、まず小学校特別選考(英語)を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		8						8
	平成28年度採用者数(名)		5						5
	平成29年度受験者数(名)		7						7
	平成29年度採用者数(名)		4						4
	平成30年度受験者数(名)		4						4

(鹿児島県)

選考名称	小学校英語特別選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	小学校教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	40	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	準1級 以上	TOEIC	730点 以上	その他 小学校普通免許状及び中学校英語又は高等学校英語の普通免許状を有する者(取得見込みの者を含む)				
	TOEFL PBT	550点 以上	TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	79点 以上	IELTS						
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)								
選考方法・試験内容	出願時の証明書をもとに審査会で選考 1次試験における教職教養試験の免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
	平成30年度受験者数(名)		3						3

(さいたま市)

選考名称	小学校英語教育推進特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	58	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	準1級以上 合格	TOEIC	730 点以上		その他	中学校教諭普通免許(英語)所有者(取得見込者)		
	TOEFL PBT	550 点以上	TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	80 点以上	IELTS						
資格要件の確認方法	中学校教諭の英語の普通免許の写し(取得見込証明書)又は英語に関する資格について各実施団体が発行する証明書の写しの提出								
選考方法・試験内容	1次試験のうち、筆答試験を免除し、面接試験(集団面接と英語による集団面接)を実施。第2次試験において、小学校教員の実技試験のほか、英語に関する実技試験を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		12						12
	平成28年度採用者数(名)		7						7
	平成29年度受験者数(名)		17						17
	平成29年度採用者数(名)		5						5
	平成30年度受験者数(名)		17						17

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅳ(英語資格所有者 特別選考)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	準1級 以上	TOEIC	730 点以上		その他	受験資格は一般選考と同様		
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	80 点以上	IELTS						
資格要件の確認方法	第2次試験(実技試験)当日に、資格に関わる証明書等の原本を確認するとともに写しを提出								
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、一般教養・教職専門試験 第2次試験:一般選考と同じ								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			17					17
	平成28年度採用者数(名)			2					2
	平成29年度受験者数(名)			18					18
	平成29年度採用者数(名)			3					3
	平成30年度受験者数(名)			8					8

(相模原市)

選考名称	英語資格所有者		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	準1級 以上	TOEIC	730 点以上		その他	受験する受験区分・教科の教諭普通免許状を所有している人、又は、平成30年3月31日までに取得見込みの人		
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	80 点以上	IELTS						
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、資格に関わる証明書の写しを提出								
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、教科専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			6					6
	平成28年度採用者数(名)			1					1
	平成29年度受験者数(名)			4					4
	平成29年度採用者数(名)			0					0
	平成30年度受験者数(名)			1					1

(新潟市)

選考名称	中・高共通「英語」受検者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中・高共通 英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定	1級	TOEIC	945点 以上		その他	一般選考の受験資格を満たす者で、資格要件のうちいずれかを満たす者		
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW						
	TOEFL CBT		GTEC CBT						
	TOEFL iBT	110点 以上	IELTS						
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しを提出し、受検受付時に原本を提示する。								
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)			1					1
	平成29年度採用者数(名)			0	0				0
	平成30年度受験者数(名)			1					1

(京都市)

選考名称	フロンティア特別選考 英語ネイティブコース		新規・継続	継続				
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校・英語		特別免許状の活用	有				
募集人員	その他		年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	フロンティア特別選考(3コース)で10名以内		満 44 歳以下				
資格要件	実用英語技能検定		TOEIC	一般選考の資格要件に以下の①～④の受験資格を追加 ①英語を第一言語とする ②大学卒業(学士号取得)以上 ③平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間で、国公立学校での勤務歴が通算3年以上ある者、または外国語としての英語指導法に関する課程(TESOL, CELTA)を修了または平成30年3月31日までに取得見込である者 ④教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者 ※①～④に加え、特別免許状の授与条件を満たしている者は、普通免許状を所有しない者及び取得見込みのない者も受験可能。				
	TOEFL PBT		TOEIC&TOEIC SW					
	TOEFL CBT		GTEC CBT					
	TOEFL iBT		IELTS					
資格要件の確認方法	出願時に学位授与等証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験 一般・教職教養試験及び専門筆記試験に替えて論文試験を実施 第2次試験 選考内容は一般選考と同様。ただし、論文試験及び指導案作成は英語での記述を可とする							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		1	1				2
	平成28年度採用者数(名)		1	1				2
	平成29年度受験者数(名)		1					1
	平成29年度採用者数(名)		0					0
平成30年度受験者数(名)		1	1				2	

(2) スポーツ・芸術での技能や実績による特別の選考

(北海道)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	養護教諭及び栄養教諭を除く全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	①スポーツの分野において、国際的規模の競技会に日本代表として出場した者又は日本選手権若しくはこれに準ずる全国規模の大会において優秀な成績を収めた者 ②音楽、美術等の芸術の分野において、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を納めた者 ③その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できるもの								
資格要件の確認方法	新聞記事や表彰状等の証明になる資料の写しを出願時に提出し、第2次検査時に当該資料の原本を確認する。								
選考方法・試験内容									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			2					2
	平成28年度採用者数(名)			1					1
	平成29年度受験者数(名)			1	1				2
	平成29年度採用者数(名)				1				1
平成30年度受験者数(名)			1	1	1			3	

(青森県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	一般選考の受験資格に加え、スポーツの分野において、平成24年4月1日以降、以下の実績を有する者 ①国際的又は全国的規模の大会で、特別に優秀な実績を有する者 ②上記①を指導育成した実績を有する者								
資格要件の確認方法	賞状や新聞記事の写し、団体競技の場合はメンバー表等の写しを提出								
選考方法・試験内容	(1)書類審査、(2)面接審査、(3)最終選考(第二次試験と同じ内容(ただし、小学校受験者は体育実技を、中高保健体育受験者は実技試験の全部を免除する。))								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			1	8				9
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)			2	5				7
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)		1	1	4		1		7	

(岩手県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	高等学校卒業後、平成24年度以降に行われた国際大会又は全国大会で、優秀な実績を有する者又はその指導者で、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者。							
資格要件の確認方法	実績を証明する表彰状や新聞記事等の写しを提出させ確認。							
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		5	15				20
	平成28年度採用者数(名)		2	3				5
	平成29年度受験者数(名)		7	19				26
	平成29年度採用者数(名)		0	1				1
		平成30年度受験者数(名)		3	15			18

(秋田県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校教諭等		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	高等学校卒業後に、国際レベルの大会(オリンピック、世界選手権等)に日本代表選手として出場した者							
資格要件の確認方法	志願書、最終学校の卒業(見込)証明書、在職証明書、実績証明書、所持資格の証明書の写し							
選考方法・試験内容	第一次選考試験:総合教養、小論文、面接 第二次選考試験:模擬授業、小論文、面接、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			3				3
	平成28年度採用者数(名)			1				1
	平成29年度受験者数(名)			2				2
	平成29年度採用者数(名)							0
		平成30年度受験者数(名)		2				2

(山形県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校・保健体育		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	一般選考の志願資格を有し、水泳(水球)、ホッケー及びスケート(スピード)の競技種目において、次の(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者。 (ア) 高等学校卒業後、国際大会(オリンピック、世界選手権、アジア大会等)に日本代表で出場した者 (イ) 上記(ア)の者をその大会の出場に際して直接指導した実績を有する者 (ウ) 全国高等学校総合体育大会等で3位以上の成績を収めた者をその大会の出場に際して直接指導した実績を有する者								
資格要件の確認方法	「スポーツ特別選考調書」(様式は県ホームページよりダウンロード)及び実績を証明できる書類の写し								
選考方法・試験内容	第一次選考試験は「小論文」及び「面接」。第二次選考試験は一般選考と同様に実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				8				8
	平成28年度採用者数(名)				0				0
	平成29年度受験者数(名)				11				11
	平成29年度採用者数(名)				0				0
	平成30年度受験者数(名)				2				2

(茨城県)

選考名称	スポーツアスリート特別選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	中学校、高等学校の保健体育の教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格を満たした方で、①平成31年第74回国民体育大会に、本県選手としての出場資格を有する方、若しくは出場資格を有することが可能な方。②過去4年間に、国際大会に日本代表の競技者として出場した方。③過去4年間に、全国大会において競技者として出場し、団体でベスト4以内、個人でベスト8以内の成績を収めた方。団体競技の場合、正選手として大会に出場した方。								
資格要件の確認方法	スポーツの実績一覧(様式あり)及び実績を証明できる書類の写しを提出する。								
選考方法・試験内容	第1次試験のうち保健体育の専門教科試験及び実技試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
	平成30年度受験者数(名)			2	11				13

(栃木県)

選考名称	スポーツの実績により一部試験を免除した選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の全ての教科・科目	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	・A選考(指導実績)・・・指定種目あり。中学生以上の全国的な規模以上の大会に出場した者を直接指導した実績を有する者。(競技実績)・・・全国的な規模以上の大会において優秀な成績を収めた者。 ・B選考(ハイレベルな競技実績)・・・指定種目なし。世界レベルの競技会に日本代表として出場した者、全国的な規模の大会において特に優秀な成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	大会の成績調書及び大会要項、実績を証明できるものを提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果対象となった者は、一般教養試験を免除し、専門科目試験と集団面接を実施する。ただし、保健体育で出願する者は1次試験の全てを免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	-	38	57	-	-		95
	平成28年度採用者数(名)	-	6	9	-	-		15
	平成29年度受験者数(名)	-	26	40	-	-		66
	平成29年度採用者数(名)	-	4	4	-	-		8
	平成30年度受験者数(名)	-	20	37	-	-		57

(群馬県)

選考名称	スポーツ特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校受験者	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	高等学校卒業後に国際規格の協議会(オリンピック競技大会、世界大会、アジア大会等)に日本代表として出場した競技者又は、出場した競技者をその大会の出場に際して直接指導した者。全国規模の競技会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本学生選手権大会等)で4位以上の実績を収めた競技者又は、8位以上の実績を収めた競技者をその大会の出場に際して直接指導した者							
資格要件の確認方法	スポーツ特別選考実績報告書及び実績を証明できる書類の写しの提出							
選考方法・試験内容	「中学校教育に関する科目」若しくは「高等学校教育に関する科目」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		13	25				38
	平成28年度採用者数(名)		2	2				4
	平成29年度受験者数(名)		9	28				37
	平成29年度採用者数(名)		3	7				10
	平成30年度受験者数(名)		6	26				32

(東京都)

選考名称	スポーツ・文化・芸術特別選考		新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	一般選考で募集している中高共通、特別支援学校中学部・高等部、特別支援学校小学部・中学部・高等部の教科(科目等)		特別免許状の活用		無					
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)				満	39	歳以下			
資格要件	次のいずれかの実績を有する者が申込みをすることができる。 ① スポーツの分野において、国際大会(オリンピック、パラリンピック、世界選手権大会、アジア大会及びこれらに準ずる国際大会)又は全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会)で優秀な実績(国際大会においては日本代表として出場、全国大会においては原則として8位以内入賞)を有する者(大学以降の実績に限るとともに、団体競技にあつては正選手として登録され出場した者に限る。)又はこれらの者を指導育成した実績(経験)を有する者 ② 文化・芸術の分野において国際レベルのコンクール・展覧会等に日本代表若しくはこれに準じる資格により出場した者、全国レベルのコンクール・展覧会等において入賞以上の成績を収めた者(大学以降の実績に限る。)又はこれらの者を指導育成した実績(経験)を有する者 ③ その他顕著な活動経験又は技能を有する者で、東京都教育委員会が特に認める者									
資格要件の確認方法	出願時に「正選手としての参加の有無」、「大会規模」、「参加者数」、「芸術分野の賞の相当する順位」など実績の証明できる新聞記事、表彰状等の写し若しくは指導育成の履歴書を申込時に提出する。									
選考方法・試験内容	個人面接及び論文									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)									6
	平成28年度採用者数(名)									3
	平成29年度受験者数(名)									5
	平成29年度採用者数(名)									3
平成30年度受験者数(名)									0	

(神奈川県)

選考名称	スポーツ・芸術実績者		新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校(音楽、美術、保健体育)対象		特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)				満	59	歳以下			
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成30年3月31日までに取得見込みの人で、国際的又は全国的規模の競技会、コンクール、展覧会等における高等学校以降の特別に優秀な実績(平成21年4月1日以降の実績に限る)があり、学校教育活動に活かせると神奈川県教育委員会が認める人									
資格要件の確認方法	賞状、新聞記事等の提示									
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち教科専門試験を免除									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)			5	21					26
	平成28年度採用者数(名)			2	2					4
	平成29年度受験者数(名)			2	13					15
	平成29年度採用者数(名)			2	1					3
平成30年度受験者数(名)			3	8					11	

(新潟県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考制度		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校		特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)					満	59	歳以下	
資格要件	教育職員免許状等の教員採用における資格を満たし、次の要件のいずれかを満たす者。 ア スポーツの分野において、オリンピック、又はそれに相当する世界大会レベルの競技会出場経験があり、優秀な成績をおさめた者 イ 美術、音楽、演劇等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等において優秀な成績をおさめた者								
資格要件の確認方法	受検者本人の申し出による書類選考(表彰状、競技会の結果報告書、競技団体等の証明書等を含む)								
選考方法・試験内容	・書類選考により選ばれた者について面接を行い、審査を経て選考する。 ・出願の期間は設けず、随時募集する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				1				1
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)								0	

(富山県)

選考名称	特別選考 スポーツ実績		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中高 保健体育		特別免許状の活用			無			
募集人員	若干名		年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)					満	59	歳以下	
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成30年3月31日までに取得見込みであり、以下の①又は②に該当する者 ①国際規模の競技会(オリンピック大会、世界選手権、アジア大会等)に日本代表として出場した競技者またはその指導者 ②全国規模の競技会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれに準ずる大会)で4位以上の成績を収めた競技者またはその指導者 ただし、団体種目については正選手として登録された者に限る。								
資格要件の確認方法	特別選考「スポーツ実績」報告書と、特に優れた競技実績の賞状・記録証の写しまたは競技団体が発行する成績証明書等を提出させる。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			20					20
	平成28年度採用者数(名)			8					8
	平成29年度受験者数(名)			16					16
	平成29年度採用者数(名)			6					6
平成30年度受験者数(名)			20					20	

※中高一括で検査を実施しているため、中高の人数を「中」の欄に記載。

(福井県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考①スポーツ分野		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	10名程度(教諭の一般選考の採用予定者数に含める)							
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、国民体育大会の正式競技および硬式野球において、次に掲げる実績を平成23年4月1日以降に収め、それ以後も引き続き活動を行っている者 ①国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会およびこれに準ずる大会)に日本代表として出場した者 ②全国レベルの大会(日本選手権大会およびこれに準ずる大会)において団体種目はベスト4以上、個人種目はベスト8以上の成績を収めた者(ただし、団体種目については正選手として出場した者に限る。また、教職員の全国大会や、全国大会の2部は除く。)								
資格要件の確認方法	大会の賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書または日本代表として出場したことを証明する書類の提出								
選考方法・試験内容	適性検査、個人面接、小論文								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								25
	平成28年度採用者数(名)				2	5			7
	平成29年度受験者数(名)								30
	平成29年度採用者数(名)				1	8			9
平成30年度受験者数(名)								28	

(山梨県)

選考名称	スポーツ実績による特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校保健体育, 高等学校保健体育		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)								
資格要件	①世界大会レベルのスポーツの競技会に日本代表として出場した者 世界大会レベルのスポーツの競技会とは、オリンピック、アジア大会、世界選手権大会等、競技的内容をもつ大会とする。 ②全国的な規模の大会で特に優秀な成績を収めた者 全国的な規模の大会で特に優秀な成績を収めた者とは、文部科学省、(財)日本体育協会又はその加盟団体の主催する全国的規模を有する大会で、優勝もしくはこれに準ずる成績を収めた者。ただし、高校生以下を対象とした大会は除く。								
資格要件の確認方法	実績を証明する書類(賞状等)の写し(第二次検査日に、証明する書類(賞状等)の実物を提出する。)								
選考方法・試験内容	第一次検査において、保健体育の専門教養検査を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			0	5				5
	平成28年度採用者数(名)			0	0				0
	平成29年度受験者数(名)			1	5				6
	平成29年度採用者数(名)			0	0				0
平成30年度受験者数(名)			1	2				3	

(岐阜県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・保健体育、高等学校・保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	高等学校卒業後に、スポーツの分野で、国際レベルの大会に日本代表として出場した者、または全国レベルの大会でベスト4以上の実績を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に実績調書とその根拠資料を提出させ、それをもとに判定会議を実施。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験において、教科専門を免除し、教職教養のみを実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		4	23				27
	平成28年度採用者数(名)		1	2				3
	平成29年度受験者数(名)		5	23				28
	平成29年度採用者数(名)		1	2				3
		平成30年度受験者数(名)		3	23			26

(愛知県)

選考名称	芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	<p>芸術(音楽・美術)の分野又はスポーツの分野において次の要件を満たす人</p> <p>ア 芸術分野 音楽又は美術の分野において次のいずれかに該当する人 (小・中学校における実績は除く。) (ア) 平成19年7月以降に国際レベルのコンクール、展覧会で優秀な成績を収めた人 (イ) 平成19年7月以降に全国レベルのコンクール、展覧会で最優秀相当の成績を収めた人</p> <p>イ スポーツの分野 スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人 (ア) 平成19年7月以降に国際規模の競技会等に日本代表選手として出場した人 国際規模の競技会等とは、オリンピック競技大会、パラリンピック競技大会、ユニバーシアード競技大会、アジア競技大会及び原則としてオリンピック実施競技を統括する国際競技連盟が主催する世界選手権大会等 (イ) 平成19年7月以降に全国規模の競技会等において優勝した人 (小・中学校における実績は除く) 全国規模の競技会等とは、国民体育大会及び(公財)日本体育協会又は(公財)日本オリンピック委員会の加盟団体が主催する全日本選手権大会等</p>								
資格要件の確認方法	「芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考申告書」に実績を証明する書類(特別選考の出願資格を確認できる賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)を出願時に提出する。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)	5	12	27	4	2	0	50	
	平成28年度採用者数(名)	1	2	5	0	1	0	9	
	平成29年度受験者数(名)	9	15	30	5	3	1	63	
	平成29年度採用者数(名)	2	1	5	2	0	0	10	
		平成30年度受験者数(名)	8	18	27	3	5	1	62

(三重県)

選考名称	スポーツ競技者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校教諭「保健体育」、高等学校教諭「保健体育」		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)	中学校 剣道、 高等学校 柔道の各1名			満	29	歳以下		
資格要件	昭和63年4月2日以降に生まれた人で、要項に示す一般選考の申込資格に加えて、剣道または柔道の2競技において、次のいずれかに該当する人。 (1) 国際大会(オリンピック競技大会、世界選手権、アジア競技大会及びそれらと同等の国際大会)に日本代表として出場した競技者 (2) 全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会及びそれらと同等の全国大会)に出場し、個人3位以上、あるいは団体8位以上の成績を収めた競技者 ※ (1)、(2)とも、競技実績は高校卒業後で平成26年4月以降のものに限る。ただし、オリンピックなど4年に1度開催される国際大会については、平成 25年4月以降に開催された直近の大会出場実績も含む。								
資格要件の確認方法	提出された「スポーツ競技者特別選考実績報告書」、および「申込資格に該当することを客観的に証明できる書類」(競技団体が発行する証明書(開封無効)、賞状・記録証の写し等)をもとに審査する。								
選考方法・試験内容	一般選考に比べて (1) 第1次選考試験の筆答試験(専門)を免除、筆答試験(教養)に代えて小論文を実施。 (2) 第2次選考試験の技能・実技試験を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)				2				2
	平成29年度採用者数(名)				2				2
平成30年度受験者数(名)			1	2				3	

(滋賀県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	スポーツの分野において競技者または指導者として、次の①・②の要件のいずれかを満たす場合、提出された書類の審査の結果によりスポーツ特別選考を受験することができる。ただし、校種・職種、教科・科目の別はなく2回(平成26年度および平成27年度実施分も含む)までとする。なお、競技者として申し込む場合は、実績が高等学校卒業後のもの限り、指導者として申し込む場合は、競技指導における監督に限る。 ①国際規模の競技会等に日本代表選手として出場した競技者またはその指導者 ②全国規模の競技会等において8位以上の成績を収めた競技者またはその指導者								
資格要件の確認方法	出願時に所定の「スポーツ特別選考実績報告書」および実績を証明する書類(賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)を提出する。								
選考方法・試験内容	第一次選考試験における一般教養・教職教養の免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			5	25	1			31
	平成28年度採用者数(名)			2	10	1			13
	平成29年度受験者数(名)		1	2	13	2			18
	平成29年度採用者数(名)		1	1	3	2			7
平成30年度受験者数(名)		2	3	8	1			14	

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・保健体育		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	スペシャリスト特別選考で10名以内			満	49	歳以下	
資格要件	保健体育の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方、選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた方、特別免許状の授与条件を満たす方。							
資格要件の確認方法	志願書類として競技成績が確認できる書類(表彰状写し等)を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			10				10
	平成28年度採用者数(名)			1				1
	平成29年度受験者数(名)			3				3
	平成29年度採用者数(名)			0				0
				4				4

(和歌山県)

選考名称	芸術・スポーツ分野特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	芸術分野:音楽、美術、書道等の芸術分野で国際的又は全国規模のコンクール等において上位入賞するなど、優秀な実績を有する人又はその指導者であること。 スポーツ分野:国際大会に日本代表として出場した人又はその指導者であること。全国規模の大会で特に優秀な成績を収めた人又はその指導者であること。							
資格要件の確認方法	実績や成績を客観的に証明できる書類(写し)の提出							
選考方法・試験内容	特選A(教員免許状を有しない人)・・・一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:適性検査、論文、実技、面接 特選B(芸術及び保健体育以外の教員免許状を有する人)・・・一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:適性検査、実技、面接 一次又は二次で論文 特選C(芸術及び保健体育の教員免許状を有する人)・・・一次:作文、面接 二次:適性検査、論文、実技、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	1	8	13	2	0		24
	平成28年度採用者数(名)	0	1	1	0	0		2
	平成29年度受験者数(名)	0	24	11	2	0		37
	平成29年度採用者数(名)	0	2	0	0	0		2
		0	20	7	1	0		28

※特別選考Bの論文試験は、小学校又は特別支援学校受験者は一次で、他校種の受験者は二次で実施。

＜スポーツ・芸術での技能や実績による特別の選考＞

(鳥取県)

選考名称	スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校教諭及び高等学校教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格に加え、平成19年4月1日以降(高等学校卒業後に限る)にスポーツの分野で国際的な大会(オリンピック、パラリンピック、ユニバーシアード大会、世界選手権大会、アジア大会、及びこれらと同等の国際的な規模の大会)に日本代表として出場した者若しくは全国的な大会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれらと同等の全国的な規模の大会)でベスト4以上に入賞した者又は芸術の分野で国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者								
資格要件の確認方法	実績内容を客観的に示す書類								
選考方法・試験内容	選考方法:スポーツ・芸術の分野での実績に応じて加点 試験内容:他の受験者と同じ(スポーツ・芸術の分野に直接関連する教科(保健体育・音楽・美術・芸術(書道))の志願者のみ、第一次選考試験のすべてを免除)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								18
	平成28年度採用者数(名)			2					2
	平成29年度受験者数(名)			6	1				7
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)			2	1				3	

(岡山県)

選考名称	特別選考B[スポーツの実績による特別選考]		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の「保健体育」		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成26年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を収めた者又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる全国大会においてベスト4以上の成績を収めた者。ただし、いずれの場合も団体種目は正選手であった者に限る。								
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			1	1				2
	平成28年度採用者数(名)			0	0				0
	平成29年度受験者数(名)			0	4				4
	平成29年度採用者数(名)			0	0				0
平成30年度受験者数(名)			0	2				2	

(広島県・広島市)

選考名称	スポーツ実績のある者を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校(保健体育)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、且つ、昭和33年4月2日以降に生まれた者であつて、次の要件を満たす者 ・高等学校を卒業していること。又は、高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有していること。 ・スポーツ(41種目)について、高等学校卒業後、全国大会(国民体育大会、日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会及びこれらに準ずる全国大会)で3位以上の成績を収めた者(ただし、団体競技については正選手として出場した者に限る。)であること。 採用候補者として登載された場合、該当教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。							
資格要件の確認方法	実績を証明する書類を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:個人面接,グループワーク 第2次試験:個人面接,模擬授業,実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			30				30
	平成28年度採用者数(名)			5				5
	平成29年度受験者数(名)			16				16
	平成29年度採用者数(名)			6				6
	平成30年度受験者数(名)			12				12

(山口県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校の保健体育、音楽、美術 高等学校の保健体育、芸術(音楽)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 49 歳以下					
資格要件	○ 高等学校卒業以降、次の①～④のいずれかに該当する者で、かつ教員としての職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの。ただし、成績及び実績は、平成24年4月1日以降のものに限る。 □ スポーツ分野(※) ① オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者又はその者を指導育成した実績を有する者 ② 日本選手権等の、トップレベルの選手が参加する全国的な大会の団体戦若しくは個人戦において、原則としてベスト4以上に入賞し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者(ただし、団体戦の場合には、正選手であった者)又はその者を指導育成した実績を有する者 (※) スポーツ分野の対象種目 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スケート、アイスホッケー、スキー、硬式野球、トライアスロン □ 芸術分野 ③ 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた者又はその者を指導育成した実績を有する者 ④ 全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた者又はその者を指導育成した実績を有する者							
資格要件の確認方法	競技活動歴や入賞した大会・コンクール等の正式名称、主催者、開催年月日、開催場所、成績等(種目、階級、賞の種類)を記載したものを作成し、提出。また、受験資格となる競技成績(活動成績)又は指導実績の詳細が確認できる新聞記事や賞状等、団体戦の場合にはメンバー表等の写しを提出。							
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接(口述試験)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		9	15				24
	平成28年度採用者数(名)		2	1				3
	平成29年度受験者数(名)		6	12				18
	平成29年度採用者数(名)		2	1				3
	平成30年度受験者数(名)		3	9				12

(徳島県)

選考名称	スポーツ特別選考ア、イ		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	中学校(保健体育), 高等学校(保健体育)		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	39
資格要件	<p>ア:免許状必要。高等学校卒業後、平成24年4月1日以降に国際レベルの大会(オリンピック・アジア大会・世界選手権大会等)において日本代表として出場、又は日本選手権大会やこれに準ずる全国レベルの大会において優勝又は準優勝した者で、今後も現役選手として活躍できる者。ただし、学生大会やジュニア選手権大会等参加年齢制限を加えた大会を除く。また、団体種目の場合は、その大会に選手として登録されていた者とする。</p> <p>イ:免許状必要。高等学校卒業後、日本選手権大会又はこれに準ずる全国レベルの大会において、(個人種目)8位以内に入賞した者、(団体種目)4位以内で、かつ、その大会に選手として登録されていた者。</p>								
資格要件の確認方法	実績の概要及び現在の活動状況をまとめたもの(様式は自由でA4判1枚。校種、氏名を明記)と大会要項、実績を証明できるもの、例えば、表彰状、新聞記事の写しなど。								
選考方法・試験内容	<p>ア:第一次審査[筆記審査(専門・教養)と実技審査、集団面接審査]を免除する。</p> <p>イ:第一次審査の筆記審査(専門)を免除する。</p>								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			6	6				12
	平成28年度採用者数(名)			0	0				0
	平成29年度受験者数(名)			5	6				11
	平成29年度採用者数(名)			1	0				1
			5	6				11	

(佐賀県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	<p>スポーツ・芸術の分野において下記に次に示す「特に秀でた技能・実績」を有する者。</p> <p>1 スポーツの分野において、世界レベルの競技会(国内大会を除く)で優秀な成績を収めた者</p> <p>2 美術・音楽等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等(国内コンクールを除く)で優秀な成績を収めた者</p>								
資格要件の確認方法	大会等の新聞記事、賞状等、実績を証明するもの(実績調書)を提出させ、事務局で照合し確認を行う。								
選考方法・試験内容	<p>一次選考…書類選考</p> <p>二次選考…小論文、面接</p>								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				1				1
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
								0	

(長崎県)

選考名称	スポーツ指導者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	平成22年4月1日以降平成29年5月31日までにおいて、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した選手の指導者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた選手の指導者。							
資格要件の確認方法	指導者と指導した選手の要件に係る関係を明らかにする書類(大会要項の写し、賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書等)の提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次試験の「教職・一般教養試験」を免除。ただし、保健体育受験者は、実技試験も免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			1				1
	平成28年度採用者数(名)			0				0
	平成29年度受験者数(名)			0				0
	平成29年度採用者数(名)			0				0
				0				0

(熊本県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校教諭等保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	一般の受考資格等に加えて、次のア又はイの要件を満たす者。ア又はイの要件に関しては出願手続き後に審査を行う。 ア 国際レベルの大会(オリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア競技大会、ユニバーシアード大会等)に日本代表として出場した実績を有する者及びその指導者。 イ 全国大会(国民体育大会(少年の部を除く)、全日本選手権大会等)において、団体ベスト4または個人ベスト4以上の実績を有する者及びその指導者。							
資格要件の確認方法	実績報告書に実績を証明するものを添付して提出。							
選考方法・試験内容	書類提出後に審査を行い、受考資格を満たす場合、第一次考査を免除し、第二次考査は、論述及び個人面接2回を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)			8				8
	平成29年度採用者数(名)			1				1
				6				6

※志願者は19名、書類審査により要件を満たす該当者は6名。

(大分県)

選考名称	特別選考(Ⅲ)(スペシャリスト特別選考)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	2名							
資格要件	一般選考に必要なとされる要件に加え、次の(1)及び(2)の要件を全て満たす者に限る。 (1) 平成20年4月1日以降平成29年5月31日までの間において、次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 国際レベルの大会に日本代表として出場した団体又は個人を指導した実績を有する者 イ 全国規模の大会でベスト4以上の成績を収めた団体又は個人を指導した実績を有する者 (2) 出願時において、全国高等学校体育連盟及び日本高等学校野球連盟に大分県が加盟している競技種目の指導者である者								
資格要件の確認方法	本県が示す別紙要項の記載に従い、所属団体等の代表者による、指導歴が示された証明書を提出する。受験資格の要件を満たしているか否かは、審査委員会で審査される。								
選考方法・試験内容	審査委員会で、資格要件を有すると判断されたものは、第1次試験及び第2次試験を免除し、第3次試験はプレゼンテーション及び面接試験を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				4				4
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)				3				3
	平成29年度採用者数(名)				1				1
	平成30年度受験者数(名)				3				3

(宮崎県)

選考名称	スポーツ・芸術の分野に係る特別選考試験		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科			特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)								
資格要件	○スポーツ・芸術の分野において特に秀でた技能・実績を有する者 ・スポーツの分野(セーリング、相撲、バドミントン、山岳(スポーツクライミング)、ホッケー、なぎなた)において、大学等に在学中又は社会人として、全国レベルの大会以上の競技会で優秀な成績を収めた者(指導者を含む) ・音楽、美術、演劇等の芸術の分野において、大学等に在学中又は社会人として、世界レベルのコンクール、全国レベルの展覧会等において優秀な成績を収めた者(指導者を含む)								
資格要件の確認方法	技能・実績調書ほか参考資料								
選考方法・試験内容	論文及び個人面接。 合格者は一般選考試験の第一次選考試験合格者とともに第二次選考試験を受験する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		1	4	11				16
	平成28年度採用者数(名)				3				3
	平成29年度受験者数(名)			3	3				6
	平成29年度採用者数(名)				1				1
	平成30年度受験者数(名)		1	3	6	1			11

(鹿児島県)

選考名称	燃ゆる感動 かごしまスポーツ特別選考	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校の教諭	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
	(具体的に)		満	40	歳以下				
資格要件	1 国際レベルの大会(オリンピック大会, アジア大会等)に日本代表として出場した実績を有する者及びその指導者 2 過去3年間に出場した国民体育大会又は, 日本選手権大会若しくはこれらに準ずる全国大会に出場し, 団体3位以内(メンバー), 個人3位以内の実績を有する者 3 ボクシング, レスリング, ウエイトリフティング, 自転車, 相撲, ライフル射撃, カヌー, アーチェリーの8競技において, 過去3年間に出場した国民体育大会又は, 日本選手権大会若しくはこれらに準ずる全国大会に出場し, 個人8位以内の実績を有する者								
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)								
選考方法・試験内容	出願時の証明書をもとに審査会で選考 1次試験における教職教養試験及び体育実技の免除								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)			6				6	
	平成28年度採用者数(名)			1				1	
	平成29年度受験者数(名)		1	7				8	
	平成29年度採用者数(名)			5				5	
	平成30年度受験者数(名)			6				6	

(沖縄県)

選考名称	スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	中学校保健体育、高等学校保健体育、中高共通音楽、中高共通美術	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
	(具体的に)		満	45	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格に加え、次のア又はイの条件に該当する者 ア スポーツ分野 中学校教諭等「保健体育」又は高等学校教諭等「保健体育」を受験する者で、秀でた技能・実績を持ち、高等学校卒業後に国際的規模の競技会(オリンピック、ワールドカップ、世界選手権、アジア大会等)に日本代表として出場し、優秀な成績を収めた者やその指導者 イ 芸術分野 中学校・高等学校教諭等(共通)の「音楽」又は「美術」を受験する者で、受験する教科に関連する分野において秀でた技能・実績を持ち、高等学校卒業後に国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者やその指導者								
資格要件の確認方法	国際的な競技会、コンクール、展覧会等に参加した証明書、大会要項の写し、大会結果の新聞記事、賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書等、実績を証明するもの。								
選考方法・試験内容	資格に該当すると認められた者は、第一次試験及び第二次試験を免除し、第三次試験で適性検査、論文試験、個人面接及び模擬授業を受験する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)		1	3				4	
	平成28年度採用者数(名)		0	0				0	
	平成29年度受験者数(名)			7				7	
	平成29年度採用者数(名)			0				0	
	平成30年度受験者数(名)			3				3	

(札幌市)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科(ただし養護教諭を除く)		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	小・中・特 小・特中39 高・特高49	歳以下		
資格要件	①スポーツの分野において、国際的規模の競技会に日本代表として出場した者又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた者 ②音楽、美術等の芸術の分野において、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績を収めた者又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者 ③その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できるもの								
資格要件の確認方法	「自己推薦書」に顕著な技能・実績等の概要及び現在の活動状況を記入し、新聞記事、表彰状等の証明になる資料の写しを出願時に提出する。特別選考対象者として決定された者は第2次検査の会場に当該資料の原本を持参する。								
選考方法・試験内容	①申請のあった志願者について出願書類により、対象者を決定し、1次検査を免除。 ②第2次検査は一般選考の受検者と同様に実施するが、技能・実績の内容に密接に関連する実技検査については免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)								0	

(横浜市)

選考名称	特別選考④(スポーツ等特別選考)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	受験資格を満たし、次の実績を収めている方。 (1)スポーツに関する実績 野球(硬式、軟式)、ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール(6人制、9人制)、バドミントン、テニス(硬式、軟式)、卓球、陸上競技、水泳(競泳種目)、柔道、剣道、において、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間にオリンピック、パラリンピック、世界選手権大会、アジア競技大会、東アジア競技大会、ユニバーシアードで入賞の実績(8位以内)がある方。 (2)音楽に関する実績 平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間に全日本吹奏楽コンクール全国大会で金賞を受賞したことがある方。								
資格要件の確認方法	実績の内容を客観的に示す書類の写し(認定証など)								
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考④該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		0	6	0	0	0		6
	平成28年度採用者数(名)		0	0	0	0	0		0
	平成29年度受験者数(名)		0	4	0	0	0		4
	平成29年度採用者数(名)		0	0	0	0	0		0
平成30年度受験者数(名)		0	3	0	0	0		3	

(相模原市)

選考名称	スポーツ・芸術実績者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校(音楽、美術、保健体育)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験する受験区分・教科の教諭普通免許状を所有している人、又は、平成30年3月31日までに取得見込みの人で、受験教科に関する分野(スポーツ分野においては対象種目の指定あり)における全国的規模の競技会、コンクール、展覧会等において、個人、又は団体成績1位(相当)の実績(高等学校以降の実績に限る)を収めた者(ただし、種目(部門)・大会(コンクール)規模・参加人数等によっては、資格要件に該当しない場合あり。)							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、実績の内容を客観的に証明する書類の写し(例:表彰状・新聞・雑誌・選手団名簿等)を提出 団体競技等の場合には、本人が出場していると特定できる書類を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		2					2
	平成28年度採用者数(名)		1					1
	平成29年度受験者数(名)		0					0
	平成29年度採用者数(名)		0					0
	平成30年度受験者数(名)		1					1

(京都市)

選考名称	フロンティア特別選考 保健体育コース		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校 保健体育		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	フロンティア特別選考(3コース)で10名以内			満	44	歳以下	
資格要件	一般選考の資格要件に以下の①及び②の受験資格を追加 ①保健体育の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する者 ②高等学校卒業以降に、選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において4位以内の成績を収めた者 ※①及び②に加え、特別免許状の授与条件を満たしている者は、普通免許状を所有しない者及び取得見込みのない者も受験可能。							
資格要件の確認方法	出願時に表彰状等の競技成績を証明する書類を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験 一般・教職教養試験及び専門筆記試験に替えて論文試験を実施 第2次試験 体育実技を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		6					6
	平成28年度採用者数(名)		1					1
	平成29年度受験者数(名)		5					5
	平成29年度採用者数(名)		0					0
	平成30年度受験者数(名)		8					8

(岡山市)

選考名称	スポーツ特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小中連携推進(中学校教諭普通免許状が保健体育の者に限る)、中学校保健体育	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	平成26年4月1日以降、国際レベルの大会に日本代表として出場した者、又は日本選手権大会やこれに準ずる全国レベルの大会においてベスト4以上の成績を収めた者							
資格要件の確認方法	・特別選考申告票 ・大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)		0					0
	平成29年度受験者数(名)		0					0
	平成29年度採用者数(名)		0					0
平成30年度受験者数(名)		0					0	

※平成28年度受験者数は岡山県に含む

(福岡市)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校(中高枠に限る)、特別支援学校中学部の音楽、美術、保健体育	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	40	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ次の①又は②のいずれかの要件を満たす人 ①スポーツ:スポーツの分野において国際的規模の競技会に日本代表として出場した人又は日本選手権大会、これに準ずる全国規模の競技会で特に優秀な成績を収めた人 ②芸術:音楽、芸術等の分野において国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた人又は全国レベルのコンクール、展覧会等で特に優秀な成績を収めた人							
資格要件の確認方法	実績を客観的に証明できるものの提示(志願書提出時)							
選考方法・試験内容	選考方法:第1次試験前に書類選考を行う。第1次試験合格者の選考は一般選考と別枠で行う。 試験内容:第1次試験は教養試験(一般教養分野のみ)と論文、第2次試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	-	9	-	0	-	-	9
	平成28年度採用者数(名)	-	2	-	0	-	-	2
	平成29年度受験者数(名)	-	7	-	0	-	-	7
	平成29年度採用者数(名)	-	2	-	0	-	-	2
平成30年度受験者数(名)	-	6	-	1	-	-	7	

(3) 国際貢献活動経験による特別の選考

(東京都)

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	一般選考と同等		特別免許状の活用				無		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	以下の全ての要件を満たす者が申込みをすることができる。 ① 平成19年4月1日から平成29年3月31日までの10年間に、独立行政法人国際協力機構法(平成14年法律第136号)に基づく「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」として、派遣経験(教育活動に従事)が2年以上ある者 ② 昭和33年4月2日以降に出生した者								
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する派遣証明書								
選考方法・試験内容	個人面接及び論文								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								5
	平成28年度採用者数(名)								3
	平成29年度受験者数(名)								4
	平成29年度採用者数(名)								3
平成30年度受験者数(名)								0	

(神奈川県)

選考名称	社会人経験者 イ		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成30年3月31日までに取得見込みの人で、青年海外協力隊等、海外での2年以上の国際貢献活動経験								
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は職歴証明書または派遣活動を証明する書類の提出								
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		35	45	112	10	10		212
	平成28年度採用者数(名)		5	3	16	3	2		29
	平成29年度受験者数(名)		22	31	99	16	10		178
	平成29年度採用者数(名)		3	6	18	1			28
平成30年度受験者数(名)		20	43	114	11	16		204	

※民間企業等勤務経験による特別の選考とあわせて社会人経験者として統計をとっている。

(富山県)

選考名称	特別選考 国際貢献		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成30年3月31日までに取得見込みであり、青年海外協力隊として、継続して2年以上の派遣実績を有する者。								
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			1					1
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)			2					2
	平成29年度採用者数(名)			2					2
平成30年度受験者数(名)			1					1	

※中高一括で検査を実施しているため、中高の人数を「中」の欄に記載。

(山梨県)

選考名称	グローバル人材特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	39
資格要件	国際協力機構法の規定に基づく、2年以上の海外での学校教育ボランティアの派遣経験を持つもの								
資格要件の確認方法	派遣実績の証明書類の提出								
選考方法・試験内容	小学校専門教養に5点加点する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)		1						1
	平成29年度採用者数(名)		0						0
平成30年度受験者数(名)		0						0	

(静岡県)

選考名称	国際貢献活動経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで、継続した2年間の任期を満了した実績を有し、「国際貢献活動経験者を対象とした選考」を希望する者。							
資格要件の確認方法	青年海外協力隊事務局等による派遣実績証明書による。							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	2	1	4	0	0		7
	平成28年度採用者数(名)	1	0	2	0	0		3
	平成29年度受験者数(名)	1	2	3	0	0		6
	平成29年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成30年度受験者数(名)	4	1	2	1	0		8

(滋賀県)

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間のうち、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊または日系社会青年ボランティアとしての派遣経験を通算1年以上有する者。							
資格要件の確認方法	出願時に派遣の実績が確認できる書類の写しを提出する。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験における一般教養・教職教養の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	0	0	2	1	0		3

(京都府)

選考名称	国際貢献活動等特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	49
資格要件	共通の受験資格に加えて、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間に、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとしての活動経験が通算2年以上ある方								
資格要件の確認方法	実績報告書に、勤務経験(勤務実績)について記入し、実績の詳細をまとめたもの等実績の確認できる書類を提出させて確認								
選考方法・試験内容	第1次試験:面接試験、筆記試験 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト及び実技試験(一般選考に同じ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成30年度受験者数(名)		0	1	2	0	0	0	3

(山口県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	49
資格要件	○ 次に該当する者で、かつ教員としての職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア又は日系社会シニア・ボランティアとして、通算2年以上の派遣経験を有する者で、その派遣経験により、グローバル化に対応するコミュニケーション力や異文化理解の能力等を身に付けたもの								
資格要件の確認方法	派遣経験を証明する書類								
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、実技(小学校を除く)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技(小学校のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		0	2	0				2
	平成28年度採用者数(名)		0	1	0				1
	平成29年度受験者数(名)		0	1	0				1
	平成29年度採用者数(名)		0	0	0				0
	平成30年度受験者数(名)		1	0	0				1

(さいたま市)

選考名称	青年海外協力隊等派遣特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアの国際貢献活動に従事したことのある方で、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間において、通算2年以上の派遣経験を有する者							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構発行の派遣証明書による確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	1	0			0	0	1
	平成28年度採用者数(名)	0	0			0	0	0
	平成29年度受験者数(名)	1	1			1	0	3
	平成29年度採用者数(名)	0	0			0	0	0
	平成30年度受験者数(名)	0	1			0	0	1

(横浜市)

選考名称	特別選考②(社会人・国際貢献活動経験者特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験資格を満たし、独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員、シニア海外ボランティア又は日系社会青年・シニアボランティアとして平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間に1年以上の派遣期間のある方で、派遣の証明書を期限までに提出できる方。							
資格要件の確認方法	派遣証明書の提出							
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考②該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	3	7	0	0	0		10
	平成28年度採用者数(名)	2	1	0	0	0		3
	平成29年度受験者数(名)	5	8	0	0	2		15
	平成29年度採用者数(名)	3	1	0	0	1		5
	平成30年度受験者数(名)	5	2	0	0	0		7

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	独立行政法人国際協力機構法(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む)に基づく青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの間に継続して1年以上の派遣実績(派遣期間)を有し、派遣の証明書を提出できる人							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、教科専門試験 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	13	25		4	8		50
	平成28年度採用者数(名)	5	2		0	0		7
	平成29年度受験者数(名)	15	20	2	5	9		51
	平成29年度採用者数(名)	2	1	2	0	1		6
	平成30年度受験者数(名)	8	24	3	5	11		51

※(3)国際貢献活動、(4)民間企業等勤務経験、(9)その他は同一の選考のため、「実施状況」は合算値。

(相模原市)

選考名称	社会人経験者(イ)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	受験する受験区分・教科の教諭普通免許状を所有している人、又は、平成30年3月31日までに取得見込みの人で、青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして、通算2年以上の派遣期間のある者							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	0	0			0		0
	平成28年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成29年度受験者数(名)	0	0			1		1
	平成29年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成30年度受験者数(名)	0	0			0		0

(浜松市)

選考名称	特別選考D	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満たし、かつ、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで、原則として継続した2年間の実績を有した者							
資格要件の確認方法	派遣実績証明書(青年海外協力隊事務局長等による実績証明書)							
選考方法・試験内容	第1次選考の教職教養・一般教養を課題作文(国際貢献活動経験に関わるテーマ)に替えて行い、それ以外は、一般選考受験者と同じ内容で行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	1	0			0		1
	平成28年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成29年度受験者数(名)	0	0			0		0
	平成29年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成30年度受験者数(名)	1	0			0		1

(京都市)

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	募集する全区分	特別免許状の活用	無					
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に) 5名以内		満 44 歳以下					
資格要件	一般選考の資格要件に加え、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとしての派遣実績を有する者(ただし1年未満の派遣期間のものを除く)							
資格要件の確認方法	出願時に独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局発行の派遣証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験 一般教職教養に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		3			1		4
	平成28年度採用者数(名)	1						1
	平成29年度受験者数(名)	3	1	2	1			7
	平成29年度採用者数(名)			2				2
	平成30年度受験者数(名)		4	2		1		7

(堺市)

選考名称	特別選考(数・理・技)		新規・継続				本年度新規		
対象となる校種・教科	中学校・特別支援学校中学部の数学、理科、技術		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験が平成22年4月1日から平成29年3月31日までに、継続して2年以上あること。								
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。								
選考方法・試験内容	1次筆答試験を免除し、1次面接試験(集団・個人)、2次筆答試験、2次面接試験(個人)により選考								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)								0	

(福岡市)

選考名称	社会人等特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	40	歳以下
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ平成19年4月1日から平成29年6月30日までの間に独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして、2年以上の派遣実績がある人								
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が交付する派遣証明書の提出(第2次試験合格者のみ提出)								
選考方法・試験内容	選考方法:一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(4)民間企業等経験による特別の選考」と同一枠で募集 試験内容:第1次試験は専門教科、教養試験(一般教養分野)、論文、第2次試験は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		3	3	0	0	0	0	6
	平成28年度採用者数(名)		2	1	0	0	0	0	3
	平成29年度受験者数(名)		2	1	0	0	0	0	3
	平成29年度採用者数(名)		0	1	0	0	0	0	1
平成30年度受験者数(名)		1	1	0	0	0	0	2	

(4) 民間企業等勤務経験による特別の選考

(北海道)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校(工業、商業、英語、看護)又は特別支援学校自立活動(視覚障害教育、肢体不自由教育)		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	上記対象となる教科の教育職員免許状を有していない者で、教科に関する専門的知識や技能(資格)を有し、実務経験のあるもの ①高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的知識や技能(資格)を有する者 ②社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者 ③教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者								
資格要件の確認方法	実務経験に係る職歴証明書及び証明機関の発行する資格(技術)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写しを出願時に提出(出願時に写しを提出した場合は、第1次検査時に原本を確認)								
選考方法・試験内容	第1次検査については一般教養及び教職教養のみ実施。第2次検査については教科等指導法検査の代わりに小論文検査を課すほかは、一般選考と同様である。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				2	3			5
	平成28年度採用者数(名)					1			1
	平成29年度受験者数(名)				8				8
	平成29年度採用者数(名)				5				5
	平成30年度受験者数(名)				4	2			6

(青森県) (再掲:(1)英語 社会人特別選考)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校英語		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格に加え、 ①出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者 ②出願時に実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL PBT600点以上(CBT250点以上、iBT100点以上)のいずれかの資格等を有する者 ③免許状を有しない場合は、上記①、②に加え、5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること								
資格要件の確認方法	実用英語技能検定試験合格証明書、TOEICやTOEFLのスコアシートの写しを提出								
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接 第二次試験:面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				2				2
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
	平成30年度受験者数(名)					1			1

(岩手県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校(工業)		特別免許状の活用					有	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	49
資格要件	博士の学位を有する者、又は民間企業等の従事者で平成29年4月1日現在、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者で、いずれも工業に関する高度な専門的知識や技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者。								
資格要件の確認方法	高度な専門知識や技能を修得したことを証明できる書類を提出させ確認(論文、勤務先の所属長による推薦書、取得している資格等)。								
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				0				0
	平成28年度採用者数(名)				0				0
	平成29年度受験者数(名)				2				2
	平成29年度採用者数(名)				0				0
	平成30年度受験者数(名)				2				2

(山形県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	中学校英語、特別支援学校中学部英語、高校英語、高校建築		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	当該教科の免許状を有する者又は取得見込みの者で、志望する教科・科目と関連する実務経験(学校教育に直接携わる業務を除く)を5年以上継続して有する者又は有する見込みの者。								
資格要件の確認方法	当該教科の免許状授与証明書又は免許状取得見込み証明書及び履歴書の提出。								
選考方法・試験内容	第一次選考試験において、教職教養・一般教養の代わりに小論文を課す。それ以外は一般選考と同様。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				4				4
	平成28年度採用者数(名)				0				0
	平成29年度受験者数(名)				2				2
	平成29年度採用者数(名)				0				0
	平成30年度受験者数(名)				2				2

(茨城県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校理科(物理・化学・生物・地学), 高等学校英語, 高等学校農業, 高等学校工業, 高等学校水産, 高等学校看護	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	<p>【高等学校理科(物理・化学・生物・地学), 高等学校農業, 高等学校工業】</p> <p>①教育職員免許状を有していない方で, ②正規職員としての民間企業や官公庁で継続して3年以上の勤務があり, ③出願する教科に関する高度の専門的な知識又は技能(博士号, 一級建築士等)を勤務経験等を通して身に付けた方で, ④特別免許状の授与条件を満たす方</p> <p>【高等学校英語】</p> <p>①英語を母語とし, ②教育職員免許状を有していない方で, ③日本国内において国公立高等学校(中等教育学校を含む)で英語教育に関連する4年以上の実務経験(ALTや常勤の英語講師等)があり, ④教員の職務を行う上で必要とされる日本語の能力を有し, ⑤特別免許状の授与条件を満たす方</p> <p>【高等学校水産】</p> <p>①航海又は機関の3級海技士免許を保有し, ②水産と関連する実務経験(海技士養成機関での常勤の教員としての勤務経験を一部含む)を3年以上有する方で, ③特別免許状の授与条件を満たす方</p> <p>【高等学校看護】</p> <p>①看護師免許(保健師・助産師免許を含む。)を保有し, ②看護と関連する実務経験(看護師養成機関での常勤の教員としての勤務経験を一部含むことも可。)を3年以上有する方で, ③特別免許状の授与条件を満たす方</p>							
資格要件の確認方法	勤務実績証明書(様式あり), 免許や資格の写しを提出する							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち, 専門教科試験(英語は専門教科試験及び口述試験)を免除する。第2次試験は一般選考と同様に実施するが, 個人面接は「社会人特別選考面接」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			3				3
	平成28年度採用者数(名)			3				3
	平成29年度受験者数(名)			3				3
	平成29年度採用者数(名)			2				2
	平成30年度受験者数(名)			1				1

(栃木県)

選考名称	特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	a 高等学校の電気・機械・建築 b 高等学校の家庭	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	<p>a高等学校の電気・機械・建築・・・大学を卒業している者又は卒業見込みの者で, 工業の教科についての高度な専門的知識・技能を有し, 民間企業, 官公庁等に常勤として7年以上の実務経験がある者。</p> <p>b高等学校の家庭・・・専門調理師資格を有する者, または, 調理師資格を有する者で調理師として10年以上実務経験のある者。</p>							
資格要件の確認方法	<p>a高等学校の電気・機械・建築・・・7年以上の実務経験を証明する書類, 自己推薦書, 教科についての高度な専門的知識・技能に関する資格等を証明する書類により書類選考。</p> <p>b高等学校の家庭 1 専門調理師の資格取得を証明する書類, 自己推薦書。 2 調理師の資格取得を証明する書類, 自己推薦書, 実務経験を証明する書類により書類選考。</p>							
選考方法・試験内容	対象となった者には, 第1次試験のうち一般教養試験を免除し, 集団面接の代わりに個人面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			2				2
	平成28年度採用者数(名)			0				0
	平成29年度受験者数(名)			1				1
	平成29年度採用者数(名)			1				1
	平成30年度受験者数(名)			0				0

(群馬県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	現に正規職員として勤務し、平成30年3月31日までに同一の民間企業又は官公庁等(ただし、いずれも教育に関する事業を除く。)に継続して5年以上勤務した経験があり、出願する教科等に関する高度の専門的な知識若しくは技能、又は勤務経験等を通して身に付けた優れた経営的能力を有する人							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書、論文が掲載された学術誌、表彰状の写しなどを添付した人は、第1次選考の当日にその原本を持参し、試験会場で係員が確認する。							
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		7	19		3		29
	平成28年度採用者数(名)			1				1
	平成29年度受験者数(名)		4	14		3		21
	平成29年度採用者数(名)					1		1
		4	14	2	3		23	

(埼玉県1)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高校(看護・家庭・福祉)、特別支援(自立活動)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>◆看護 次のア～ウの要件を全て満たす者。</p> <p>ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。</p> <p>イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。</p> <p>ウ 次の①又は②のいずれかを満たす者。</p> <p>①看護師の資格を有し、病院等の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として、5年以上の実務経験を有する者。</p> <p>②看護師の資格を有し、病院等の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として3年以上の実務経験と看護に関する教職としての経験を合算して5年以上の経験を有する者。</p> <p>◆家庭 次のア～ウの要件を全て満たす者。</p> <p>ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。</p> <p>イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。</p> <p>ウ 次の①又は②のいずれかを満たす者。</p> <p>①平成29年3月31日までに調理師法第8条の3第1項に規定する調理技術に関する審査に合格し、同法施行規則第21条第1項の認定証書の交付を受けた者。</p> <p>②調理師の資格を有し、常勤の調理師として5年以上の実務経験を有する者。</p> <p>◆福祉 次のア～ウの要件を全て満たす者。</p> <p>ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。</p> <p>イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。</p> <p>ウ 介護福祉士の資格を有し、常勤の介護福祉士として5年以上の実務経験を有する者。</p> <p>◆自立活動 次のア～ウの要件を全て満たす者。</p> <p>ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。</p> <p>イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。</p> <p>ウ 看護師の資格を有し、病院等の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として3年以上の実務経験を有する者。</p> <p>※勤務期間については、平成29年3月31日までに常勤又は常勤に準ずる職員として勤務した期間をもって通算するものとする。</p>							
資格要件の確認方法	資格証明書の写し及び実務経験を証明する書類							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			8	8			16
	平成28年度採用者数(名)			3	3			6
	平成29年度受験者数(名)			4	2			6
	平成29年度採用者数(名)			2	1			3
		3	2	2	2		5	

(埼玉県2)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高校(理科)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次のア～ウの要件をすべて満たす者。 ア 理科分野に関する修士又は博士の学位を有する者。 イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。 ウ 法人格を有する民間企業、研究機関、大学、短期大学、官公庁との雇用関係のもと、理科分野に関する実務経験が直近5年間で3年以上の者。							
資格要件の確認方法	修士又は博士の学位記の写し、実務経験を証明する書類及び理科分野に関する研究内容・勤務経験についての申出書							
選考方法・試験内容	第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職科目)に代えて論文試験。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			5				5
	平成28年度採用者数(名)			1				1
	平成29年度受験者数(名)			1				1
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			2				2

(千葉県・千葉市)

選考名称	養護教諭特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・次の①、②の両方を満たす者 ① 看護師免許を有している者 ② 平成29年4月1日現在で、正規採用の看護師として3年以上の実務経験を有する者(現在、看護師として勤務していなくても可) * 保健師、助産師としての実務経験は含まない * 養護教諭普通免許状の所有又は平成30年3月31日までに取得見込みの者 							
資格要件の確認方法	実務経験証明書で確認する。							
選考方法・試験内容	第一次選考において、教職教養・専門教科を免除し、小論文・集団面接を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			12				12
	平成28年度採用者数(名)			3				3
	平成29年度受験者数(名)			20				20
	平成29年度採用者数(名)			2				2
	平成30年度受験者数(名)			13				13

養護教諭特別選考の採用者数は千葉県の数値であり、千葉市は含まない。受験者数は千葉県と千葉市を合算した数値

(神奈川県)

選考名称	社会人経験者 ア		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成30年3月31日までに取得見込みの人で、法人格を有する民間企業、官公庁(原則として神奈川県教育委員会を除く)等で常勤社員・職員(教員を除く)として平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間に通算3年以上の勤務経験							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	35	45	112	10	10		212
	平成28年度採用者数(名)	5	3	16	3	2		29
	平成29年度受験者数(名)	22	31	99	16	10		178
	平成29年度採用者数(名)	3	6	18	1			28
	平成30年度受験者数(名)	20	43	114	11	16		204

※実施状況は社会人経験者ア～ウの合計。

(新潟県)

選考名称	高等学校教諭「工業」特別選考制度		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・工業		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	(1) 大学を卒業、又は大学院を修了していること。 (2) 研究施設、民間企業、官公庁(公立学校の工業の実習助手を含む)において、正規職員として、受検前過去6年間で、通算3年以上の工業に関する実務経験を有し、次の要件ア及びイを満たす者。 ア 工業の教科に関する専門的な知識、経験又は技能を有すること。 イ 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっていること。							
資格要件の確認方法	出願の際に、職歴を記載した特別選考調書を提出。第2次検査合格後に、勤務証明書を提出。							
選考方法・試験内容	第1次検査:筆答検査Ⅰ、筆答検査Ⅱ(教科の基礎的な問題)※論文は免除 第2次検査:個人面接Ⅰ、個人面接Ⅱ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			7				7
	平成28年度採用者数(名)			2				2
	平成29年度受験者数(名)			3				3
	平成29年度採用者数(名)			1				1
	平成30年度受験者数(名)			8				8

(富山県)

選考名称	特別選考 社会人経験	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成30年3月31日までに取得見込みであり、法人格を有する同一の民間企業、官公庁等において正社員または正規職員として、平成19年4月1日から平成29年3月31日までの間に継続して5年以上の勤務を有する者。							
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に登載された者のみに在職・勤務証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	8	17			5		30
	平成28年度採用者数(名)	1	5			1		7
	平成29年度受験者数(名)	6	20			3		29
	平成29年度採用者数(名)	1	2					3
	平成30年度受験者数(名)	6	14		1	5		26

※中高一括で検査を実施しているため、中高の人数を「中」の欄に記載。

(石川県)

選考名称	民間企業等勤務経験を有する工業受験者を対象とした選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	中高・工業	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 49 歳以下					
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の工業受験者のうち、同一の研究施設、民間企業、官公庁で正規職員として、平成29年3月31日現在、3年以上(休職、育児休業の期間を除く)の勤務経験がある者							
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書を提出し、採用候補者となった者は、受験資格に該当する職歴証明を提出。							
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容から、筆記試験における総合教養を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)		5	中に含む				5

(山梨県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校 農業(園芸、食品化学)工業(機械、電気、電子、建築)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	54	歳以下	
資格要件	大学を卒業している者 昭和38年4月2日以降に出生した者で、受検しようとする教科に関する専門分野の勤務経験(学校・教育施設・企業等の正規職員)が3年以上ある者(教員免許状はなくても可)							
資格要件の確認方法	受検する教科に関する実務経歴証明書(書式の指定はないが、氏名、勤務先、所在地、代表者名・印、職名、担当名、雇用形態、雇用期間、職務内容が記されたもの)、受検する教科に関する専門分野の資格証明書等がある場合はその写しを出願時に提出。							
選考方法・試験内容	第一次検査において「一般・教職教養検査」を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			15				15
	平成28年度採用者数(名)			3				3
	平成29年度受験者数(名)			10				10
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			7				7

(静岡県)

選考名称	民間企業等での勤務経験を有する者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校教員・工業		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	大学院の課程に学び工業関係の修士以上の学位を取得済みである者で、民間企業等において工業関係の業務に従事し3年以上の勤務経験を有する者							
資格要件の確認方法	修士号取得証明書、勤務経歴証明書							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			2				2
	平成28年度採用者数(名)			1				1
	平成29年度受験者数(名)			3				3
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			3				3

(愛知県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校教諭及び中学校教諭の受験区分 高等学校教諭の数学、理科、工業、商業、情報、福祉、水産(機関、情報通信、海洋資源、水産食品)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<p>ア「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 次の(ア)又は(イ)の要件を満たす人 (ア) 昭和52年4月2日以降に生まれた人で、出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成29年4月1日現在において、常勤の職として同一の企業で連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 ※ 常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができます。 (イ) 昭和52年4月2日以降に生まれた人で、青年海外協力隊として、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間に、2年以上の派遣実績を有する人</p> <p>イ「高等学校教諭」の受験区分 次の(イ)から(ウ)に示す教科について、それぞれの要件を満たすことが必要です。なお、常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができます。 (ア)「高等学校教諭・数学」、「高等学校教諭・理科」及び「高等学校教諭・工業」 次の要件を満たすことが必要です。 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成29年4月1日現在において、常勤の職として連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 (イ)「高等学校教諭・商業」(日本商工会議所簿記検定1級等資格所有者) 次の要件をすべて満たすことが必要です。 a 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成29年4月1日現在において、常勤の職として連続して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 b 日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、公認会計士、又は税理士の資格を所有、若しくは税理士試験の財務諸表論又は簿記論の科目を合格していること。 (ウ)「高等学校教諭・情報」(基本情報技術者試験等資格所有者) 次の要件をすべて満たすことが必要です。 a 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成29年4月1日現在において、常勤の職として連続して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 b 独立行政法人情報処理推進機構が行う情報処理技術者試験において、基本情報技術者試験(FE)、応用情報技術者試験(AP)又は情報処理技術者試験要綱の試験区分に基づく高度試験のうち、いずれか1つ以上の資格を所有していること。 c 高等学校教諭・情報以外の、高等学校教諭の他教科の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。 (エ)「高等学校教諭・福祉」(介護福祉士・福祉教員経験者) 次の要件をすべて満たすことが必要です。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、介護福祉士の資格を有する人 b 出願時において、社会福祉施設の常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む。)の教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成29年4月1日現在において、常勤の介護福祉士として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 (オ)「高等学校教諭・水産(機関)」(海技士免許状所有者) 次の要件をすべて満たすことが必要です。 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の海技士(機関)、又は海技士(機関)養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成29年4月1日現在において、民間企業、官公庁等の常勤の海技士(機関)又は海技士(機関)養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 3級海技士(機関)以上の海技免許状を有すること。 (カ)「高等学校教諭・水産(情報通信)」 次の要件をすべて満たすことが必要です。 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、又は総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成29年4月1日現在において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、又は総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 高等学校教諭情報若しくは商業の普通免許状を所有していること。 (キ)「高等学校教諭・水産(海洋資源)」 次の要件をすべて満たすことが必要です。 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成29年4月1日現在において、常勤の職として連続して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 「海洋生物」、「資源増殖」又は「海洋環境」等の海洋資源に関する分野について、民間企業、官公庁等において主たる業務とした人、若しくは大学等において履修又は専攻した人 (ク)「高等学校教諭・水産(水産食品)」 次の要件をすべて満たすことが必要です。 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成29年4月1日現在において、常勤の職として連続して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 「食品製造」、「食品管理」又は「水産流通」等の水産食品に関する分野について、民間企業、官公庁等において主たる業務とした人、若しくは大学等において履修又は専攻した人</p>							
資格要件の確認方法	「社会人特別選考申告書」に証明書類を添付する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験は論文試験と口述試験を行う。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	5	12	19				36
	平成28年度採用者数(名)	1	1	5				7
	平成29年度受験者数(名)	5	8	21				34
	平成29年度採用者数(名)	0	3	6				9
	平成30年度受験者数(名)	7	9	9				25

(三重県1)

選考名称	社会人特別選考〔Ⅰ〕		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校教諭「福祉」		特別免許状の活用					有	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	要項に示す一般選考の申込資格1、2に加えて、次の(1)～(2)のいずれにも該当する人。 (1) 平成19年4月1日以降に、民間企業・官公庁等に継続して5年以上、正規の保健師、助産師または看護師として従事し、福祉に関する専門的な知識経験または技能を有する人。ただし、系列会社等への転勤は継続期間に含む。 (2) 保健師、助産師または看護師の資格を現に有する人(取得見込を含まない。)								
資格要件の確認方法	提出された「在職証明書」、「履歴書」、「保健師、助産師または看護師免許の写し」をもとに審査する。								
選考方法・試験内容	一般選考における「筆答試験(教養)」に代えて「小論文」を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		-	-	-	-	-	-	-
	平成28年度採用者数(名)		-	-	-	-	-	-	-
	平成29年度受験者数(名)				1				1
	平成29年度採用者数(名)				0				0
	平成30年度受験者数(名)				2				2

(三重県2)

選考名称	社会人特別選考〔Ⅱ〕		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	一般選考を実施する全校種・教科等		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	要項に示した一般選考の申込資格に加えて、平成19年4月1日以降に、民間企業・官公庁等(国公立私立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校において教諭等として従事する場合を除く。)に継続して3年以上正規の職員等として従事した人。ただし、系列会社等への転勤は継続期間に含むが、国公立私立学校の期限付または臨時的任用の実習助手、非常勤講師は該当しない。								
資格要件の確認方法	提出された「在籍証明書」、「履歴書」をもとに審査する。								
選考方法・試験内容	一般選考における「筆答試験(教養)」に代えて「小論文」を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		5	15	18	1	5	1	45
	平成28年度採用者数(名)		1	4	1	0	1	0	7
	平成29年度受験者数(名)		7	8	23	4	4	2	48
	平成29年度採用者数(名)		2	0	3	1	1	0	7
	平成30年度受験者数(名)		8	11	18	3	5	2	47

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校・理科、情報	特別免許状の活用	有					
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に) スペシャリスト特別選考で10名以内		満	49	歳以下			
資格要件	民間企業、大学又は研究機関等における勤務経験が通算して5年以上ある方(国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校における勤務経験を除く。)で、その勤務経験により、受験科目の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方。特別免許状の授与条件を満たす方。							
資格要件の確認方法	名簿記載された場合に在職証明書等を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			11				11
	平成28年度採用者数(名)			1				1
	平成29年度受験者数(名)			4				4
	平成29年度採用者数(名)			1				1
	平成30年度受験者数(名)			5				5

(兵庫県)

選考名称	特別免許状授与を前提とした社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校「看護」・「福祉」	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	49	歳以下			
資格要件	教育職員免許状を有しない社会人で、平成30年3月31日現在、休職、育児休業の期間を除き、 ①「看護」:国公立及び民間病院等において正規職員の看護師・助産師・保健師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験を含む) ②「福祉」:国公立及び民間の介護福祉施設等において、「介護福祉士」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者							
資格要件の確認方法	在職証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
選考方法・試験内容	一般の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			2				2
	平成28年度採用者数(名)			2				2
	平成29年度受験者数(名)			4				4
	平成29年度採用者数(名)			3				3
	平成30年度受験者数(名)			3				3

(奈良県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校 数学、理科(物理、化学、生物)、農業、工業(機械)、商業		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	①学校教育法第9条及び地方公務員法第16条のいずれにも該当しない者。 ②数学、理科(物理、化学、生物)を受験する者は、大学を卒業、又は大学院を修了し、研究施設、民間企業(教育事業を除く)、官公庁等(公立学校を除く)に、現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する者。 ③農業、工業(機械)、商業を受験する者は、受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する者。 ④受験する校種、教科の教諭普通免許状の有無は問わない。							
資格要件の確認方法	合格後に、在職・勤務証明書等の提出をさせ、確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考に準ずるが、第1次試験の一般教養試験に替えて、個人面接を実施している。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			9				9
	平成28年度採用者数(名)			2				2
	平成29年度受験者数(名)			6				6
	平成29年度採用者数(名)			1				1
	平成30年度受験者数(名)			1				1

(鳥取県)

選考名称	普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校教諭・農業、工業(電気・電子)、商業		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	欠格条項に該当しないこと及び年齢制限を満たした上、志願する試験区分、教科の普通免許状を有していないが、学士、修士、又は博士の学位を授与された者で、志願する教科(科目等)について高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁(教育関係機関を除く)等に正職員として平成30年3月31日現在において5年以上の実務経験を有する者							
資格要件の確認方法	職歴を証明する書類							
選考方法・試験内容	他の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			0				0
	平成28年度採用者数(名)			0				0
	平成29年度受験者数(名)			0				0
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			0				0

(岡山県)

選考名称	特別選考D[社会人を対象とした特別選考]	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	①高等学校の「工業(専門分野は限定しない)」 ②高等学校の「看護」	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	<p>次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。ただし、志望する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。 (イ)次のいずれかの要件を満たす者。 ①民間企業、官公庁(教職以外)において、出願時に「出願する教科(科目)と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ出願する教科(科目)に関する高度な専門的知識・技能を有する者。 ※「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。 ②看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)として出願時に3年以上の実務経験を有する者。</p>							
資格要件の確認方法	<p>①出願時に、特別選考調書を提出させるとともに、出願する教科(科目)に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの(証明機関の発行する資格(技能)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写し)があれば提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。 ②出願時に、特別選考調書及び看護師免許証の写しを提出させる。ただし、第1次試験の面接時に、原本を持参させる。</p>							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			15				15
	平成28年度採用者数(名)			3				3
	平成29年度受験者数(名)			18				18
	平成29年度採用者数(名)			6				6
	平成30年度受験者数(名)			18				18

(広島県・広島市)

選考名称	社会人を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校(工業, 看護)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	<p>地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、且つ、昭和33年4月2日以降に生まれた者であって、次の要件を満たす者 ・高等学校を卒業していること、又は、高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有していること。 ・実務経験について 「工業」の受験については、民間企業、官公庁又は公立学校の実習助手において、正規職員として受験前過去6年間(平成23年度から平成28年度まで)で通算3年以上の工業に関する実務経験があること。 「看護」の受験については、看護師免許証を有し、国公立又は民間病院等において、正規職員の看護師(助産師、保健師、看護学校等の教官経験を含む。)として通算5年以上の実務経験があること。 採用候補者として登載された場合、該当教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:個人面接, グループワーク 第2次試験:個人面接, 模擬授業, 実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			5				5
	平成28年度採用者数(名)			4				4
	平成29年度受験者数(名)			7				7
	平成29年度採用者数(名)			2				2
	平成30年度受験者数(名)			7				7

(山口県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	次に該当する者で、かつ教員としての職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの 現に(出願時点で)民間企業等に5年以上継続勤務する者で、その勤務経験により、出願する校種・教科(科目等)に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められるもの							
資格要件の確認方法	志願書類等							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、実技(小学校を除く)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技(小学校のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	0	9	3				12
	平成28年度採用者数(名)	0	3	0				3
	平成29年度受験者数(名)	2	5	5				12
	平成29年度採用者数(名)	0	1	1				2
	平成30年度受験者数(名)	1	3	5				9

(徳島県)

選考名称	社会人を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	民間企業等で、平成29年3月末現在、通算して5年以上、正規社員として勤務し、その勤務経験により、出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者							
資格要件の確認方法	勤務歴、及び、勤務経験により出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を修得したことを証明できるもの。例えば、勤務先の所属長等による推薦書、取得している資格、勤務に関連して執筆し学術雑誌等に掲載した論文など。							
選考方法・試験内容	第一次審査の筆記審査(教養)免除 他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	1	6	7	2	0		16
	平成28年度採用者数(名)	1	1	2	1	0		5
	平成29年度受験者数(名)	2	2	8	2	1	0	15
	平成29年度採用者数(名)	0	1	1	0	0	0	2
	平成30年度受験者数(名)	2	2	8	2	1	1	16

(香川県)

選考名称	特別選考 I ①	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭及び栄養教諭	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	小学校の教諭専願者を除く志願者のうち、民間企業等において通算3年以上の勤務経験(教育に関する職務を除く。)を有する者で、その勤務経験により、小学校を除く出願教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められ、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者(なお、勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含む。)							
資格要件の確認方法	第2次選考試験の際に、出願教科・科目に関連する勤務先の所属長等による推薦書を提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	0	11	7	0	7	0	25
	平成28年度採用者数(名)	0	3	2	0	0	0	5
	平成29年度受験者数(名)	0	11	6	2	0	0	19
	平成29年度採用者数(名)	0	0	2	0	0	0	2
	平成30年度受験者数(名)	0	3	7	1	5	1	17

(高知県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校教諭「看護」	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 49 歳以下					
資格要件	高等学校卒業後、平成29年3月31日現在で、看護師、助産師又は保健師のいずれかの免許を有し、病院等における職務経験が通算5年以上ある人。							
資格要件の確認方法	職務経験を証明する書類							
選考方法・試験内容	一般採用審査に準じるが、第1次審査の教職・一般教養を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			4				4
	平成28年度採用者数(名)			2				2
	平成29年度受験者数(名)			4				4
	平成29年度採用者数(名)			4				4
	平成30年度受験者数(名)			1				1

(佐賀県1)

選考名称	社会人特別選考Ⅰ		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校…理科、英語、保健体育、技術、家庭 高等学校…理科(物理・化学・生物)、英語、保健 体育、家庭、工業(機械・電気)、商業		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	選考試験科目教科(科目)について、特に秀でた知識・技能を有する者で、官公庁、法人格を有する民間企業(教職以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として5年以上の勤務経験があり(平成29年3月31日現在)、かつ教員としての職務を行うのに必要な資質と熱意を有する者。							
資格要件の確認方法	取得資格や実績を証明するものを提出させ、事務局で照合し確認を行う							
選考方法・試験内容	第一次試験における一般・教職教養試験を免除する。第一次試験における他の試験や実技等及び第二次試験については、原則一般選考と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	0	0	2	0	0	0	2
	平成28年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度受験者数(名)	0	1	6	0	0	0	7
	平成29年度採用者数(名)	0	1	1	0	0	0	2
	平成30年度受験者数(名)	0	1	2	0	0	0	3

(佐賀県2)

選考名称	社会人特別選考Ⅱ		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	工業(機械、電気、建築)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>・選考試験科目教科(科目)について、特に秀でた知識・技能を有する者で、官公庁、法人格を有する民間企業(教職以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として5年以上の勤務経験があり(平成28年3月31日現在)、かつ教員としての職務を行うのに必要な資質と熱意を有する者。</p> <p>・社会人特別選考における高等学校教諭等の工業については、特別免許状の本県の検定基準を満たす者は、当該教科の普通免許状の取得又は取得見込みがなくても出願できる。</p>							
資格要件の確認方法	取得資格や実績を証明するものを提出させ、事務局で照合し確認を行う							
選考方法・試験内容	第一次試験における一般・教職教養試験を免除する。第一次試験における他の試験や実技等及び第二次試験については、原則一般選考と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)			2				2
	平成29年度採用者数(名)			2				2
	平成30年度受験者数(名)							0

(長崎県)

選考名称	社会人特別採用選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	募集する全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	※【年齢制限】高等学校教諭志願者以外は44歳以下 ① 民間企業等(公立及び私立の小・中・高・特別支援学校を除く)において、平成22年4月1日以降、平成29年5月31日までに通算5年以上の勤務経験を有する者。 ② 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア等として、平成24年4月1日以降平成29年5月31日までに通算2年以上の国際貢献活動の経験を有する者。 ③ 青少年のために団体宿泊訓練又は各種の研修を行い、併せてその施設を青少年の利用に供する目的で、国もしくは地方公共団体が設置した青少年教育施設(少年自然の家、青年の家等)において、指導業務の従事者として位置付けられ、平成24年4月1日以降、平成29年5月31日までに通算3年以上の勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	社会人特別採用選考申請書の提出。第2次試験の合格者には、職歴確認のため在職証明書の提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次試験の「教職・一般教養試験」を免除する以外は、一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	3	12	11	2	7		35
	平成28年度採用者数(名)	1	1	3	1	1		7
	平成29年度受験者数(名)	4	10	9	3	7		33
	平成29年度採用者数(名)	0	2	3	0	2		7
	平成30年度受験者数(名)	6	7	6	3	8		30

(大分県)

選考名称	特別選考(Ⅱ)(社会人特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	2名			満	50	歳以下	
資格要件	一般選考に必要なとされる要件に加え、次の(1)及び(2)の要件を満たす者に限る。 (1) 次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 志望種に応ずる教諭普通免許状を現に有している者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者 イ (1)のアに該当しない者で、次の①及び②に該当するもの(中学校教諭志望者に限る。) ① 志望する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者 ② 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者 (2) 民間企業・官公庁等において常勤の職(国公立学校・学習塾・予備校等の教育職を除く。)として平成29年6月1日現在5年以上継続して勤務している者							
資格要件の確認方法	上記(2)については、最終合格者に勤務先が発行する在職証明書の提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次試験の教養試験及び専門試験に代えて、小論文を実施する(他は一般選考と同様)。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	1	4					5
	平成28年度採用者数(名)	0	0					0
	平成29年度受験者数(名)	1	1					2
	平成29年度採用者数(名)	0	0					0
	平成30年度受験者数(名)	2	3					5

(宮崎県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考試験Ⅰ・Ⅱ		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	Ⅰ：高等学校工業・商業、特別支援学校知的他 Ⅱ：高等学校水産(機関)		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	Ⅰ：民間企業(私立学校・学習塾・予備校等を除く)・官公庁等(公立学校を除く)に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有する者で、その勤務経験により高等学校(工業、商業)又は特別支援学校知的他に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者。 Ⅱ：3級海技士(機関)の資格を有し、本資格に基づく実務経験が3年以上ある者で、その実務経験により高等学校教諭等水産(機関)に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者								
資格要件の確認方法	特別選考試験申請書及びその資格を証明するものを出願時に提出。								
選考方法・試験内容	小論文及び個人面接。 合格者は、一般選考試験の第一次選考試験合格者とともに、第二次選考試験を受験する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				4	3			7
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)				2	3			5
	平成29年度採用者数(名)				0	0			0
	平成30年度受験者数(名)				1	3			4

(鹿児島県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校の家庭、工業(インテリア)、看護		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	45	歳以下		
資格要件	【家庭】 調理師法第8条の3第1項に規定する調理技術に関する審査に合格し、同法施行規定21条第1項の認定証書の交付を受けた者(専門調理師)、もしくは調理師の資格を持ち、調理師として5年以上の勤務経験を有する者 【工業】 民間企業、官公庁(教職除く)等での勤務経験が5年以上あり、その実務経験によりインテリアや工業デザインに関する高度な専門的知識や技能を有すると認められる者 【看護】 国公立又は民間の医療機関で看護師(保健師、助産師、看護学校等の教官含む)として、5年以上の実務経験を有する者 ※上記3教科とも一般選考の受験資格を満たす者で、免許状の有無は問わない。								
資格要件の確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)								
選考方法・試験内容	1次試験における教職教養試験の免除 高校家庭は、上記に加え2次試験の被服実技を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				3				3
	平成28年度採用者数(名)				3				3
	平成29年度受験者数(名)				3				3
	平成29年度採用者数(名)				1				1
	平成30年度受験者数(名)				3				3

(札幌市)

選考名称	特別免許状の取得を前提とした社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校(工業、商業、英語、看護、水産) 特別支援学校自立活動(肢体不自由教育)	特別免許状の活用	有					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	49	歳以下			
資格要件	次のすべての条件に該当する者 ①昭和43年4月2日以降に生まれた者 ②高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的知識や技能(資格)を有する者 ③社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者 ④教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者							
資格要件の確認方法	申請のあった志願者について、証明機関の発行する資格(技能)証明書及び実務経験に係る職歴証明書等により確認							
選考方法・試験内容	1次検査の専門検査(英語の場合は、実技検査を含む)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)							0

(さいたま市)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	58	歳以下			
資格要件	民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員として、通算3年以上の勤務経験(休職期間等、勤務の実態がない期間を除く)を有する者							
資格要件の確認方法	勤務証明書による確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	16	19			0	2	37
	平成28年度採用者数(名)	0	0			0	0	0
	平成29年度受験者数(名)	16	20			3	4	43
	平成29年度採用者数(名)	1	2			0	1	4
	平成30年度受験者数(名)	7	25			2	3	37

(横浜市)

選考名称	特別選考②(社会人・国際貢献活動経験者特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満たし、同一の民間企業等における継続勤務歴が、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間に3年以上(受験区分が中学校・高等学校の数学及び理科の場合は2年以上)ある人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書等の提出							
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考②該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	47	74	0	8	7		136
	平成28年度採用者数(名)	6	4	0	0	1		11
	平成29年度受験者数(名)	32	57	0	8	7		104
	平成29年度採用者数(名)	7	5	0	1	1		14
	平成30年度受験者数(名)	28	51	1	7	10		97

(川崎市) (再掲:(3)国際貢献活動)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	民間企業又は官公庁等において常勤の職(国公立学校の教員経験を除く)として、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの間に通算3年以上勤務した経験(休職期間等勤務の実態がない期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人							
資格要件の確認方法	任命権者等の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、教科専門試験 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	13	25		4	8		50
	平成28年度採用者数(名)	5	2		0	0		7
	平成29年度受験者数(名)	15	20	2	5	9		51
	平成29年度採用者数(名)	2	1	2	0	1		6
	平成30年度受験者数(名)	8	24	3	5	11		51

※(3)国際貢献活動、(4)民間企業等勤務経験、(9)その他は同一の選考のため、「実施状況」は合算値。

(相模原市)

選考名称	社会人経験者(ア)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験する受験区分・教科の教諭普通免許状を所有している人、又は、平成30年3月31日までに取得見込みの人で、「民間企業(法人)」及び「官公庁等(国公立学校は除く)で常勤社員・職員として平成22年4月1日から平成29年3月31日までの7年間に、通算5年以上、又は1つの民間企業、官公庁で継続して3年以上の勤務経験(育児休業、退職、停職等の期間を除く)を有する者							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	9	11			3		23
	平成28年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成29年度受験者数(名)	7	21			2		30
	平成29年度採用者数(名)	2	1			0		3
	平成30年度受験者数(名)	3	10			0		13

(新潟市)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校教諭、中・高共通、特別支援学校教諭、養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受検資格を満たしている人で、民間企業、官公庁、大学又は研究機関等の正規職員として、1か所5年以上の勤務経験があり、教員の職務を行うのに必要な受検区分に関する専門的な知識・技能や経験を有する人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	2	3		0	0		5
	平成28年度採用者数(名)	0	0		0	0		0
	平成29年度受験者数(名)	1	3		0	2		6
	平成29年度採用者数(名)	0	1	0	0	2		3
	平成30年度受験者数(名)	0	0		1	2		3

※受験者数「中」の欄に、中・高共通出願者を記載

(堺市)

選考名称	特別選考(数・理・技)	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	中学校・特別支援学校中学部の数学、理科、技術	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②法人格を有する同一の民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての活動経験が平成22年4月1日から平成29年3月31日までに、継続して3年以上あること。							
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。							
選考方法・試験内容	1次筆答試験を免除し、1次面接試験(集団・個人)、2次筆答試験、2次面接試験(個人)により選考							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)		11					11

(福岡市)

選考名称	社会人等特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	40	歳以下			
資格要件	平成19年4月1日から平成29年4月30日までの間に法人格を有する同一の民間企業(私立学校も含む)の正社員又は同一の官公庁等の正規職員として、継続して5年以上の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く)がある人							
資格要件の確認方法	職歴証明者の提出(第2次試験合格者のみ提出)							
選考方法・試験内容	選考方法:一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(3)国際貢献活動経験による特別選考」と同一枠で募集 試験内容:第1次試験は専門教科・教養試験(一般教養分野)・論文 第2次試験は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	5	13	2	1	0	0	21
	平成28年度採用者数(名)	2	0	0	0	0	0	2
	平成29年度受験者数(名)	9	21	2	1	3	2	38
	平成29年度採用者数(名)	1	2	0	0	1	0	4
	平成30年度受験者数(名)	4	21	0	1	8	2	36

(5)教職経験による特別の選考

(宮城県)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)								
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	1)平成24年4月1日から平成29年5月18日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校で常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者で、出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の常勤講師、非常勤講師、実習助手、寄宿舎指導員、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員のいずれかとして勤務している者。(休業等の者を除く)							
	<input type="radio"/> 講師含む	2)出願時に学校教育法第1条に定められた学校(注2)の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上勤務している者。(休業等の者を除く)							
	<input type="radio"/> 非常勤含む								
資格要件の確認方法	出願時に提出する人物証明書								
選考方法・試験内容	第1次選考については「専門教養」、「実技(実技のある教科のみ)」、「集団面接」、第2次選考については一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		205	218	42		37	1	503
	平成28年度採用者数(名)		46	35	7		9	0	97
	平成29年度受験者数(名)		178	201	33		32	1	445
	平成29年度採用者数(名)		36	26	9		2	0	73
平成30年度受験者数(名)		159	184	43		25	0	411	

(山形県1)

選考名称	現職教員特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)								
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	一般選考の受験資格を満たし、平成30年3月31日時点で、本県以外において、志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職で、国立大学法人附属学校並びに公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員として、3年以上継続して在職している者。							
	<input type="radio"/> 講師含む								
	<input type="radio"/> 非常勤含む								
資格要件の確認方法	在職証明書の提出。								
選考方法・試験内容	第一次選考試験において、教職教養・一般教養の代わりに小論文を課す。それ以外は一般選考と同様。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		12	5	1	1	1	0	20
	平成28年度採用者数(名)		10	5	0	1	1	0	17
	平成29年度受験者数(名)		23	7	5	2	6	1	44
	平成29年度採用者数(名)		18	3	3	1	6	1	32
平成30年度受験者数(名)		18	11	6	2	1	0	38	

(山形県2)

選考名称	講師等特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特支、高校、養教	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)			満	39	歳以下		
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	一般選考の受験資格を満たし、山形県内の国立大学法人附属学校並びに山形県内の公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校において、志願する校種・職、教科で、常勤の職(講師、助教諭、養護助教諭)又は山形県内の国立大学法人附属学校及び山形県教育委員会が任命した週30時間以上勤務する非常勤講師として勤務した経験のある者又は勤務している者。平成25年4月1日から平成29年4月30日までの期間内で、志願する校種・職、教科において通算25か月以上勤務した経験のある者。ただし、特別支援学校を志願する場合は、学部を問わず、通算することができる。また、小学校、中学校と特別支援学校の併願を希望する者は、通算25か月以上の勤務経験のうち、志願校種において通算12か月以上勤務した経験のある者。						
	<input type="radio"/> 講師含む							
	<input type="radio"/> 非常勤含む							
資格要件の確認方法	職歴申告書の提出。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験において、教職教養・一般教養の代わりに小論文を課す。それ以外は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	37	53	48	11	6		155
	平成29年度採用者数(名)	13	8	10	3	5		39
	平成30年度受験者数(名)	32	43	44	13	8		140

(福島県1)

選考名称	特別選考 I (教職経験者特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種、全教科(科目)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)			満	50	歳以下		
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	①教諭や養護教諭(現職・過去の実績を問わない)として継続して3年以上の教職経験がある者 ②一般選考に示した受験資格を有する者 ③平成29年4月1日現在、満50歳以下のもの						
	<input type="radio"/> 講師含む							
	<input type="radio"/> 非常勤含む							
資格要件の確認方法	任命権者が発行する職歴証明書により確認する。							
選考方法・試験内容	第一次試験:小論文、指導案作成・模擬授業(高校の保体、音楽、美術、書道及び家庭の受験者を除く)、実技試験(中学校の音楽、美術、保体、技術、家庭、高校の保体、音楽、美術、書道、家庭)及び個人面接 第二次試験:一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	45	24	14	11	0		94
	平成28年度採用者数(名)	31	18	0	3	0		52
	平成29年度受験者数(名)	48	17	16	15	1		97
	平成29年度採用者数(名)	27	10	0	3	1		41
	平成30年度受験者数(名)	32	15	27	9	2		85

(福島県2)

選考名称	特別選考Ⅱ(臨時的任用教員経験者特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、全教科(科目)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	45	歳以下	
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む <input type="radio"/> 講師含む <input type="radio"/> 非常勤含む	①本県内の公立学校及び本県内の国立大学法人附属学校において、臨時的任用として直近の3年度間に通算15ヶ月以上の教職経験がある教員②一般選考に示した受験資格を全て有する者						
資格要件の確認方法	特別選考Ⅱ受験資格申告書及び該当期間における辞令のコピーを添付して提出させて確認する。							
選考方法・試験内容	第一次試験:筆答試験(教職教養を除く)、実技試験(小学校、中学校の音楽、美術、保体、技術、家庭、高校の保体、音楽、美術、家庭及び特支のうちこれに該当する者)及び集団面接 第二次試験:一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	195	315	218	89	56		873
	平成28年度採用者数(名)	38	17	11	21	5		92
	平成29年度受験者数(名)	179	305	202	96	54		836
	平成29年度採用者数(名)	14	13	10	13	5		55
	平成30年度受験者数(名)	181	290	185	94	62		812

(茨城県)

選考名称	講師等経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校(国・数・理・保体・英)、高等学校(国・数・保体・英・工・農・商)、特別支援学校、養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小学校50名程度、中学校30名程度、高等学校12名程度、特別支援学校7名程度、養護教諭若干名			満	44	歳以下	
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む <input type="radio"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	一般選考の受験資格を満たした者で、本県内の臨時的任用の講師・養護助教諭・実習助手・寄宿舎指導員(非常勤講師は除く)として勤務し、直近4年で24月以上の勤務経験を有する方、又は直近4年で12月以上かつ志願時において臨時的任用講師等として勤務している方。						
資格要件の確認方法	講師等経験者特別選考勤務実績証明書(様式あり)を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次試験の一般教養・教職専門試験を免除する。(単願のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	204	162	86	62	63	0	577
	平成28年度採用者数(名)	54	34	11	8	4	0	111
	平成29年度受験者数(名)	185	152	79	68	68	0	552
	平成29年度採用者数(名)	64	48	9	8	6	0	135
	平成30年度受験者数(名)	165	142	82	45	75	0	509

(栃木県1)

選考名称	教職経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	臨任含む	現在、正規任用の主幹教諭、指導教諭、教諭または養護教諭(いずれも臨時的任用教員及び非常勤講師を除く)として勤務し、都道府県(栃木県は除く)又は指定都市において、平成30年3月31日までまで継続して3年以上の勤務が見込まれる者(休職、育休等の期間を除く)。ただし、受験する校種、教科、科目と同一の教職経験を2年以上有している者とする。						
資格要件の確認方法	在職証明書(様式自由、任命権者の証明したもの)を提出させるとともに、履歴書に勤務経験のある校種、教科・科目等を記載させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	25	6	4	3	1		39
	平成28年度採用者数(名)	18	3	2	2	1		26
	平成29年度受験者数(名)	22	4	5	6	1		38
	平成29年度採用者数(名)	13	3	1	4	1		22
	平成30年度受験者数(名)	20	6	7	2	1		36

(栃木県2)

選考名称	講師等の経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	臨任含む	平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間に栃木県内の講師(非常勤講師を含む)等として通算で12月以上の勤務をしている者であり、かつ、平成29年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受け、平成30年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において同校種、教科、科目を志望する者。						
資格要件の確認方法	「平成29年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)」のコピー、勤務状況報告書の提出。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	7	15	15	0	4		41
	平成28年度採用者数(名)	4	4	6	0	3		17
	平成29年度受験者数(名)	13	8	22	3	4		50
	平成29年度採用者数(名)	8	5	11	3	2		29
	平成30年度受験者数(名)	6	13	12	3	4		38

(栃木県)

選考名称	介護等の事由による退職者を対象とする一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	ア 栃木県の公立学校の教諭、養護教諭(いずれも正規教員)として、受験する校種、教科、科目と同一の教職経験を5年以上有している者(休職、育休等の期間は除く)。イ 介護等(介護、育児、家族の転勤等による転居)を理由にして退職した者で、①出願時に退職した年度の翌年度から10年以内の者、又は、②①で10年を越えた場合においても、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間に栃木県内の講師(非常勤講師を含む)、助教諭、養護教諭として通算12月以上の勤務をしている者。						
資格要件の確認方法	自己申告書を提出させるとともに、イの②に該当する者は、勤務状況報告書を提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象者となった者は、第1次試験では個人面接のみを実施し、第2次試験では、実技試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	11	5	1	3	1		21
	平成29年度採用者数(名)	8	3	1	2	1		15
	平成30年度受験者数(名)	2	1	0	0	1		4

(群馬県)

選考名称	臨時的任用教員経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間に群馬県の公立学校(幼稚園は除く)で臨時的任用教員又は非常勤講師として、36か月以上勤務した経験を有する人						
資格要件の確認方法	臨時的任用教員経験者特別選考辞令書確認用紙及び経験月数を証明する辞令の写しの提出							
選考方法・試験内容	「小学校教育に関する科目、中学校教育に関する科目、特別支援教育に関する科目、高等学校教育に関する科目、養護に関する科目」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	46	276	114	60	29		525
	平成28年度採用者数(名)	2	50	3	12	0		67
	平成29年度受験者数(名)	42	284	71	114	28		539
	平成29年度採用者数(名)	9	24	6	12	2		53
	平成30年度受験者数(名)	107	243	121	87	35		593

(埼玉県1)

選考名称	臨時的任用教員経験者特別選考A選考、B選考、C選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	○ 臨任含む	<ul style="list-style-type: none"> ◆臨時的任用教員経験者特別選考A選考 埼玉県内の公立学校(さいたま市立小学校・中学校・特別支援学校(小・中学部)を除く。)及び同県内国立大学法人が設置する学校における常勤の臨時的任用教員又は任期付短時間勤務教員としての経験を直近3年間で7月以上有する者。ただし、以下に掲げる要件に留意する。 ・臨時的任用教員等の経験は、上記に掲げる学校での経験とする。なお、埼玉県内の市町村で単独に採用する常勤の教員経験期間も対象となる場合もある。 ・直近3年間とは、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの期間とする。 ・経験校種と出願校種は異なってもよい。 ・経験教科と出願教科は異なってもよい。 ・経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば、当該月は経験月とする。 ・経験期間は、連続している必要はない。また、異校種の経験を合算することができる。 ・非常勤講師の経験は対象とはならない。 ◆臨時的任用教員経験者特別選考B選考 ・上記「A選考」の受験資格を全て満たし、平成29年度又は平成28年度埼玉県公立学校教員採用選考試験(28年度又は27年度実施)第1次試験に合格した者。(志願区分・教科(科目)が同一のものに限る。) ・「第1次試験に合格した者」には、第1次試験全て免除された者は含まない。 ・平成28年度埼玉県公立学校教員採用選考試験(後期)(27年度実施)第1次試験に合格した者も対象とする。 ◆臨時的任用教員経験者特別選考C選考(小学校等教員のみ対象) ・平成29年度特別臨時的任用教員候補者名簿に登載され、原則として平成29年5月1日現在、埼玉県内の公立小学校(さいたま市立小学校を除く。)における常勤の臨時的任用教員である者。 	講師含む	非常勤含む				
資格要件の確認方法	現勤務校又は最終勤務校の保管する履歴書の写しで、所属長が原本証明したもの。							
選考方法・試験内容	特別選考A選考…第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職教養)に代えて面接試験 特別選考B選考…第1次試験免除 特別選考C選考…第1次試験免除、第2次試験は論文試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	1,013	932	501	253	126	0	2,825
	平成28年度採用者数(名)	206	169	84	70	16	0	545
	平成29年度受験者数(名)	1,060	932	483	268	141	0	2,884
	平成29年度採用者数(名)	270	221	104	70	14	0	679
	平成30年度受験者数(名)	1,025	868	437	275	137	2	2,744

(埼玉県2)

選考名称	経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	臨任含む	埼玉県内の公立学校における志願区分に該当する本採用教員としての教職歴が平成29年3月31日現在2年以上の者又は埼玉県外の公立学校における志願区分に該当する本採用教員としての教職歴を平成29年3月31日現在2年以上有し、平成29年4月1日現在引き続き本採用教員として任用されている者。 ただし、以下に掲げる要件に留意する。 ・「教職歴」とは学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校での経験をいう。 ・「教職歴」に、休職(休業)期間は含まない。休職(休業)とは、病気や出産・育児などにより勤務しない期間のことをいう。 ・小学校等教員、中学校等教員、高等学校等教員を志願する場合、「教職歴」に特別支援学校の小学部、中学部、高等部での経験は含まない。 ・特別支援学校教員を志願する場合、「教職歴」に小学校、中学校、高等学校での経験は含まない。 ・中等教育学校における教職歴については、前期課程を中学校、後期課程を高等学校の教職歴とみなす。前期課程及び後期課程の双方を同時に担当した期間については、1週間当たりの授業時間数が前期課程の方が多い場合は中学校、後期課程の方が多い場合は、高等学校の教職歴とみなす。 ・経験教科と出願教科は異なってもよい。						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	履歴書の写し(県内公立学校の本採用教員経験者においては、本採用最終勤務校、県外公立学校の本採用教員は現勤務校の保管する履歴書の写しで、所属長が原本証明したもの。)							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	44	13	19	19	8	0	103
	平成28年度採用者数(名)	16	5	6	8	3	0	38
	平成29年度受験者数(名)	44	21	18	13	15	0	111
	平成29年度採用者数(名)	12	5	9	3	4	0	33
	平成30年度受験者数(名)	48	27	18	15	17	0	125

(神奈川県1)

選考名称	教職経験者		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	○ 臨任含む	国公立学校において、正規教員又は臨時的任用職員等(常勤と同様の勤務形態での任用)として、平成25年4月1日から平成29年3月31日までの4年間に通算1年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る。)						
	○ 講師含む	なお、神奈川県内公立特別支援学校(県内政令指定都市立の学校を含む)の臨時的任用職員としての勤務経験に基づき特別支援学校を受験する場合、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問わない。						
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	457	439	633	249	95		1,873

(神奈川県2)

選考名称	臨時的任用職員経験者		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	○ 臨任含む	平成28年度実施の第2次試験における不合格者のうち、「不合格(臨時的任用職員候補者)」の通知を受け、平成29年4月に神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員として任用されていること(ただし、任用された校種の受験に限る。)なお、特別支援学校を受験する場合に、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問わない。							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。								
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験を免除し、個人面接を課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		429	357	223	223	52		1,284
	平成28年度採用者数(名)		104	102	47	64	7		324
	平成29年度受験者数(名)		403	374	287	192	67		1,323
	平成29年度採用者数(名)		52	105	69	55	6		287
平成30年度受験者数(名)		15			3			18	

平成28、29年度に関しては臨時的任用職員経験者A、Bの数を含む。30年度はA、Bを廃止。

平成29年度特支採用者55名のうち1名は中学校区分受験者。

(富山県)

選考名称	特別選考 教職経験		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	臨任含む	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成30年3月31日までに取得見込みであり、国立大学法人又は地方公共団体が設置する学校(幼稚園を除く)の主幹教諭、指導教諭、教諭又は養護教諭として平成29年3月31日まで継続して3年以上の勤務経験(退職、育児休暇等の期間を除く)があり、かつ出願時も引き続き任用中の者。							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に登載された者のみに在職・勤務証明書を提出させる。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受験者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		8	9		3			20
	平成28年度採用者数(名)		7	5		1			13
	平成29年度受験者数(名)		7	11		3			21
	平成29年度採用者数(名)		6	5		2			13
平成30年度受験者数(名)		7	13					20	

※中高一括で検査を実施しているため、中高の人数を「中」の欄に記載。

(石川県)

選考名称	正規教員としての勤務経験を有する受験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校及び高等学校、養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	臨任含む	一般選考の受験資格を全て満たし、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)として、平成29年3月31日現在、3年以上(休職、育児休業の期間を除く)の勤務経験があり、かつ、次の①②いずれかに該当する者						
	講師含む	①現に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)である者						
	非常勤含む	②過去に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)であった者で、本県国公立学校の講師(臨時的任用又は非常勤)として、平成28年4月1日から平成30年3月末日までに11か月以上の勤務経験(見込を含む)を有する者						
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書を提出し、採用候補者となった者は、受験資格に該当する職歴証明を提出。							
選考方法・試験内容	小学校教諭等：一般選考の試験内容から、筆記試験及び実技試験を免除。 中学校教諭等及び高等学校教諭等、養護教諭：一般選考の試験内容から筆記試験における総合教養を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	31	17	中に含む		3		51
	平成28年度採用者数(名)	12	3			0		15
	平成29年度受験者数(名)	23	16	中に含む		1		40
	平成29年度採用者数(名)	8	3	3	高に含む	1		15
	平成30年度受験者数(名)	34	13	中に含む		0		47

(山梨県)

選考名称	教職経験者を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	臨任含む	次の①～③のいずれかの経験を有する者 ①過去において山梨県又は他の都道府県・政令指定都市の公立の小・中・高・特別支援学校の教諭もしくは養護教諭・栄養教諭として3年以上正規教員として勤務した経験を有する者						
	講師含む	②現に他の都道府県・政令指定都市の公立の小・中・高・特別支援学校の教諭もしくは養護教諭・栄養教諭として正規教員の職にある者						
	非常勤含む	③平成24年4月1日以降、山梨県の公立学校の小・中・高・特別支援学校の臨時的任用教職員として、平成29年3月31日現在で通算3年以上の勤務経験(見込みも含む)がある者						
資格要件の確認方法	県内の場合は在職経歴書で確認。県外で正規教員として勤務した経験者及び現に正規教員の職にある者は、任命権者の教育委員会発行の履歴証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、一般・教職教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	51	54	61	30	11		207
	平成28年度採用者数(名)	19	13	6	10	2		50
	平成29年度受験者数(名)	68	73	61	20	12		234
	平成29年度採用者数(名)	61	44	6	6	4		121
	平成30年度受験者数(名)	64	74	66	24	16	2	246

(長野県)

選考名称	正規教員経験者を対象とした選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭・栄養教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)								
資格要件	臨任含む	長野県内の国公立学校の正規教員として5年以上の教職経験(育児休業等の期間を含む)があり、出産、育児及び介護等を理由に退職した者。小・中・特別支援学校の教職志願者は、平成28年度又は平成29年度に長野県内の国公立小・中・特別支援学校で常勤・非常勤講師の経験を有すること。小・中・特別支援学校の養護教諭志願者は、平成28年度又は平成29年度に長野県内の国公立小・中・特別支援学校で養護助教諭の経験を有すること。小・中・特別支援学校の栄養教諭志願者は、平成28年度又は平成29年度に長野県内の国公立小・中・特別支援学校又は共同調理場で栄養士の業務経験(勤務形態は問わない)を有すること。高等学校の教諭志願者は、平成28年度又は平成29年度に長野県内の公立高等学校で常勤・非常勤講師の経験を有すること。高等学校の養護教諭志願者は、平成28年度又は平成29年度に長野県内の公立高等学校で養護助教諭の経験を有すること。高等学校の教諭・養護教諭志願者は、以前、長野県内の公立高等学校で正規教員として採用された教科等に限る。本年度採用選考を実施する教科に限る。							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	所属長の推薦並びに履歴書の記入による。								
選考方法・試験内容	一次選考は専門教科(二次選考の際に参考とする)と書類審査、二次選考は個人面接を2回実施、適性検査、小学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語、特別支援学校は実技あり。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		4	7	1	1			13
	平成28年度採用者数(名)		2	2	0	0			4
	平成29年度受験者数(名)		5	7	0	0			12
	平成29年度採用者数(名)		3	2	0	0			5
平成30年度受験者数(名)		6	2	0	1			9	

(静岡県1)

選考名称	教職経験者を対象とした選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)								
資格要件	臨任含む	ア1 静岡県内外の国公立学校において、教諭又は養護教諭として、平成29年3月31日まで連続して3年以上の実務経験をもつ者(在職中の者も含む)。ただし、実務経験がある校種を受験する者。							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(勤務歴証明)								
選考方法・試験内容	1次試験において、教職・一般教養、教科専門試験を免除し、面接試験のみとする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)		25	7	6	9	2		49	

(静岡県2)

選考名称	教職経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	ア2 静岡県内外の国公立学校において、教諭又は養護教諭として、平成29年3月31日まで連続して3年以上の実務経験をもつ者(在職中の者も含む)ただし、実務経験がある校種以外を受験する者。						
	<input type="radio"/> 講師含む	イ 静岡県内の国公立学校において、臨時的任用講師又は臨時的任用養護教諭として、平成28年度に勤務実績を有し、かつ、直近の過去5年度(平成24年度から平成28年度)で通算36か月以上勤務した者						
	<input type="radio"/> 非常勤含む							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(勤務歴証明)							
選考方法・試験内容	1次試験において、教職・一般教養を免除し、教科専門及び面接試験のみとする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	109	45	93	116	19		382
	平成28年度採用者数(名)	32	8	11	26	1		78
	平成29年度受験者数(名)	103	53	85	126	26		393
	平成29年度採用者数(名)	25	11	21	36	3		96
	平成30年度受験者数(名)	88	48	62	113	27		338

(静岡県3)

選考名称	教職経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	ウ 静岡県内外の国公立学校において、教諭又は養護教諭として平成29年3月31日までに2年以上の実務経験をもつ者						
	<input type="radio"/> 講師含む	エ 静岡県内の国公立学校において、臨時的任用講師又は臨時的任用養護教諭として、平成28年度に勤務実績を有し、かつ、直近の過去3年度(平成26年度から平成28年度)までで通算24か月以上勤務した者						
	<input type="radio"/> 非常勤含む							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(勤務歴証明)							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	30	19	24	30	8		111
	平成28年度採用者数(名)	10	3	7	9	2		31
	平成29年度受験者数(名)	28	25	23	29	8		113
	平成29年度採用者数(名)	12	6	4	1	2		25
	平成30年度受験者数(名)	28	25	18	49	8		128

(愛知県1)

選考名称	現職教諭特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	臨任含む	国立大学法人が設置する学校又は公立学校の正規任用の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあり、平成29年4月1日現在において、3年以上(休職、育児休業等の期間は除く。)の勤務実績を有する人。							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	出願資格を確認できる、任用の期間及び現職にあることなどがわかる在職期間証明書、職歴証明書又は履歴書の写し等を提出する。								
選考方法・試験内容	選考試験の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		43	16	52	22	7	0	140
	平成28年度採用者数(名)		21	7	15	8	1	0	52
	平成29年度受験者数(名)		49	17	35	9	8	0	118
	平成29年度採用者数(名)		16	10	11	5	2	0	44
平成30年度受験者数(名)		42	14	44	16	5	3	124	

(愛知県2)

選考名称	元教諭・講師経験者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	○ 臨任含む	次のア及びイをともに満たす人に限る。 ア 平成29年4月1日以降に、愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の職員(正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭を除き、非常勤の職にある者を含む。)として勤務し、出願時に勤務する学校において所属長の推薦が得られた人 イ 次の(ア)又は(イ)において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 ※ 次の(ア)の勤務実績と(イ)の勤務実績は合算することができる。 (ア) 元教諭としての勤務実績 平成29年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校又は公立学校において正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭としての勤務実績を有すること。 (イ) 講師経験者としての勤務実績 平成22年4月1日から平成29年3月31日までの7年間に、国立大学法人が設置する学校又は公立学校において講師(非常勤の職にある者を除く。)又は養護教諭及び栄養教諭(正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。)としての勤務実績を有すること。 ※ 勤務実績の算定方法について 元教諭又は講師(非常勤の職にある者を除く。)として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができる。							
	○ 講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	所定の「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」の[受験者記入欄]に必要事項を記入の上、出願時に勤務する愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の所属長が作成した推薦書を提出する。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		281	213	109	82	64	1	750
	平成28年度採用者数(名)		67	45	34	24	7	0	177
	平成29年度受験者数(名)		327	227	115	82	73	2	826
	平成29年度採用者数(名)		50	55	30	21	5	0	161
平成30年度受験者数(名)		416	214	121	81	76	4	912	

(三重県1)

選考名称	教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅰ〕		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	一般選考を実施する全校種・教科等		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	臨任含む	要項に示す一般選考の申込資格に加えて、国立または公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校または特別支援学校において、正規の教諭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭または栄養教諭として、平成29年3月31日現在、休職等非常勤含むの期間を除き、3年以上の勤務経験を有する人。						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	「人事記録の写し(末尾に任命権者または所属長の証明が付されているもの)」の提出によって確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考の「筆答試験(教養)」を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	26	14	15	5	0	0	60
	平成28年度採用者数(名)	8	4	3	2	0	0	17
	平成29年度受験者数(名)	22	11	12	2	1	0	48
	平成29年度採用者数(名)	8	8	3	0	0	0	19
	平成30年度受験者数(名)	25	9	9	4	4	0	51

(三重県2)

選考名称	教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭及び養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	○ 臨任含む	要項に示す一般選考の申込資格に加えて、次のいずれかに該当する人。 (1) 平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間のうち36月以上、以下のアまたはイの職種で任用されていた人。 (2) 平成29年度三重県公立学校教員採用選考試験において、申込と同じ校種・教科等の第1次選考試験に合格し、かつ、平成29年4月から第1次選考試験実施日までの期間に2月以上、以下のアまたはイの職種で任用される予定がある人。 ア 小学校、中学校、高等学校または特別支援学校教諭申込者においては常勤講師 イ 養護教諭申込者においては養護助教諭(常勤)						
	○ 講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	受験資格の有無は、「教職歴申告書」を参考に教職経験年数を確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考における「筆答試験(教養)」に代えて「人物証明書」による選考を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	214	224	92	35	45	0	610
	平成28年度採用者数(名)	50	32	17	9	12	0	120
	平成29年度受験者数(名)	258	256	113	40	53	0	720
	平成29年度採用者数(名)	57	34	12	13	9	0	125
	平成30年度受験者数(名)	237	238	76	35	52	0	638

(大阪府)

選考名称	現職教諭対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	今年度募集する全ての校種・教科・科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	臨任含む	次の①及び②を満たしていること。						
	講師含む	①平成29年4月1日現在、学校教育法上の国立学校、公立学校(大阪府内の学校を除く。)、私立学校に正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師(いずれも、期間の定めのない雇用形態で、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。以下「教諭等」という。)として在職(休職中である場合を除く。)しており、平成30年3月31日までに上記の学校で通算2年(休職期間を除く。)以上の在職経験がある(見込みを含む。)こと。						
	非常勤含む	②教諭等として平成30年3月31日現在で1年以上、出願する校種等・教科(科目)の教育課程内の授業等を担当した実績(時間数は問わない。休職期間は除く。)があること。						
資格要件の確認方法	出願時は受験者が入力した経歴等により確認。合格後は在職証明等の提出により確認。							
選考方法・試験内容	第2次選考(面接テスト)、第3次選考(面接テスト)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	48	19	78	4	9	1	159
	平成29年度採用者数(名)	5	2	11	1	1	0	20
	平成30年度受験者数(名)	49	27	76	17	4	1	174

(奈良県)

選考名称	教職経験特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	実習助手以外の募集する全校種等・教科等		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む	現に国立及び公立(奈良県以外)学校教諭、私立学校の正規の現職教員として3年以上勤務(平成29年3月31日現在における勤務年数)している者、若しくは奈良県内の公立学校において、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間で通算3年(36月)以上常勤講師等の経験がある者。						
	<input type="checkbox"/> 講師含む							
	<input type="checkbox"/> 非常勤含む							
資格要件の確認方法	出願時の願書・在職証明							
選考方法・試験内容	第1次試験時の一般教養の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	154	140	47	46	26	10	423
	平成28年度採用者数(名)	34	30	9	10	4	1	88
	平成29年度受験者数(名)	181	134	62	55	19	10	461
	平成29年度採用者数(名)	30	32	10	14	3	1	90
	平成30年度受験者数(名)	193	152	82	60	30	7	524

※栄養教諭のみ59歳。

(和歌山県)

選考名称	現職教諭特別選考		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					選択してください。	
	(具体的に)							満	59
資格要件	臨任含む	学校教育法上の国公立学校(和歌山県を除く。)に、正式採用の主幹教諭、指導教諭、 教諭、養護教諭、期限を付さない講師として通算3年以上(休職及び休業期間を除く。) 在職している人。							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	現職教諭として在職期間に係る辞令等の写し及び申請書								
選考方法・試験内容	一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:適性検査、実技、面接 一次又は二次で論文								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
	平成30年度受験者数(名)		17	10	3	3	1		34

(鳥取県)

選考名称	現職教諭を対象とした選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	すべての試験区分		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	49
資格要件	臨任含む	一般選考の受験資格に加え、他の都道府県の公立又は国立大学法人が設置する学 校に教諭又は養護教諭として正式に採用され、平成30年3月31日現在において、志願 する試験区分、教科(科目等)に3年以上(休職、育児休業等の期間は除く。)従事し、 かつ出願時点においても正式任用されている者							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	任命権者による履歴の証明								
選考方法・試験内容	小学校教諭、中学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭志願者は、第一次選考試験におけ る筆記試験、技能・実技試験及び集団討議を免除する。(面接試験のみ実施する。) 高等学校教諭志願者は、第一次選考試験における一般教養・教職教養試験、集団討議及び 面接試験を免除する。(志願する教科(科目等)に関する専門試験のみ実施する。)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		9	10		1			20
	平成28年度採用者数(名)		9	6	0	0			15
	平成29年度受験者数(名)		10	11	3	3	1		20
	平成29年度採用者数(名)		9	6		2	1		18
	平成30年度受験者数(名)		7	7	5	1			20

(岡山県1)

選考名称	特別選考E[教職経験者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	臨任含む	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。						
	講師含む	(イ)本県の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)として、2年以上の勤務経験(受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。)がある者で、退職日						
	非常勤含む	から10年を経過していない者。						
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	2	1	0	0	0	0	3
	平成28年度採用者数(名)	2	0	0	0	0	0	2
	平成29年度受験者数(名)	2	2	1	1	0	0	6
	平成29年度採用者数(名)	1	0	0	0	0	0	1
	平成30年度受験者数(名)	2	3	2	0	0	1	8

(岡山県2)

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	臨任含む	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)次の要件をすべて満たす者。						
	○ 講師含む	①平成29年度(平成28年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]又は特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考で受験した者を除く。						
	○ 非常勤含む	②平成29年度、常勤講師等又は非常勤講師として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。						
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書、所属長の推薦書及び平成29年度(平成28年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写しを提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	65	44	26	15	6	0	156
	平成28年度採用者数(名)	30	14	14	10	4	0	72
	平成29年度受験者数(名)	56	29	35	18	6	3	147
	平成29年度採用者数(名)	22	14	18	11	3	1	69
	平成30年度受験者数(名)	74	62	24	17	12	0	189

(広島県・広島市1)

選考名称	現職教員を対象とした特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	一般選考と同じ(養護教諭・栄養教諭を除く)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	臨任含む	一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次のア及びイの要件を満たす者							
	講師含む	ア 国公立学校における正規職員(広島県、広島市の正規職員を除く。)として、平成29年3月31日までに通算して3年以上の教職経験(受験する職種(実習助手(正規職員及び臨時的任用職員)、助教諭、非常勤講師は教諭とみなす。)、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。)があること。							
	非常勤含む	イ 出願時に国公立学校における正規職員(広島県、広島市の正規職員を除く。)であり、かつ、平成30年3月31日まで引き続き勤務予定であること。							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出								
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		42	14	15	3			74
	平成28年度採用者数(名)		7	4	4	0			15
	平成29年度受験者数(名)		33	15	13	4			65
	平成29年度採用者数(名)		9	0	4	1			14
			32	24	14	7			77

(広島県・広島市2)

選考名称	臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	一般選考と同じ		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	○ 臨任含む	一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次の要件を満たす者が受験できます。教諭の受験については、次のア又はイの要件のいずれかを満たす者であること。							
	○ 講師含む	ア 広島県・広島市の公立学校で、正規職員(実習助手に限る。)、育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等として、受験前過去4年間(平成25年度から平成28年度まで)で通算36月以上の教科に関する教職経験(受験する職種(実習助手、助教諭及び非常勤講師は教諭とみなす。)、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。休職等の期間を除く。以下同じ。)があること。							
	○ 非常勤含む	イ 広島県・広島市の公立学校で過去に正規職員として通算3年以上の教科に関する教職経験及び広島県・広島市の公立学校の育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等としての受験前過去2年間(平成27年度及び平成28年度)で通算12月以上の教科に関する教職経験があること。養護教諭及び栄養教諭の受験については、次のア又はイの要件のいずれかを満たす者であること。							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出								
選考方法・試験内容	第1次試験:集団面接、グループワーク 第2次試験:個人面接、模擬授業、実技試験								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		167	197	107	33	31		535
	平成28年度採用者数(名)		34	35	22	11	7		109
	平成29年度受験者数(名)		159	184	103	19	19		484
	平成29年度採用者数(名)		35	26	22	9	6		98
			127	186	91	27	16		447

(徳島県1)

選考名称	本県での教職経験を有する者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	臨任含む	免許状必要。過去に、本県に所在する公立の小・中・高等学校・特別支援学校の教諭 又は養護教諭の職にあった者						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	履歴書等							
選考方法・試験内容	第一次審査の筆記審査(教養)免除 他は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	0	0	1	0	0	0	1
	平成28年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度受験者数(名)	0	0	3	0	0	0	3
	平成29年度採用者数(名)	0	0	1	0	0	0	1
	平成30年度受験者数(名)	0	0	2	0	0	0	2

(徳島県2)

選考名称	現職教員を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	臨任含む	免許状必要。現に、他の都道府県に所在する国公立の小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校、義務教育学校に勤務し、平成29年3月末現在、3年以上の実勤務のある教員(臨時的任用に係る者を除く) ア:昭和53年4月2日～昭和62年4月1日の間に生まれた者 イ:ア以外の者						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	公立学校共済組合員証の写しの提出と原本確認(第二次審査時)、履歴書等							
選考方法・試験内容	ア:第一次審査[筆記審査(専門・教養)と実技審査, 集団面接審査]を免除する。 イ:第一次審査の筆記審査(教養)を免除する。他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	23	10	4	1	0		38
	平成28年度採用者数(名)	9	1	1	0	0		11
	平成29年度受験者数(名)	17	13	5	5	1	2	43
	平成29年度採用者数(名)	9	6	2	2	1	1	21
	平成30年度受験者数(名)	14	6	7	6	2	0	35

(徳島県3)

選考名称	臨時教員に係る特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む <input type="radio"/> 講師含む <input type="radio"/> 非常勤含む	過去5年間(平成24～28年度)に36月以上、本県の小・中・高等学校・特別支援学校で臨時教員等としての勤務経験を有する者						
資格要件の確認方法	「臨時教員の勤務歴等に係る証明書(国・市町村・私立学校の発令がある場合)及び「臨時教員の勤務歴等に係る申立書」							
選考方法・試験内容	第一次審査の筆記審査(教養)を免除する。他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	89	68	116	39	23		335
	平成28年度採用者数(名)	15	10	15	10	5		55
	平成29年度受験者数(名)	87	71	108	33	17	1	317
	平成29年度採用者数(名)	16	12	7	6	0	0	41
	平成30年度受験者数(名)	86	68	113	38	21	2	328

(香川県1)

選考名称	特別選考 I ②		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	過去において本県又は他の都道府県・指定都市の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者。						
資格要件の確認方法	当該都道府県・指定都市の教育委員会の発行する履歴書証明書を出願時に提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	4	3	7	4	0	0	18
	平成28年度採用者数(名)	3	0	2	1	0	0	6
	平成29年度受験者数(名)	9	7	5	3	0	0	24
	平成29年度採用者数(名)	5	0	1	0	0	0	6
	平成30年度受験者数(名)	7	5	2	3	2	0	19

(香川県2)

選考名称	特別選考 I ③	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	臨任含む 講師含む 非常勤含む	現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にある者。						
資格要件の確認方法	願書に記載された職歴内容で確認する。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	23	8	12	9	6	1	59
	平成28年度採用者数(名)	16	4	2	1	1	0	24
	平成29年度受験者数(名)	23	6	11	5	6	1	52
	平成29年度採用者数(名)	7	2	3	1	1	1	15
	平成30年度受験者数(名)	11	1	10	2	5	0	29

(香川県3)

選考名称	特別選考 I ⑤	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	臨任含む 講師含む 非常勤含む	本県の国公立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において、講師等(臨時的に任用され、常勤(非常勤(週30時間以上)を含む。)として勤務している講師、養護助教諭及び学校栄養職員をいう。以下同じ。)として、平成25年4月1日から平成29年5月31日までの間に、通算24カ月以上の勤務実績(異校種の勤務実績を合算することができる。)がある者						
資格要件の確認方法	発令庁が香川県の場合、講師等を対象として特別選考による受験申請書を、発令庁が香川県以外の場合は在職証明書を、受験者より提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	77	88	39	16	64	5	289
	平成28年度採用者数(名)	18	18	14	2	2	1	55
	平成29年度受験者数(名)	95	82	53	22	63	10	325
	平成29年度採用者数(名)	25	7	17	5	4	3	61
	平成30年度受験者数(名)	87	90	62	22	61	6	328

(愛媛県1)

選考名称	現職教員特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	臨任含む	他の都道府県の国公立学校の教員として勤務している者(期限付任用又は臨時的任用である者を除く。)	で、平成29年6月7日時点で2年以上の教職経験(期限付任用又は臨時的任用である期間及び休職、育児休業等の期間を除く。)を有し、当該教職経験に係る試験区分を志願する者						
資格要件の確認方法	現職教員特別選考申請書による。								
選考方法・試験内容	【小・中・特支】第1次選考試験の全てを免除する。 【高・養護・栄養】第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		6	7	2	0	1	0	16
	平成28年度採用者数(名)		4	0	0	0	1	0	5
	平成29年度受験者数(名)		20	15	6	2	1	0	44
	平成29年度採用者数(名)		14	8	2	1	1	0	26
		平成30年度受験者数(名)	42	22	9	2	1	2	78

(愛媛県2)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	49
資格要件	臨任含む	本県の国公立学校で3年以上の教職経験(期限付任用又は臨時的任用である期間及び休職、育児休業等の期間を除く。)	を平成29年6月7日時点で有する者						
資格要件の確認方法	教職経験者・現職教員特別選考申請書による。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		3	1	0	0	0	0	4
	平成28年度採用者数(名)		1	1	0	0	0	0	2
	平成29年度受験者数(名)		3	1	0	0	0	0	4
	平成29年度採用者数(名)		0	1	0	0	0	0	1
		平成30年度受験者数(名)	4	0	0	0	0	0	4

(高知県)

選考名称	現職教員等特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭、小学校・中学校養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)	小学校教諭10名程度 小学校・中学校養護教諭5名程度						
資格要件	臨任含む	小学校教諭又は養護教諭の普通免許状を有し、次の①又は②のいずれかに該当する人。 ①現に国・公立学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭若しくは養護教諭又は講師(常時勤務の職に限り、臨時的任用の職は除く。)である人で、職務歴が通算5年以上ある人。 ②過去に①の職であった人で、職務歴が通算7年以上ある人。						
	○講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	本人の願書及び職歴により確認し、採用候補者名簿に登載された際に、在職を証明する書類(任命権者の証明印必要)の提出により確認する。							
選考方法・試験内容	面接審査(口頭試問含む。)及び応募書類(課題及び実績調書等)により選考。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	2						2
	平成28年度採用者数(名)	2						2
	平成29年度受験者数(名)	9				0		9
	平成29年度採用者数(名)	6				0		6
平成30年度受験者数(名)	未定				未定		0	

(福岡県)

選考名称	現職教員特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	臨任含む	現に小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校及び特別支援学校の正規教員として勤務している者で、所定の申請書を提出する者。 ただし、現職と同一の校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。(養護教員及び栄養教員については校種等を問わない。)						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	出願時に現職教員を対象とした特別選考申請書を提出させる。							
選考方法・試験内容	第一次試験において集団討論、集団面接を実施。第二次試験において個人面接、論文及び適性検査を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
平成30年度受験者数(名)	77	26	53	14	6	1	177	

(宮崎県)

選考名称	他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)							
資格要件	臨任含む	他県現職教員：現に本県以外の公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として5年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験のある者						
	講師含む	他県元教員：他県の公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として5年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験のある者						
	非常勤含む	本県元教員：本県の公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として5年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験のある者						
資格要件の確認方法	特別選考試験申請書を出願時に提出。							
選考方法・試験内容	小論文及び個人面接。 合格者は、一般選考試験の第一次選考試験合格者とともに、第二次選考試験を受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	18	3	2	1			24
	平成29年度採用者数(名)	8	3	1	1			13
	平成30年度受験者数(名)	12	5	2	3	2		24

平成29年度の数值については他県現職教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験の数值

(鹿児島県)

選考名称	優秀教員特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭、養護教諭、栄養教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)							
資格要件	臨任含む	他都道府県又は政令指定都市の学校等に勤務している正規教員で、過去に文部科学省又は都道府県、政令指定都市において優秀教員表彰等を受けた者						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
選考方法・試験内容	1次試験における教職教養試験の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0

(仙台市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満		歳以下	
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	受験資格を満たし、かつ次のア、イのいずれかに該当する者 ア、出願時において学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭として、継続して24月以上勤務している者						
	<input type="radio"/> 講師含む	イ、出願時において宮城県・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師、非常勤講師(1週当たり29時間以上)、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手、代替寄宿舎指導員のいずれかとして勤務しており、平成24年4月1日から出願時までに宮城県内・仙台市内の国公立学校で常勤講師、非常勤講師(1週当たり29時間以上)、代替養護教諭、代替栄養教諭として、通算24月以上(30日以上の休職期間を除く)勤務した実績のある者						
	<input type="radio"/> 非常勤含む							
資格要件の確認方法	出願時に提出する勤務状況申告書・辞令の写し							
選考方法・試験内容	筆記試験2【教養】に替えて、集団面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	69	59	3		8	1	140

(さいたま市1)

選考名称	経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む	国公立の小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)において、本採用教員として2年以上の勤務経験を有する方を対象とする。ただし、養護教員、栄養教員については国公立高等学校経験者も含む。						
	<input type="radio"/> 講師含む							
	<input type="radio"/> 非常勤含む							
資格要件の確認方法	本採用最終勤務校の保管する履歴書の写しによる確認							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	31	15			5	0	51
	平成28年度採用者数(名)	2	2			1	0	5
	平成29年度受験者数(名)	34	18			7	1	60
	平成29年度採用者数(名)	10	6			1	0	17
	平成30年度受験者数(名)	29	19			12	2	62

(さいたま市2)

選考名称	臨任教員勤務実績特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	○ 臨任含む	次の①～③のいずれかに該当する者						
	○ 講師含む	①さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員として、平成27年4月1日から平成29年3月31日までの2年間に於いて、通算170日以上勤務期間を有する者。						
	○ 非常勤含む	②さいたま市スクールアシスタントとして、平成27年4月1日から平成29年3月31日までの2年間に於いて、通算170日以上の実勤務日数を有する者。 ③さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員及びさいたま市スクールアシスタントの勤務実績を有する場合、臨時的任用教員の勤務期間と、スクールアシスタントの実勤務日数を加えた期間が、平成27年4月1日から平成29年3月31日までの2年間に於いて、通算170日以上ある者。						
資格要件の確認方法	人事管理データにより確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	148	182			16	0	346
	平成28年度採用者数(名)	29	33			2	0	64
	平成29年度受験者数(名)	176	188			14	0	378
	平成29年度採用者数(名)	25	38			1	0	64
	平成30年度受験者数(名)	194	179			16	0	389

(横浜市)

選考名称	特別選考①(教職経験者特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	○ 臨任含む	受験資格を満たし、受験区分に該当する「国及び地方公共団体が設置する学校における正規教員又は臨時的任用職員」、もしくは「私立学校又は文部科学大臣から認定を受けている日本人学校で常勤として勤務する教員」としての教職歴が、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間に通算1年以上(休職等により勤務しなかった期間は含まない)ある方。						
	○ 講師含む	(1)小学校応募者は、小学校における教諭としての教職歴が1年以上必要。						
	○ 非常勤含む	(2)中学校・高等学校応募者は、中学校または高等学校における教職歴が1年以上必要だが、中等教育学校又は高等専門学校における教諭としての教職歴を中学校の教職歴とみなし通算できる。 (3)特別支援学校応募者は、特別支援学校(盲学校、聾学校、養護学校を含む)における教諭としての教職歴が通算して1年以上必要。 (4)養護教諭応募者は、校種に関係なく養護教諭としての教職歴が1年以上必要。 (5)非常勤講師の勤務歴は、特別選考①の受験資格とならない。						
資格要件の確認方法	職歴証明書等の提出							
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考①該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	418	411	13	81	44		967
	平成28年度採用者数(名)	122	55	3	17	2		199
	平成29年度受験者数(名)	426	362	0	80	49		917
	平成29年度採用者数(名)	93	47	0	17	8		165
	平成30年度受験者数(名)	414	304	14	83	40		855

(川崎市1)

選考名称	特別選考Ⅰ(正規教員経験者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	国立学校において正規教員として、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの間に、通算2年以上勤務した経験(休職・育児休業等の期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人						
資格要件の確認方法	任命権者の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、集団討論 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	13	5		11	1		30
	平成28年度採用者数(名)	2	2		3	0		7
	平成29年度受験者数(名)	15	13	0	6	6		40
	平成29年度採用者数(名)	4	2	0	3	2		11
	平成30年度受験者数(名)	25	13	0	5	3		46

(川崎市2)

選考名称	特別選考Ⅱ(臨時的任用職員・非常勤講師経験者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	川崎市立学校において臨時的任用職員又は非常勤講師(週20時間以上)として、平成25年4月1日から平成28年3月31日までの間に通算11月以上勤務した経験を有する人						
資格要件の確認方法	過去の任用歴を確認する							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、集団討論 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	121	135		34	10		300
	平成28年度採用者数(名)	38	35		18	3		94
	平成29年度受験者数(名)	137	141	0	39	14		331
	平成29年度採用者数(名)	73	41	0	16	6		136
	平成30年度受験者数(名)	135	145	2	36	15		333

(相模原市1)

選考名称	正規教員経験者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	臨任含む 講師含む 非常勤含む	国、地方公共団体又は学校法人が設置する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の正規教員として平成18年4月1日から平成28年3月31日までの10年間に2年以上の勤務経験(育児休業、退職、停職等の期間を除く)を有する者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)。						
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	25	20			3		48
	平成28年度採用者数(名)	5	1			1		7
	平成29年度受験者数(名)	20	17			4		41
	平成29年度採用者数(名)	3	2			1		6
	平成30年度受験者数(名)	26	21			2		49

(相模原市2)

選考名称	臨時的任用職員・非常勤講師経験者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	○ 臨任含む 講師含む ○ 非常勤含む	ア 地方公共団体が設置する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の臨時的任用職員(常勤代替教諭)(非常勤講師、講師を除く)として平成25年4月1日から平成29年3月31日までの4年間に、通算2年以上の勤務経験を有する者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)。 イ 相模原市立の小学校、中学校の臨時的任用職員(常勤代替教諭)又は非常勤講師(講師を除く)として平成27年4月1日から平成29年3月31日までの2年間に、通算11か月以上の勤務経験を有し、かつ、平成29年4月1日から平成29年4月30日までの間に1日でも、相模原市立の小学校、中学校の常勤代替教諭(臨時的任用職員)又は非常勤講師として任用実績がある者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)。 ウ 平成28年度実施相模原市立学校教員採用候補者選考試験において、受験区分小学校で受験し、不合格となった者のうち、一定の基準を満たした成績上位者として常勤代替教諭(臨時的任用職員)の紹介(該当者には、2次試験結果通知にて知らせている)を受け、平成29年4月1日から平成29年4月30日までの間に1日でも、相模原市立小学校の常勤代替教諭(臨時的任用職員)として任用実績のある者						
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	90	112			6		208
	平成28年度採用者数(名)	25	28			1		54
	平成29年度受験者数(名)	101	95			9		205
	平成29年度採用者数(名)	30	23			3		56
	平成30年度受験者数(名)	106	95			11		212

(新潟市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭・中高共通・特別支援学校教諭・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	臨任含む	受検資格を満たしている人で、国・公・私立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の正規教員として、5年以上の勤務経験があり、優れた知識・技能を有し、即戦力として活躍できる人。						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	職歴証明書							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	12	3		0	0		15
	平成28年度採用者数(名)	4	0		0	0		4
	平成29年度受験者数(名)	8	5		2	2		17
	平成29年度採用者数(名)	2	2	0	2	2		8
	平成30年度受験者数(名)	16	2		1	1		20

(静岡市1)

選考名称	教職経験者を対象とした選考(現職ア)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	臨任含む	現に国公立学校の教諭又は養護教諭(これらのうち任用期間を付した教諭等は含まない)として平成29年4月現在在職し、平成29年3月31日までに3年以上の実務経験をもつ者。ただし、受験する教員種別及び教科の実務経験に限る。						
	講師含む							
	非常勤含む							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(最終勤務校または現在勤務校の所属長証明を得たもの)を提出							
選考方法・試験内容	1次試験の教職・一般教養試験と教科専門試験の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	14	6			0		20
	平成29年度採用者数(名)	9	2			0		11
	平成30年度受験者数(名)	3	6			0		9

(静岡市2)

選考名称	教職経験者を対象とした選考(現職イ・元職・臨時講師)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む <input type="radio"/> 講師含む <input type="radio"/> 非常勤含む	<input type="radio"/> 現に国公立学校の教諭又は養護教諭(これらのうち任用期間を付した教諭等は含まない)として平成29年4月現在在職し、平成29年3月31日まで実務経験が3年未満の者。 <input type="radio"/> 国公立学校で教諭又は養護教諭(これらのうち任用期間を付した教諭等は含まない)で通算3年以上在職した者をもつ者。 <input type="radio"/> 静岡市内の国公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、平成28年度に勤務実績を有し、かつ直近の3箇年(平成26年度から平成28年度まで)通算18箇月以上勤務した者。							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(最終勤務校または現在勤務校の所属長証明を得たもの)を提出								
選考方法・試験内容	1次試験の教職・一般教養に代えて課題作文を実施								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		41	27			7		75
	平成28年度採用者数(名)		9	8			2		19
	平成29年度受験者数(名)		33	18			3		54
	平成29年度採用者数(名)		5	5			0		10
平成30年度受験者数(名)		30	16			4		50	

(浜松市1)

選考名称	特別選考Bーア		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	<input type="radio"/> 臨任含む <input type="radio"/> 講師含む <input type="radio"/> 非常勤含む	<input type="radio"/> 国公立学校の教諭・養護教諭(任用の期限を付した教諭等は含まない)として平成29年4月1日現在在籍し、3年以上実務経験を持つ現職。							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。								
選考方法・試験内容	第1次選考を面接と適性検査のみとする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		9	4			0		13
	平成28年度採用者数(名)		7	2			0		9
	平成29年度受験者数(名)		7	4			0		11
	平成29年度採用者数(名)		6	1			0		7
平成30年度受験者数(名)		3	4			0		7	

(浜松市2)

選考名称	特別選考Bーイ		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	国公立学校の教諭・養護教諭(任用の期限を付した教諭等は含まない)として平成29年4月1日現在在籍し、実務経験が3年未満の現職。							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の「課題作文、教職教養・一般教養」を免除する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)	3	0			0		3	
	平成28年度採用者数(名)	2	0			0		2	
	平成29年度受験者数(名)	2	2			0		4	
	平成29年度採用者数(名)	1	1			0		2	
	平成30年度受験者数(名)	5	0			1		6	

(浜松市3)

選考名称	特別選考Bーウ		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	国公立学校において通算12か月以上、教諭または養護教諭として勤務経験を有する者。 国公立学校に置いて臨時的任用の講師又は養護教諭として、平成28年度に勤務経験を有し、かつ直近の2年間で通算12か月以上勤務した者。静岡県内教育施設の職員として平成28年度に通算10か月以上勤務した者。							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長・職場の所属長が作成する勤務実績証明書を提出する。								
選考方法・試験内容	第1次選考の「教職教養・一般教養」と「課題作文」を選択して受験することができ、それ以外は一般選考受験者と同じ。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)	68	35			11		114	
	平成28年度採用者数(名)	13	6			0		19	
	平成29年度受験者数(名)	73	44			10		127	
	平成29年度採用者数(名)	16	5			0		21	
	平成30年度受験者数(名)	78	65			9		152	

(堺市1)

選考名称	現職対象選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種等(教科)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②平成29年4月1日現在、国公立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校または特別支援学校において、正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を附さない常勤講師として在職しており、平成30年3月31日までに同学校園で通算して2年以上の在職経験がある(見込み含む。)こと。						
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。							
選考方法・試験内容	面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	14	8			1	2	25
	平成28年度採用者数(名)	3	3			1	1	8
	平成29年度受験者数(名)	12	9			1	1	23
	平成29年度採用者数(名)	1	1			1		3
	平成30年度受験者数(名)	14	8					22

(堺市2)

選考名称	講師対象選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種等(教科)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②平成29年4月1日から5月15日までの間に堺市立学校園において、講師、養護助教諭又は実習助手(期限付き任用を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験を含む。)があること(任用期間は問わない。)。						
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。							
選考方法・試験内容	1次筆答試験を免除し、1次面接試験(集団・個人)、2次筆答試験・実技試験・面接試験(個人)により選考							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	116	145			20		281
	平成28年度採用者数(名)	27	26			4		57
	平成29年度受験者数(名)	65	137	10		17		229
	平成29年度採用者数(名)	15	22	2		2		41
	平成30年度受験者数(名)	118	160	12		22		312

(岡山市)

選考名称	講師経験者を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	① 平成28年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、「講師経験者を対象とした特別選考」、「理科教育推進の特別選考」、「スポーツ特別選考」で受験した者を除く。 ② 平成29年度に常勤講師等又は非常勤講師として岡山市の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。						
資格要件の確認方法	・特別選考申告書 ・平成29年度(平成28年度実施)岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写し。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)	5	4			1	0	10
	平成29年度受験者数(名)	29	19			3		51
	平成29年度採用者数(名)	8	5			1		14
	平成30年度受験者数(名)	51	30			3		84

※平成28年度受験者数は岡山県に含む

(北九州市1)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 臨任含む <input type="checkbox"/> 講師含む <input type="checkbox"/> 非常勤含む	①過去正規教員・・・過去5年間(平成29年3月31日まで)で、小学校、中学校又は特別支援学校(国公立を問わない)の正規教員として、通算1年間以上の勤務経験がある者(ただし、原則として受験する試験区分及び教科と同一の場合に限る。) ②講師経験者・・・過去5年間(平成29年3月31日まで)で、北九州市立学校の常勤講師、非常勤講師、養護助教諭又は栄養代理職員として、通算1年間以上の勤務経験がある者						
資格要件の確認方法	志願書提出時に在職証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	第一次試験のうち、筆記試験の教職教養を免除。その他の試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	71	80		28	11	12	202
	平成28年度採用者数(名)	14	16		4	1	2	37
	平成29年度受験者数(名)	81	92		37	11	12	233
	平成29年度採用者数(名)	26	8		11	1	1	47
	平成30年度受験者数(名)	64	157		32	11	12	276

(北九州市2)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	臨任含む	現職教員・・・現に小学校、中学校又は特別支援学校(国公立を問わない。)の正規 講師含む 教員として勤務している者(ただし、受験する試験区分及び教科と同一の場合に限 る。) 非常勤含む						
資格要件の確認方法	志願書提出時に在職証明書を提出させる							
選考方法・試験内容	第一次試験を全て免除し、第二次試験で模擬授業及び面接試験を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	14	11		5	2		32
	平成28年度採用者数(名)	4	4		2	1		11
	平成29年度受験者数(名)	12	8		7			27
	平成29年度採用者数(名)		1		4			5
	平成30年度受験者数(名)	17	8		5	2		32

(福岡市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種, 全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	○ 臨任含む	一般選考の受験資格(年齢以外)を満たし、かつ次の①及び②をいずれも満たす人 ①高等学校教諭以外の採用区分は、平成19年4月1日から平成29年4月30日までの間に、小学校等において、正規教員として通算3年以上又は常勤講師(フルタイム勤務のみ。養護助教諭含む。)として通算5年以上(正規教員としての勤務期間を含めてもよい。)の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く。)がある人 ②昭和33年4月2日以降に出生した人						
資格要件の確認方法	○ 講師含む		職歴証明書の提出(第2次試験合格者のみ)					
選考方法・試験内容	非常勤含む		選考方法:一般選考と別枠で行う。満40歳以下の場合、一般選考との併願が可能 試験内容:第1次試験は教養試験(一般教養分野)、論文(併願者は、加えて専門教科)。第2次試験は一般選考と同じ。					
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	116	89	8	59	15	1	288
	平成28年度採用者数(名)	24	16	0	11	3	0	54
	平成29年度受験者数(名)	150	97	9	63	21	2	342
	平成29年度採用者数(名)	38	21	3	13	2	1	78
	平成30年度受験者数(名)	143	115	10	46	17	1	332

(豊能地区1)

選考名称	常勤講師等経験者対象の選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	○ 臨任含む	<p>○昭和33年(1958年)4月2日以降に出生していること。 ○平成27年(2015年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日までの間に大阪府内の国公立学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験(常勤の経験に限る。)がある人で、その勤務経験が平成29年(2017年)3月31日までに通算3年以上あること。(平成28年(2016年)3月31日までの通算年数に、大阪府内の国公立学校における正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師※1(いずれも、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。以下「教諭等」という。)としての勤務経験(休職期間を除く。)を含めることができる。)又は、平成27年(2015年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日までの間に豊能地区内の公立小・中学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験(常勤の経験に限る。)がある人で、その勤務経験が平成29年(2017年)3月31日までに通算2年以上あること。(平成28年(2016年)3月31日までの通算年数に、豊能地区内の公立小・中学校における教諭等としての勤務経験(休職期間を除く。)を含めることができる。)</p> <p>※1・「任用の期限を付さない常勤講師」とは、日本国籍を有しない人が正規の教員として任用された場合をいい、同様の任用であれば職名は問わない。</p>							
	○ 講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は、在職証明書等の提出により確認。								
選考方法・試験内容	第一次選考テスト:面接 第二次選考テスト:面接、筆答、実技								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		51	50			11		112
	平成28年度採用者数(名)		6	4			0		10
	平成29年度受験者数(名)		66	68			16		150
	平成29年度採用者数(名)		5	9			2		16
平成30年度受験者数(名)		70	76			19		165	

(豊能地区2)

選考名称	現職教諭対象の選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	50	歳以下		
資格要件	臨任含む	<p>○昭和42年(1967年)4月2日以降に出生していること。 ○平成29年(2017年)4月1日現在、学校教育法上の国立学校、公立学校(大阪府内の学校を除く。)、私立学校に教諭等として在職しており、平成29(2017年)3月31日までに通算2年以上の在職経験があること。※2参照 ※2・出願校種教科等に必要の普通免許状を有したうえで、教諭等として平成29年(2017年)3月31日現在で1年以上教育課程内の授業等を担当した(時間数は問わないが、休職期間は除く。)実績のある校種教科等に限る。 ・「教諭」あるいは「講師」等の呼称に関わらず、雇用契約を一定期間ごとに更新する場合は、現職教諭対象の選考の受験資格には該当しない。</p>							
	講師含む								
	非常勤含む								
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は、在職証明書等の提出により確認。								
選考方法・試験内容	第一次選考テスト:面接 第二次選考テスト:面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		15	14			4	1	34
	平成28年度採用者数(名)		4	6			0	1	11
	平成29年度受験者数(名)		18	8			0	1	27
	平成29年度採用者数(名)		6	2			0	0	8
平成30年度受験者数(名)		17	12			2		31	

(6)いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別の選考

(埼玉県)

選考名称	埼玉教員養成セミナー特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	平成28年度埼玉教員養成セミナー受講生で受講修了見込の者							
資格要件の確認方法	出願時の志願書により確認							
選考方法・試験内容	論文試験及び面接試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	79						79
	平成28年度採用者数(名)	79						79
	平成29年度受験者数(名)	74						74
	平成29年度採用者数(名)	74						74
	平成30年度受験者数(名)	50						50

(東京都)

選考名称	東京教師養成塾生を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、特別支援学校小学部、特別支援学校中学部高等部・国語、社会、数学、理科、英語、保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	150名程度						満
資格要件	申込日現在、東京教師養成塾に在籍し、平成30年3月31日までに確実に修了できる見込みの者。養成塾の資格については、小学校教諭一種免許状課程又は特別支援学校教諭一種免許状課程認定大学(大学院を含む。)で、東京都教育委員会が連携する大学に在籍し、東京教師養成塾の講座等に参加でき、平成30年3月に卒業又は修了見込みで、「推薦基準」に基づき学長が推薦する者。							
資格要件の確認方法	東京教師養成塾に確認。							
選考方法・試験内容	一般選考とは別の日程で個人面接のみ実施する。 東京教師養成塾の作成した「講座の履修状況報告書」を徴し、総合的に判定する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							148
	平成28年度採用者数(名)							144
	平成29年度受験者数(名)							150
	平成29年度採用者数(名)							149
	平成30年度受験者数(名)							0

(神奈川県)

選考名称	かながわティーチャーズカレッジ修了者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成30年3月31日までに取得見込みの人で、「かながわティーチャーズカレッジ(チャレンジコース)」の平成29年度修了者							
資格要件の確認方法	修了を申告する書類の提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	71			16			87
	平成28年度採用者数(名)	40			6			46
	平成29年度受験者数(名)	80			7			87
	平成29年度採用者数(名)	45			3			48
	平成30年度受験者数(名)	68			12			80

(京都府)

選考名称	京都府「教師力養成講座」修了者に係る大学推薦特別推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校(国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語)特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	平成29年度実施の京都府「教師力養成講座」を良好な成績で修了した方。 平成30年3月において、大学を卒業見込み若しくは修了見込みの方。 小学校教諭の普通免許状、中学校教諭の普通免許状、高等学校の普通免許状、特別支援学校の普通免許状を現に有する方又は平成30年3月31日までに確実に取得できる見込みの方。 昭和43年4月2日以降に生まれた方。 京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員を志望する方。 京都府内どこにでも勤務できる方。ただし、北部採用枠については、京都府北部地域(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町)において採用後10年間程度勤務できる方。 地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない方。							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:面接試験(筆記試験免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト及び実技試験(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	42	15	/	9	/	/	66
	平成28年度採用者数(名)	34	7	/	6	/	/	47
	平成29年度受験者数(名)	42	12	/	5	/	/	59
	平成29年度採用者数(名)	31	6	/	5	/	/	42
	平成30年度受験者数(名)	40	14	7	6	/	/	67

(岡山県)

選考名称	特別選考F「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成28年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員候補者採用試験を特別選考Fで受験した者は除く。							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書及び「教師への道」研修の修了証書の写しを提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において面接試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	49	5	10	1	13	0	78
	平成28年度採用者数(名)	20	0	2	1	3	0	26
	平成29年度受験者数(名)	56	8	9	3	9	2	87
	平成29年度採用者数(名)	28	1	2	1	1	1	34
	平成30年度受験者数(名)	57	9	2	10	12	0	90

(山口県)

選考名称	山口県教師力向上プログラム修了者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 49 歳以下					
資格要件	平成28年度山口県教師力向上プログラムを修了した者							
資格要件の確認方法	平成28年度山口県教師力向上プログラム修了者名簿							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	27						27
	平成28年度採用者数(名)	26						26
	平成29年度受験者数(名)	31						31
	平成29年度採用者数(名)	28						28
	平成30年度受験者数(名)	32						32

(横浜市)

選考名称	特別選考⑤(アイ・カレッジ特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	横浜市教育委員会が設置するアイ・カレッジ(よこはま教師塾)の卒業者であること							
資格要件の確認方法	アイ・カレッジの成績表の提出							
選考方法・試験内容	一次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	61	24	0	2	0		87
	平成28年度採用者数(名)	31	10	0	1	0		42
	平成29年度受験者数(名)	45	14	0	2	0		61
	平成29年度採用者数(名)	28	9	0	2	0		39
	平成30年度受験者数(名)	54	22	0	2	0		78

(静岡市)

選考名称	特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小学校採用予定数の1/4程度						満
資格要件	第8期しずおか教師塾の卒塾を認定された者で、「特別選考試験」を希望する者							
資格要件の確認方法	しずおか教師塾の卒塾認定書							
選考方法・試験内容	専門試験、課題作文、適性検査、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	31						31
	平成28年度採用者数(名)	16						16
	平成29年度受験者数(名)	31						31
	平成29年度採用者数(名)	17						17
	平成30年度受験者数(名)	31						31

(堺市)

選考名称	ゆめ塾対象選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等(教科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②堺・教師ゆめ塾第10期を修了していること。							
資格要件の確認方法	修了証書の写しを出願時に添付。							
選考方法・試験内容	1次筆答試験を免除し、1次面接試験(集団・個人)、2次筆答試験・実技試験・面接試験(個人)により選考							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	48	18			2		68
	平成29年度採用者数(名)	29	8			1		38
	平成30年度受験者数(名)	43	26			7		76

(7)過去の合格者で大学院進学・修了後の採用を希望して辞退した者に対する特別の選考

(山形県)

選考名称	教職大学院修了見込者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	一般受験資格を満たし、平成28年4月から教職大学院に在籍し平成30年3月に修了見込みの者で、平成27年度以降実施した山形県公立学校教員選考試験に合格した者。ただし、合格した校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職についてのみ志願できる。								
資格要件の確認方法	志願書類と平成27、28年度データ(氏名、生年月日、試験合否等)により確認。								
選考方法・試験内容	第一次選考試験を免除する。第二次選考試験は、個人面接1、個人面接2、適性検査及び作文とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度受験者数(名)		2	0	0	0	0	0	2
	平成29年度採用者数(名)		2	0	0	0	0	0	2
平成30年度受験者数(名)		2	0	0	0	0	0	2	

(福井県)

選考名称	平成30年度大学院修士課程修了時特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)	7名						満	59
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次の①および②のいずれにも該当する者。 ①平成28年度または平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験において、平成30年度福井県公立学校教員採用選考の大学院修士課程修了時特別選考受験を認められた者。 ②平成30年3月31日までに、選択して受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者。								
資格要件の確認方法	大学院修士課程の成績証明書の提出 平成28年度および平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験関係公文書								
選考方法・試験内容	適性検査、個人面接、レポート								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			3	1				4
	平成28年度採用者数(名)			3	1				4
	平成29年度受験者数(名)		2	5	4				11
	平成29年度採用者数(名)		2	5	4				11
平成30年度受験者数(名)		3	4					7	

※平成29年度の受験者のうち、「中高一括」科目での受験者は「中学校」に計上。

(愛知県)

選考名称	大学院進学による採用辞退者に対する特別選考		新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)			満	59	歳以下			
資格要件	<p>次のア又はイ又はウの要件を満たすことが必要である。</p> <p>ア「平成27年度(26年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の①及び②の要件をともに満たし、「平成27年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。</p> <p>① 平成30年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みであること。</p> <p>② 平成30年4月1日までに、平成27年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。</p> <p>イ「平成28年度(27年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学又は在学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の①及び②の要件をともに満たし、「平成28年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。</p> <p>① 平成30年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みであること。</p> <p>② 平成30年4月1日までに、平成28年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。</p> <p>ウ「平成29年度(28年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)在学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の①及び②の要件をともに満たし、「平成29年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。</p> <p>① 平成30年3月31日までに大学院修士課程を修了又は修了見込みであること。</p> <p>② 平成30年4月1日までに、平成29年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。</p>								
資格要件の確認方法	<p>① 願書の所定欄に、平成29年度(昨年度)以前に受験した際の受験番号を記入する。</p> <p>② 大学院修了見込証明書を出願時に提出する。</p>								
選考方法・試験内容	第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)を行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		8	1	7	1	0	0	17
	平成28年度採用者数(名)		8	0	5	1	0	0	14
	平成29年度受験者数(名)		9	1	9	0	1	0	20
	平成29年度採用者数(名)		7	1	8	0	0	0	16
平成30年度受験者数(名)		8	3	8	0	0	0	19	

(大阪府)

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	今年度募集するすべての校種・教科(科目)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	50	歳以下		
資格要件	次の①から③のすべてを満たしていること。 ① 平成28年度又は平成29年度教員採用選考テストに合格後、大学院進(在)学を理由として大阪府教育委員会に申出書を提出の上、採用を辞退していること。 ② 平成29年度中に大学院修士課程を修了すること。 ③ 平成30年度4月1日までに平成28年度又は平成29年度教員採用選考テストで合格した校種等・教科(科目)の専修免許状が取得できること。ただし、複数の免許要件を課した募集区分の場合は、要件となる免許状のいずれかで専修免許状(H28テスト又はH29テストの受験資格となる「出願に必要な免許状」に係るもの)を取得できること。								
資格要件の確認方法	出願時に、H28又はH29テストの合格時の受験番号、一種免許状取得の時期及び校種等・教科(科目)、大学院修士課程の修了年月及び終了時取得できる専修免許状の校種等・教科(科目)を入力								
選考方法・試験内容	第3次選考(面接テスト)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		3	9	16	0	0	0	28
	平成28年度採用者数(名)		2	5	15	0	0	0	22
	平成29年度受験者数(名)		4	5	26	2	0	0	37
	平成29年度採用者数(名)		3	3	24	2	0	0	32
平成30年度受験者数(名)		3	4	18	0	0	0	25	

(奈良県)

選考名称	大学院・教職大学院特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	その他		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	前年度までの承認者数			満	39	歳以下		
資格要件	平成28年度奈良県教員採用試験合格者で、大学院・教職大学院特別選考受験承認書を受理している者。								
資格要件の確認方法	出願時の大学院・教職大学院特別選考受験承認書								
選考方法・試験内容	第2次試験の集団面接及び個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		2						2
	平成28年度採用者数(名)		1						1
	平成29年度受験者数(名)		4						4
	平成29年度採用者数(名)		4						4
平成30年度受験者数(名)		1						1	

(大阪市)

選考名称	大学院進(在)学者対象選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校又は中学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格に該当し、次のア～ウのすべてに該当している人 ア:平成28年度大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テストまたは平成29年度大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テストに合格後、大学院進(在)学を理由として大阪市教育委員会に辞退届を提出し、平成30年度大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テストにおける大学院進(在)学者対象選考該当者として受理されていること イ:平成29年度中に大学院修士課程等を修了すること ウ:平成30年4月1日までに、辞退届提出時に指定された校種教科の専修免許状が取得できること							
資格要件の確認方法	1度目の採用試験に合格後、卒業証明書及び第1種普通免許状の写しの提出を求める。 2度目の採用試験に合格後、専修免許状の写しの提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次選考と第2次選考(筆答・実技)を免除し、第2次選考(面接)のみとする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	5	1					6
	平成29年度採用者数(名)	3	1					4
	平成30年度受験者数(名)	1	0					1

(堺市)

選考名称	大学院対象選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等(教科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②次の(ア)(イ)(ウ)の全てを満たしていること。 (ア)平成28年度又は平成29年度堺市立学校教員選考試験(以下、それぞれ「H28試験」「H29試験」という。)に合格後、大学院修士課程(教職大学院を含む。以下同じ。)に進学又は在学中を理由として堺市教育委員会に申請書を提出し、採用を辞退していること。 (イ)平成29年度中に大学院修士課程を修了すること。 (ウ)平成30年4月1日までに「H28試験」又は「H29試験」で合格した校種等(教科)の専修免許状が取得できること。							
資格要件の確認方法	願書を堺市教育委員会に請求。資格要件を満たす人に願書を送付。 願書の経歴記入欄に受験資格に該当する免許要件等を記入。 選考試験合格後、修了証明書、専修免許状の写し等を提出。							
選考方法・試験内容	面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	3	2					5
	平成28年度採用者数(名)	2	1					3
	平成29年度受験者数(名)		3					3
	平成29年度採用者数(名)		2					2
	平成30年度受験者数(名)	1						1

(8) 小学校における特定の教科を対象とした特別の選考

(宮城県1)

選考名称	特別支援枠	新規・継続	本年度新規
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める		基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)	10名程度	
資格要件	小学校の特別支援学校枠を志願する場合は、小学校の普通免許状と特別支援学校の普通免許状の両方を有する者又は平成30年3月31日までに両方を取得見込みの者。		
資格要件の確認方法	出願時の申請及び2次選考時の免許状の写しの提出		
選考方法・試験内容	一般選考出願者と同様の試験内容による選考を行うが、採用枠内で合格・名簿登載にならなかった受験者においては一般選考に含めて選考を行う。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)		
	平成28年度採用者数(名)		
	平成29年度受験者数(名)		
	平成29年度採用者数(名)		
	平成30年度受験者数(名)	108	

(宮城県2) (再掲:(1)英語 英語枠)

選考名称	英語枠	新規・継続	本年度新規
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める		基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)	15名程度	
資格要件	小学校の英語枠を志願する場合は、小学校の普通免許状と中学校、高等学校いずれかの外国語(英語)教諭の普通免許状の両方を有する者又は平成30年3月31日までに両方を取得		
資格要件の確認方法	出願時の申請及び2次選考時の免許状の写しの提出		
選考方法・試験内容	一般選考出願者と同様の試験内容による選考を行うが、採用枠内で合格・名簿登載にならなかった受験者においては一般選考に含めて選考を行う。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)		
	平成28年度採用者数(名)		
	平成29年度受験者数(名)		
	平成29年度採用者数(名)		
	平成30年度受験者数(名)	27	

<小学校における特定の教科を対象とした特別の選考>

(茨城県)

選考名称	小学校教諭算数・理科教員	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校教諭算数・理科	特別免許状の活用	無
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に) 小学校教諭算数・理科各15名程度		
資格要件	一般選考の小学校教諭の要件を満たし、さらに中学校教諭数学又は理科の普通免許状を有する方(平成30年3月31日までに取得見込みの方を含む。)		
資格要件の確認方法	一般の小学校教諭の手続きに準じる。		
選考方法・試験内容	一般の小学校教諭と同一の試験を実施する。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	44	
	平成28年度採用者数(名)	29	
	平成29年度受験者数(名)	54	
	平成29年度採用者数(名)	34	
	平成30年度受験者数(名)	44	

(栃木県) (再掲:(1)英語 小学校における英語教育に係る特別選考(英語の免許による一部試験の免除))

選考名称	小学校における英語教育に係る特別選考(英語の免許による一部試験の免除)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に) 小学校で30名程度		
資格要件	ア 小学校教諭免許状を既に取得あるいは取得見込みの者。 イ 中学校教諭又は高等学校教諭の英語普通免許状等を既に取得あるいは取得見込みの者。		
資格要件の確認方法	英語の普通免許状等の写しまたは取得見込み証明書を提出させ、書類選考を実施。		
選考方法・試験内容	対象となった者は、第1次試験の一般教養試験を免除する。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)		
	平成28年度採用者数(名)		
	平成29年度受験者数(名)	62	
	平成29年度採用者数(名)	25	
	平成30年度受験者数(名)	75	

<小学校における特定の教科を対象とした特別の選考>

(東京都1)

選考名称	小学校(理科コース)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校全科	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		満 39 歳以下
資格要件	昭和53年4月2日以降に出生し、小学校教諭普通免許状及び理科の中学校又は高等学校教諭普通免許状を取得済みの者又は平成30年4月1日までに取得する見込みの者を対象とする。		
資格要件の確認方法	合格発表後に免許状の写しを提出させる。		
選考方法・試験内容	一般選考と同じ。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	59	
	平成28年度採用者数(名)	9	
	平成29年度受験者数(名)	41	
	平成29年度採用者数(名)	8	
	平成30年度受験者数(名)		

(東京都2)(再掲:(1)英語 小学校(英語コース))

選考名称	小学校(英語コース)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校全科	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		満 39 歳以下
資格要件	昭和53年4月2日以降に出生し、小学校教諭普通免許状及び英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状を取得済みの者又は平成30年4月1日までに取得する見込みの者を対象とする。		
資格要件の確認方法	合格発表後に免許状の写しを提出させる。		
選考方法・試験内容	一般選考と同じ。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	—	
	平成28年度採用者数(名)	—	
	平成29年度受験者数(名)	56	
	平成29年度採用者数(名)	9	
	平成30年度受験者数(名)		

< 小学校における特定の教科を対象とした特別の選考 >

(愛知県) (再掲:(1)英語 小学校英語特別選考)

選考名称	小学校英語特別選考	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		満 59 歳以下
資格要件	ア TOEFL(国際教育交換協議会)において、PBT470点以上又はiBT52点以上を取得した人 イ TOEIC((財)国際ビジネスコミュニケーション協会)において、500点以上を取得した人 ウ 実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)1級、準1級、又は2級を取得した人		
資格要件の確認方法	出願資格を満たすことを証明する書類として、主催者団体が発行する公式認定書又は合格証明書(いずれも原本に限る)を出願時に提出する。		
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験の成績に加味する。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)		
	平成28年度採用者数(名)		
	平成29年度受験者数(名)	111	
	平成29年度採用者数(名)	47	
	平成30年度受験者数(名)	124	

(三重県) (再掲:(1)英語 小学校英語教育推進者特別選考)

選考名称	小学校英語教育推進者特別選考	新規・継続	今年度新規
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		約10名
資格要件	要項に示した一般選考の申込資格1・2に加えて、小学校教諭普通免許状かつ中学校教諭英語の普通免許状を有する人、または平成30年3月31日までに取得見込の人。		
資格要件の確認方法	提出された免許状、もしくは取得見込状況をもとに審査する。		
選考方法・試験内容	第1次選考試験では一般選考における「筆答試験(教養)」を免除し、第2次選考試験では「中学校教諭(英語)の技能・実技」を実施。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)		
	平成28年度採用者数(名)		
	平成29年度受験者数(名)		
	平成29年度採用者数(名)		
	平成30年度受験者数(名)	19	

<小学校における特定の教科を対象とした特別の選考>

(奈良県) (再掲:(1)英語 小学校英語教育推進特別選考)

選考名称	小学校英語教育推進特別選考	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる
	(具体的に)		満 50 歳以下
資格要件	小学校教諭の普通免許状以外に英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状所有(平成30年3月31日までの取得見込みを含む)、若しくは、実用英語技能検定(日本英語検定協会)準1級合格以上、TOEFL(国際教育交換協議会)PBT550点以上若しくはCBT213点以上、iBT80点以上取得又は、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上取得のうち、いずれかの資格を所有する人		
資格要件の確認方法	第1次試験時の教員免許証コピー、資格証明書コピーの提出		
選考方法・試験内容	第1次試験では、一般の受験者と同じ試験を実施し、総得点に加点する。第2次試験では英語力を確認する個人面接を行う。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	15	
	平成28年度採用者数(名)	3	
	平成29年度受験者数(名)	20	
	平成29年度採用者数(名)	7	
	平成30年度受験者数(名)	24	

(岡山県1)

選考名称	小学校(理数枠)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		満 59 歳以下
資格要件	小学校普通免許状保有者で、かつ、中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの教諭普通免許状所有者(平成30年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む)		
資格要件の確認方法	願書による		
選考方法・試験内容	一般選考と同様		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	49	
	平成28年度採用者数(名)	11	
	平成29年度受験者数(名)	33	
	平成29年度採用者数(名)	10	
	平成30年度受験者数(名)	20	

<小学校における特定の教科を対象とした特別の選考>

(岡山県2)(再掲:(1)英語 小学校(英語枠))

選考名称	小学校(英語枠)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	採用予定数を明示する		基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)	20	
			満 59 歳以下
資格要件	小学校普通免許状保有者で、かつ、中学校英語、高等学校英語のいずれかの教諭普通免許状所有者(平成30年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む)、実用英語技能検定2級以上合格者、TOEFL(iBT)57点以上取得者又はTOEIC520点以上取得者(TOEICは公開テストによるスコアのみを対象とし、TOEFLとTOEICについては平成27年7月8日以降に受験した者に限る)		
資格要件の確認方法	願書による。ただし、実用英語技能検定、TOEFL又はTOEICで出願する者は、実施団体が発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。		
選考方法・試験内容	一般選考と同様		
実施状況			小
	平成28年度受験者数(名)		33
	平成28年度採用者数(名)		7
	平成29年度受験者数(名)		7
	平成29年度採用者数(名)		1
	平成30年度受験者数(名)		12

(佐賀県1)

選考名称	小学校特別選考(算数)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める		基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		
			満 49 歳以下
資格要件	「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の数学の普通免許状又は高等学校教諭の数学の普通免許状」の所有者又は平成30年3月末までに取得見込みの者。		
資格要件の確認方法	「中学校教諭の数学の普通免許状又は高等学校教諭の数学の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込証明書を受験申込時に提出する。		
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験ともに、まず小学校特別選考(数学)を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。		
実施状況			小
	平成28年度受験者数(名)		8
	平成28年度採用者数(名)		5
	平成29年度受験者数(名)		2
	平成29年度採用者数(名)		1
	平成30年度受験者数(名)		6

<小学校における特定の教科を対象とした特別の選考>

(佐賀県2)

選考名称	小学校特別選考(理科)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		
資格要件	「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の理科の普通免許状又は高等学校教諭の理科の普通免許状」の所有者又は平成30年3月末までに取得見込みの者。		
資格要件の確認方法	「中学校教諭の理科の普通免許状又は高等学校教諭の理科の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込証明書を受験申込時に提出する。		
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験ともに、まず小学校特別選考(理科)を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	9	
	平成28年度採用者数(名)	5	
	平成29年度受験者数(名)	7	
	平成29年度採用者数(名)	3	
	平成30年度受験者数(名)	6	

(佐賀県3)(再掲:(1)英語 小学校特別選考(英語))

選考名称	小学校特別選考(英語)	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		
資格要件	「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の所有者又は平成30年3月末までに取得見込みの者。		
資格要件の確認方法	「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込証明書を受験申込時に提出する。		
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験ともに、まず小学校特別選考(英語)を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	8	
	平成28年度採用者数(名)	5	
	平成29年度受験者数(名)	7	
	平成29年度採用者数(名)	4	
	平成30年度受験者数(名)	4	

<小学校における特定の教科を対象とした特別の選考>

(鹿児島県(再掲):(1)英語 小学校英語特別選考)

選考名称	小学校英語特別選考	新規・継続	本年度新規
対象となる校種・教科	小学校教諭	特別免許状の活用	無
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		
資格要件	小学校普通免許状及び中学校英語又は高等学校英語の普通免許状を有し(取得見込みの者を含む)、次の各号のいずれかに該当するもの。 ア 実用英語技能検定準1級以上の資格所有者 イ TOEFL550点(PBT)・79点(iBT)以上の者 ウ TOEIC730点以上の者		
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)		
選考方法・試験内容	出願時の証明書をもとに審査会で選考 1次試験における教職教養試験の免除		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)		
	平成28年度採用者数(名)		
	平成29年度受験者数(名)		
	平成29年度採用者数(名)		
	平成30年度受験者数(名)	3	

(さいたま市)

選考名称	小学校音楽専科特別選考	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		
資格要件	小学校で主に音楽の授業を行う教員を希望する者で、小学校教諭普通免許状及び中学校教諭(音楽)普通免許状を有している者又は平成30年3月31日までに取得見込の者		
資格要件の確認方法	教員免許状の写し又は教員免許取得見込証明書の提出		
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて小論文を実施。第2次試験の実技試験は教科等に関する実技を実施。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)	34	
	平成28年度採用者数(名)	8	
	平成29年度受験者数(名)	28	
	平成29年度採用者数(名)	8	
	平成30年度受験者数(名)	40	

<小学校における特定の教科を対象とした特別の選考>

(岡山市)

選考名称	理科教育推進の特別選考	新規・継続	継続
対象となる校種・教科	小学校・中学校理科・小中連携推進(中学校教諭普通免許状が理科の者に限る)	特別免許状の活用	無
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ
	(具体的に)		満 44 歳以下
資格要件	「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー: CST)養成拠点構築プログラム」を修了した者。(平成30年3月31日までに終了見込みの者を含む。)。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者及び岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を理科教育推進の特別選考で受験した者は除く。		
資格要件の確認方法	・特別選考申告票 ・「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し(修了した者のみ)		
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、総合教養試験を免除する。		
実施状況		小	
	平成28年度受験者数(名)		
	平成28年度採用者数(名)	6	
	平成29年度受験者数(名)	8	
	平成29年度採用者数(名)	4	
	平成30年度受験者数(名)	4	

※平成28年度受験者数は岡山県に含む

(9) その他の資格や経歴等による特別の選考

(北海道)

選考名称	工業・水産特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	工業(電気通信)及び水産(商船)		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	・工業(電気通信)～高等学校教諭の普通免許状(工業)を有している者で、第1級又は第2級総合無線通信士の免許を所有しているもの								
資格要件の確認方法	証明機関の発行する資格(技術)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写しを出願時に提出(出願時に写しを提出した場合は、第1次検査時に原本を確認)								
選考方法・試験内容									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				1				—
	平成28年度採用者数(名)				1				—
	平成29年度受験者数(名)				1				—
	平成29年度採用者数(名)				1				—
	平成30年度受験者数(名)								0

(岩手県)

選考名称	特定教科特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校(中国語、フランス語、家庭)		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	志願する教科の高等学校教諭普通免許状を有する者で以下の条件を満たす者。中国語は国語又は英語の高等学校普通免許状所有者。フランス語は英語の高等学校普通免許状所有者。家庭は調理師又は栄養士の資格を有する者。								
資格要件の確認方法	教員免許状及び必要な資格を確認できる書類を提出させ確認。								
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				2				2
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)				5				5
	平成29年度採用者数(名)				1				1
	平成30年度受験者数(名)				2				2

(宮城県)

選考名称	地域枠		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)	5名程度						満	59
資格要件	小学校の地域枠を志願する場合は、南三陸教育事務所管内に採用後10年間程度勤務できる者。								
資格要件の確認方法	一般選考と同様								
選考方法・試験内容	一般選考出願者と同様の試験内容による選考を行うが、採用枠内で合格・名簿登載にならなかった受験者においては一般選考に含めて選考を行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)			73						73

(秋田県1)

選考名称	栄養教諭特別選考(任用換)		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	栄養教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)	5名程度						満	55
資格要件	次の①と②のいずれも満たす者 ①秋田県の市町村立学校又は県立学校の学校栄養職員の現職(3年以上の教諭経験)又は、秋田県の学校栄養職員として採用され、3年以上学校の勤務経験があり、現在、人事交流等により市町村や県の部局、秋田大学教育文化学部附属学校に勤務している者 ②栄養教諭普通免許状を有する者(平成30年3月31日までの取得見込を含む)。								
資格要件の確認方法	所持資格証明書、在職証明書								
選考方法・試験内容	第一次選考試験:なし 第二次選考試験:小論文、面接、適性検査								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							12	12
	平成28年度採用者数(名)							9	9
	平成29年度受験者数(名)							9	9
	平成29年度採用者数(名)							8	8
平成30年度受験者数(名)							2	2	

(秋田県2)

選考名称	教職大学院特別選考		新規・継続				本年度新規		
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	45	歳以下
資格要件	志願種別の普通免許状。教職大学院を平成30年3月31日までに修了見込みの者、又は平成27年4月1日以降に修了した者。								
資格要件の確認方法	教職大学院の修了(見込み)証明書又は修了証書の写し								
選考方法・試験内容	第一次選考試験:教科(科目)、面接、実技(該当者のみ) 第二次選考試験:小論文、面接、適性検査、理科実技(該当者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								0
	平成29年度採用者数(名)								0
			3	3		2			8

(茨城県)

選考名称	大学等推薦特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)	小学校12名程度、中学校12名程度、高等学校8名程度、特別支援学校1名程度					満	現役学生	歳以下
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、(1)茨城県公立学校教員を第一志望とする方、(2)成績が優秀であるとともに、茨城県の教員として優れた実践力を発揮することが期待できる方で、茨城県教育委員会が指定する大学等の学長等が推薦する方、(3)平成29年3月31日までに、大学、大学院を卒業見込み又は終了見込みである方。								
資格要件の確認方法	指定する大学に送付した「大学等推薦特別選考実施要項」に基づき、必要書類を大学等がとりまとめて郵送する。								
選考方法・試験内容	第1次試験を全て免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		10	6	0	1			17
	平成28年度採用者数(名)		10	6	0	1			17
	平成29年度受験者数(名)		11	8	2	1			22
	平成29年度採用者数(名)		11	8	2	1			22
			12	11	7	1			31

(栃木県1)

選考名称	若手人材を対象とする一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、教科・科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	29	歳以下	
資格要件	平成29年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受け、平成30年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において同校種、教科、科目を志望する者。							
資格要件の確認方法	「平成29年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)」のコピーを提出。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	31	23	14	5	4		77
	平成28年度採用者数(名)	24	11	10	4	2		51
	平成29年度受験者数(名)	31	15	12	3	2		63
	平成29年度採用者数(名)	20	8	4	2	2		36
	平成30年度受験者数(名)	37	20	18	3	6		84

(栃木県2)

選考名称	特別支援学級担当等の経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小中学校併せて15名程度			満	44	歳以下	
資格要件	ア、イ、ウのいずれかに該当する者。 ア 特別支援学校教諭免許状をすでに取得あるいは取得見込みの者。 イ 平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間に栃木県内の講師(非常勤講師を含む)等として通算で12月以上の特別支援学級担当又は特別支援学校勤務経験がある者。 ウ 平成29年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受けた者。ただし、小・中学校を受験した者。							
資格要件の確認方法	自己推薦書に加えて、上記アの者は特別支援学校教諭免許状の写し又は取得見込み証明書、上記イの者は勤務状況報告書、上記ウの者は平成29年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)のコピーを提出。							
選考方法・試験内容	書類選考で対象となった者で、上記ア又はイの者は、第1次試験の一般教養試験と集団面接を免除。上記ウの者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	64	57					121
	平成28年度採用者数(名)	10	7					17
	平成29年度受験者数(名)	57	49					106
	平成29年度採用者数(名)	12	7					19
	平成30年度受験者数(名)	49	55					104

(埼玉県1)

選考名称	大学推薦特別選考(特例)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高校(理科)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	50	歳以下		
資格要件	以下の①～④のすべての要件を満たす者のうち、大学等が推薦する者。 ①埼玉県の教員となることを第1希望とし、埼玉県教育委員会が求める教師像にふさわしい資質と能力を有する者。 ②在籍している理科系の大学院の課程を平成30年3月31日までに修了見込みの者。 ③健康で、学業成績が優秀であり、豊かな人間性を有する者。 ④理科学分野において高度な専門的知識・経験を有し、生徒の科学に対する興味・関心を高め、科学技術に関する基礎的素養や論理的・科学的に考える力を育成したり、国内外において科学技術の進展をリードする人材を育成したりする意欲のある者。								
資格要件の確認方法	大学が作成した推薦書及び理科学分野に関する研究内容についての申出書								
選考方法・試験内容	第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職科目)に代えて論文試験。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				1				1
	平成28年度採用者数(名)				0				0
	平成29年度受験者数(名)				1				1
	平成29年度採用者数(名)				1				1
平成30年度受験者数(名)				0				0	

(埼玉県2)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	<大学推薦>小学校、中学校(理科、技術)、高校(数学、理科) <教職大学院>全校種		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	50	歳以下		
資格要件	(大学推薦) 以下の①～③(高等学校においては④を含む。)のすべての要件を満たす者のうち、大学等が推薦する者 ①埼玉県の教員となることを第1希望とし、埼玉県教育委員会が求める教師像にふさわしい資質と能力を有する者 ②在籍している大学等を平成30年3月31日までに卒業見込み又は修了見込みの者 ③健康で、学業成績が優秀であり、豊かな人間性を有する者 ④志願する教科の高等学校教諭専修免許状を所有している者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者(教職大学院) 校種、教科を問わず、以下の①～④のすべての要件を満たす者のうち、大学等が推薦する者 ①埼玉県の教員となることを第1希望とし、埼玉県教育委員会が求める教師像にふさわしい資質と能力を有する者 ②在籍している教職大学院の課程を平成30年3月31日までに修了見込みの者 ③健康で、学業成績が優秀であり、豊かな人間性を有する者 ④志願する教科の専修免許状を平成30年3月31日までに取得見込みの者								
資格要件の確認方法	大学等が作成した推薦書								
選考方法・試験内容	第1次試験免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		145	46	10	0	0	0	201
	平成28年度採用者数(名)		103	32	6	0	0	0	141
	平成29年度受験者数(名)		158	36	19	0	0	0	213
	平成29年度採用者数(名)		124	23	10	0	0	0	157
平成30年度受験者数(名)		165	37	18	1	0	0	221	

(千葉県・千葉市)

選考名称	特定教科特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校(福祉・水産・看護・情報)	特別免許状の活用	有					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	平成29年4月1日現在で、次の①、②のいずれかに該当する者 福祉 ① 正規採用の介護福祉士として3年以上の実務経験がある者 ② 介護福祉士資格を有し、介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む)の専任教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤講師を含む)として3年以上の実務経験を有する者 水産 ① 正規採用の3級海技士(航海)又は(機関)として3年以上の実務経験がある者 ② 3級海技士(航海)又は(機関)の資格を有し、海技士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む)の専任教員(水産科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤講師を含む)として3年以上の実務経験がある者 情報 ① 情報技術に係る次のいずれかの資格を保有しているものであって、かつ情報システムの開発、保守、または運用にかかわる職に、正規採用として3年以上の実務経験を有する者 基本情報技術者、応用情報技術者、ITストラテジスト、システムアーキテクト、プロジェクトマネージャー、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、ITサービスマネージャー、システム監査技術者 看護 ① 正規採用の看護師、保健師、助産師として、3年以上の実務経験を有する者 ② 看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有し、看護師養成機関の専任教員(実習助手を含む)として3年以上の実務経験を有する者 * ①、②とも現在、勤務していなくても可							
資格要件の確認方法	実務経験証明書で確認する。							
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養・専門教科を免除し、小論文・集団面接のみを課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			24				24
	平成28年度採用者数(名)			2				2
	平成29年度受験者数(名)			2				2
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			6				6

(神奈川県)

選考名称	社会人経験者 ウ	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校・水産	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	教員普通免許状を所有していない社会人経験者。三級海技士(航海又は機関)の資格を有し、平成29年3月31日現在、資格に基づく実務経験が3年以上あり、教育職員免許法第5条第3項による特別免許状の申請が可能なる人。							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類。内定後、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			0				0
	平成28年度採用者数(名)			0				0
	平成29年度受験者数(名)			1				1
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			1				1

(富山県)

選考名称	特別選考 特定資格	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	資格により異なる	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成30年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者 全ての種目…臨床心理士 中高理科(全科目)・工業(薬業)…薬剤師 中高家庭…調理師 中高工業(建築)…1級建築士 中高情報…情報処理技術者試験合格者(詳細は実施要項参照) 中高福祉…介護福祉士・医師・看護師 特別支援学校…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士							
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		12					12
	平成28年度採用者数(名)		5					5
	平成29年度受験者数(名)		10					10
	平成29年度採用者数(名)		2					2
	平成30年度受験者数(名)		7		1			8

※中高一括で検査を実施しているため、中高の人数を「中」の欄に記載。

(石川県)

選考名称	教育職員普通免許状(看護)を有しない看護受験者を対象とした選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	中高・看護	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 49 歳以下					
資格要件	一般選考の受験資格アとウを満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の看護受験者のうち、看護師免許証を有し、かつ、看護師、保健師又は助産師として、平成29年3月31日現在、3年以上(休職、育児休業を除く)の勤務経験がある者 一般選考受験資格 ア)地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者 ウ)昭和43年4月2日以降に生まれた者							
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書を提出し、採用候補者となった者は、受験資格に該当する職歴証明を提出。							
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容から、筆記試験における総合教養を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)		3	中に含む				3

(福井県1)

選考名称	教育エキスパート特別選考①専門教育分野		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	中高数学、中高理科、高校農業、高校工業、高校福祉、高校商業		特別免許状の活用					有	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	民間企業等で3年以上の実務経験を有する者または博士の学位を有する者で、かつ教科に関する専門的知識や技能(資格)を有する者 教員免許状所有の有無は問わない								
資格要件の確認方法	辞令の写しまたは在職証明書の提出、博士号学位所有証明書の提出								
選考方法・試験内容	教科等専門(筆記)試験、個人面接、実績調書								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								2
	平成29年度採用者数(名)								0
平成30年度受験者数(名)								3	

(福井県2)

選考名称	教育エキスパート特別選考②英語教育分野		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	中高英語		特別免許状の活用					有	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	・英語を母語とする外国籍を有し、教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者 ・5年以上の英語圏在住経験もしくは3年以上の民間企業等における英語を用いた実務経験を有する英語の堪能な日本人 教員免許状所有の有無は問わない								
資格要件の確認方法	辞令の写しまたは在職証明書の提出								
選考方法・試験内容	英語による作文、個人面接(英語による面接を含む)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)								4
	平成29年度採用者数(名)								1
平成30年度受験者数(名)								2	

(長野県1)

選考名称	発達障がい児童生徒特別支援のための選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	LD(学習障がい)、ADHD(注意欠陥多動性障がい)、広汎性発達障がい等、発達障がいに関する専門の知識を有し、学校やNPO等で当該児童生徒に関わった経験が平成29年3月31日現在で3年以上ある者。							
資格要件の確認方法	履歴書、学校やNPO等の所属長の推薦書							
選考方法・試験内容	一次選考は専門教科(二次選考の際に参考とする)と書類審査、二次選考は個人面接を2回実施、適性検査、小学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技あり。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	1	0					1
	平成28年度採用者数(名)	0	0					0
	平成29年度受験者数(名)	2	2					4
	平成29年度採用者数(名)	0	0					0
	平成30年度受験者数(名)	3	1					4

(長野県2)

選考名称	博士号取得者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校(数学・理科)高等学校(数学・理科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	数学分野又は理科分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識をもち、理数好きの生徒を育てる意欲のある者。中学校教諭志願者は、中学校教諭免許状を有すること。高等学校教諭志願者は、教員免許資格の有無は問わない。							
資格要件の確認方法	履歴書、所属長等の推薦並びに博士号の学位を証明するもの(写しも可)							
選考方法・試験内容	一次選考は免除。二次選考は他と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		1	15				16
	平成28年度採用者数(名)		0	4				4
	平成29年度受験者数(名)		1	13				14
	平成29年度採用者数(名)		0	3				3
	平成30年度受験者数(名)		3					3

(長野県3)

選考名称	補欠合格者を対象とした選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	前年度、本県の教員採用選考で補欠合格となった者で、前年度と同一の校種・区分を志願する者。前年度に受験した選考区分で受験。								
資格要件の確認方法	前年度採用選考の補欠合格者名簿。								
選考方法・試験内容	一次選考免除。二次選考は他と同様。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)	9	16	8	7	4		44	
	平成28年度採用者数(名)	6	12	4	5	1		28	
	平成29年度受験者数(名)	14	18	10	2	2	0	46	
	平成29年度採用者数(名)	9	11	3	2	1	0	26	
	平成30年度受験者数(名)	18	19	8	8	3	1	57	

(長野県4)

選考名称	大学推薦選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	<p>小学校・中学校教諭志願者は、小学校及び中学校教諭免許状をいずれも有している者(取得見込を含む)で、中学校教諭免許状については、「国語・社会・数学・理科・英語」のうち1教科以上、これに加え「音楽・美術・保健体育・技術・家庭」のうち1教科以上、計2教科以上の複数免許状を有している者(取得見込を含む)。</p> <p>特別支援学校教諭志願者は、小学校、中学校、特別支援学校教諭免許状(免許状の領域は問わない)をいずれも有している者(取得見込を含む)。長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、平成29年3月に卒業見込又は大学院修了見込の者。</p>								
資格要件の確認方法	依頼した大学長の推薦書								
選考方法・試験内容	一次選考は専門教科(二次選考の際に参考とする)と書類審査、二次選考は個人面接を2回実施、適性検査、小学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語、特別支援学校は実技あり。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)	7	4		5			16	
	平成28年度採用者数(名)	7	4		5			16	
	平成29年度受験者数(名)	7	4		5			16	
	平成29年度採用者数(名)	7	4		5			16	
	平成30年度受験者数(名)	7	4		5			16	

(岐阜県1)

選考名称	多文化共生特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	児童生徒及び保護者に対して、文化や生活習慣の違いを説明できる程度のポルトガル語又はタガログ語の語学力を有する者								
資格要件の確認方法	第1次選考試験の面接試験の一部を当該外国語により行う。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の面接試験の一部を当該外国語により行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		0	1					1
	平成28年度採用者数(名)		0	0					0
	平成29年度受験者数(名)		0	0					0
	平成29年度採用者数(名)		0	0					0
			0	1					1

(静岡県1)

選考名称	ポルトガル語・スペイン語が堪能な者を対象とした選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校教員、中学校教員、養護教員		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	日常生活や学校に必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、口頭で表現できる。								
資格要件の確認方法	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と口頭面接を実施し、その語学力、表現力を確認する。								
選考方法・試験内容	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と口頭面接を実施するほかは、一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		1	3			0		4
	平成28年度採用者数(名)		0	1			0		1
	平成29年度受験者数(名)		0	2			0		2
	平成29年度採用者数(名)		0	0			0		0
			3	2			0		5

(静岡県2)

選考名称	医療機関等での勤務経験を有する者を対象とした選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校・福祉		特別免許状の活用					有	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	学士以上の学位。看護師、保健師または助産師の資格を持ち、資格取得後、医療機関において、医療、福祉関係の業務に従事した5年以上の勤務経験があること。								
資格要件の確認方法	大学の卒業証明書、勤務経験証明書、資格に関する証明書の提出								
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				1				1
	平成28年度採用者数(名)				0				0
	平成29年度受験者数(名)				2				2
	平成29年度採用者数(名)				1				1
平成30年度受験者数(名)				1				1	

(静岡県3)

選考名称	身体障害者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	教員種別に応じた「必要とする免許状」を有し、かつ身体障害者手帳の交付を受けている者で、自力により通勤ができ、介助なしで職務の遂行ができる者。								
資格要件の確認方法	身体に関する証明書(身体障害者手帳の写しを貼付)								
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		1	1	3	3	0		8
	平成28年度採用者数(名)		0	1	1	2	0		4
	平成29年度受験者数(名)		0	0	5	2	0		7
	平成29年度採用者数(名)		0	0	0	0	0		0
平成30年度受験者数(名)		1	1	3	4	0		9	

(静岡県4)

選考名称	博士号を取得した者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・理科(物理・化学・生物・地学)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	大学院の課程に学び博士号を取得した者で、「理科好きの生徒」を育て科学の発展に寄与する人材を育てる意欲のある者							
資格要件の確認方法	博士号取得に関する証明書							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			13				13
	平成28年度採用者数(名)			0				0
	平成29年度受験者数(名)			7				7
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			6				6

(愛知県1)

選考名称	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン(タガログ)語)堪能者選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	選択してください。		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン(タガログ)語)が堪能(児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる程度の語学力を有すること。)であること。							
資格要件の確認方法	願書の該当欄に○印を記入し、「外国語」欄にポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン(タガログ)語のうち堪能な外国語名を記入する。							
選考方法・試験内容	第1次試験の口述試験に加えて、当該外国語による面接を行い、面接を行い、面接の結果を成績に加味する。それ以外については、「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	11	19		1			31
	平成28年度採用者数(名)	2	4		1			7
	平成29年度受験者数(名)	8	15	8	1			32
	平成29年度採用者数(名)	2	5	2	0			9
	平成30年度受験者数(名)	6	16	11	0			33

(愛知県2)

選考名称	昨年度の補欠者に対する特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	「平成29年度愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「補欠」であった人が、「平成29年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合。							
資格要件の確認方法	願書の所定欄に、昨年度の受験番号を記入する。							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	33	42	18	19	7	2	121
	平成28年度採用者数(名)	9	29	6	13	2	2	61
	平成29年度受験者数(名)	26	36	11	10	6	3	92
	平成29年度採用者数(名)	13	11	4	4	1	2	35
	平成30年度受験者数(名)	13	24	12	17	8	0	74

(愛知県3)

選考名称	介護理由退職者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次のすべての要件を満たす人に限る。 ア 愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の正規任用教員(教諭・養護教諭・栄養教諭)であった人が、平成24年3月31日以降に、介護を理由にして退職し、出願時に退職校の校長が作成した「介護理由退職者特別選考証明書」の提出ができる人(退職時と同一校種、同一教科での出願に限る。) イ 出願時に、退職日から3年以内の人							
資格要件の確認方法	「介護理由退職者特別選考証明書」の提出							
選考方法・試験内容	第2次試験の集団討議、個人面接及び小論文での選考							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	1	1	0	2
	平成28年度採用者数(名)	0	0	0	1	1	0	2
	平成29年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年度受験者数(名)	0	1	0	0	0	0	1

(愛知県4)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校教諭・数学、理科、技術 高等学校教諭・数学、理科、工業 特別支援学校教諭・数学、理科、技術、工業(機械)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	次のすべての要件を満たす人に限る。 ア 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人 イ 受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学(短期大学、大学院を含む)を卒業見込みの人で、在学する大学の学長又は学部長の推薦が得られた人								
資格要件の確認方法	「大学推薦特別選考推薦書」の提出								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			24	22	0			46
	平成28年度採用者数(名)			13	7	0			20
	平成29年度受験者数(名)			24	24	1			49
	平成29年度採用者数(名)			13	9	1			23
	平成30年度受験者数(名)			20	19	0			39

(愛知県5)

選考名称	教職大学院修了見込者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	次の要件を満たす人に限る。 ア 現在、教職大学院の在籍し、平成30年3月31日までに修了見込みの人 イ 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人								
資格要件の確認方法	「教職大学院修了見込証明書」、「教職大学院成績証明書」、「教職大学院修了見込者特別選考推薦書」、「教職大学院で学んだことを教員としてどう生かすかについて」の作文の提出								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		13	2	2	0	0	0	17
	平成28年度採用者数(名)		4	0	1	0	0	0	5
	平成29年度受験者数(名)		11	5	0	0	0	0	16
	平成29年度採用者数(名)		5	2	0	0	0	0	7
	平成30年度受験者数(名)		6	0	6	0	0	0	12

(愛知県6)

選考名称	特別支援教育に関する特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>ア 「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 次の要件を満たす人 (ア) 小中学校の特別支援教育担当を強く希望する人 (イ) 「盲学校教諭免許」、「聾学校教諭免許」、「養護学校教諭免許」について、いずれかを現に所有している人、又は、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成30年3月31日までに取得見込みの人</p> <p>イ 「特別支援学校教諭」の受験区分 (ア) 「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、そのうち2種類以上を現に所有している人、又は、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち2領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成30年3月31日までに取得見込みの人。</p> <p>なお、「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、そのうち1種類を現に所有し、かつ、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成30年3月31日までに取得見込みの人</p>							
資格要件の確認方法	「特別支援学校教諭の領域が記された普通免許状の写し」又は「普通免許状取得見込証明書」の提出							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験の成績に加味する。また「特別支援学校教諭」の受験区分へ出願した人は第1次試験においては、論文試験と口述試験を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	75	5		161			241
	平成28年度採用者数(名)	24	1		24			49
	平成29年度受験者数(名)	75	11		139			225
	平成29年度採用者数(名)	22	1		18			41
	平成30年度受験者数(名)	63	5		134			202

(滋賀県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	高等学校教員(理科・工業・農業)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	<p>理学・農学・工学系の大学院修士課程以上を修了した者で、民間企業、研究機関等で常勤の職としての勤務経験が平成29年3月31日までに通算3年(休職期間を除く)以上あり、その勤務経験により受験教科の分野における高度な専門的知識・経験または技能を有する者</p>							
資格要件の確認方法	出願時に大学院修士課程以上の修了証の写しと勤務経験(勤務実績)について記入した「社会人特別選考実績報告書」を提出する。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験における一般教養・教職教養の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)			7				7

(京都府1)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・英語		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	スペシャリスト特別選考で10名以内			満	49	歳以下	
資格要件	英語を母語とする方。日本国内において、英語教育関係の職の勤務経験が5年以上ある方。教員の職務を行う上で必要とされる日本語の能力を有する方。特別免許状の授与条件を満たす方。							
資格要件の確認方法	実績報告書に、勤務経験(勤務実績)について記入し、実績の詳細をまとめたもの等実績の確認できる書類を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			0				0
	平成28年度採用者数(名)			0				0
	平成29年度受験者数(名)			1				1
	平成29年度採用者数(名)			1				1
				1				1

(京都府2)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校(数学、理科)、高等学校(数学、理科)、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	平成30年3月において、上記免許状取得のための対象となる大学等を卒業見込み若しくは修了見込みの方。 小学校教諭一種(専修)免許状、中学校(数学)教諭一種(専修)免許状若しくは中学校(理科)教諭一種(専修)免許状又は高等学校(数学)教諭一種(専修)免許状若しくは高等学校(理科)教諭一種(専修)免許状又は特別支援学校教諭一種(専修)免許状を現に有する方又は平成30年3月31日までに確実に取得できる見込みの方。ただし、特別支援学校については、小学校、中学校及び高等学校のうちいずれかの普通免許状を合わせて有する方又は平成30年3月31日までに確実に取得できる方。 昭和43年4月2日以降に生まれた方。 京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員(小学校、中学校(数学、理科)、高等学校(数学、理科)又は特別支援学校)となることを強く志望し、京都府が求める教員像にふさわしい資質と能力を備えた方。 公立学校教員としての適性を有し、健康かつ学業成績が優秀な方。 京都府内どこにでも勤務できる方。ただし、北部採用枠については、京都府北部地域(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町)において採用後10年間程度勤務できる方。 地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない方。							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:面接試験(筆記試験免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト及び実技試験(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	60	16	21	15			112
	平成28年度採用者数(名)	9	11	5	5			30
	平成29年度受験者数(名)	61	10	21	8			100
	平成29年度採用者数(名)	34	3	5	3			45
		54	13	20	19			106

(和歌山県)

選考名称	博士号取得者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校の数学、理科、工業、農業		特別免許状の活用					有	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	志願する教科に関する博士号を有していれば、教員免許状がなくても受検可能。								
資格要件の確認方法	学位記等の写しの提出								
選考方法・試験内容	一次:作文、面接 二次:論文、実技、面接、適性検査								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				12				12
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)				5				5
	平成29年度採用者数(名)				1				1
平成30年度受験者数(名)				3				3	

(岡山県1)

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	<p>次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)次の要件をすべて満たす者。 ①平成29年度(平成28年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]又は特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考で受験した者を除く。 ②平成29年度、常勤講師等又は非常勤講師として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。</p>								
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書、所属長の推薦書及び平成29年度(平成28年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写しを提出させる。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		65	44	26	15	6	0	156
	平成28年度採用者数(名)		30	14	14	10	4	0	72
	平成29年度受験者数(名)		56	29	35	18	6	3	147
	平成29年度採用者数(名)		22	14	18	11	3	1	69
平成30年度受験者数(名)		74	62	24	17	12	0	189	

(岡山県2)

選考名称	特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、小学校(理数)及び中学校の理科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:GST)養成拠点構築プログラム」を修了した者(平成30年3月31日までに修了見込みの者を含む)。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考で受験した者を除く。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し(修了した者のみ)を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	20	5					25
	平成28年度採用者数(名)	11	2					13
	平成29年度受験者数(名)	18	2					20
	平成29年度採用者数(名)	6	1					7
	平成30年度受験者数(名)	19	3					22

(岡山県3)

選考名称	小学校(地域枠)／中学校(地域枠)／養護教諭(地域枠)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校／中学校／養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小学校25／中学校15／養護教諭2			満	59	歳以下	
資格要件	津山市・高梁市・新見市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町・美咲町で原則として採用後10年以上勤務可能である者。							
資格要件の確認方法	願書による。							
選考方法・試験内容	一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	107	112			14		233
	平成29年度採用者数(名)	23	15			2		40
	平成30年度受験者数(名)	82	89			13		184

(広島県・広島市1)

選考名称	グローバル人材を対象とした特別選考【教職経験者(英語)】	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校(外国語 英語)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	<p>地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、且つ、昭和33年4月2日以降に生まれた者であって、次の要件を満たす者。</p> <p>ア 出願時に、外国国籍を有する者であること、又は、出願時に、日本国籍を有する者のうち、過去に外国国籍を有した者であること。</p> <p>イ 母語が英語であること、又は、それと同等の英語の語学力を有していること。</p> <p>ウ 外国での居住経験があり、大学(日本国内の4年制大学、又は、それと同等の外国の教育機関とする。)を卒業していること。</p> <p>エ 広島県・広島市の公立学校で臨時的任用職員、非常勤講師、外国語実習助手等として、平成25年4月から平成29年8月までの期間に通算36月以上の英語の指導に関する教職経験があること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認するとともに、面接試験において詳細を確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		1	1				2
	平成28年度採用者数(名)		0	1				1
	平成29年度受験者数(名)		1	1				2
	平成29年度採用者数(名)		1	1				2
	平成30年度受験者数(名)		1	1				2

(広島県・広島市2)

選考名称	グローバル人材を対象とした特別選考【外国人留学生等】	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	一般選考と同じ	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	<p>一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次のアからウまでの要件を満たす者が受験できます。</p> <p>ア 出願時に、外国国籍を有する者であること、又は、出願時に、日本国籍を有する者のうち過去に外国国籍を有した者であること。</p> <p>イ 外国での居住経験があること。</p> <p>ウ 出願時に、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第1の4の表の「留学」の在留資格を有し、同表に定める機関において教育を受ける活動を行う者であること、又は、過去に該当在留資格を有し、当該活動を行った者であること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認するとともに、面接試験において詳細を確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		1					1
	平成28年度採用者数(名)		1					1
	平成29年度受験者数(名)				1			1
	平成29年度採用者数(名)				0			0
	平成30年度受験者数(名)		1	1				2

(山口県1)

選考名称	教職大学院修了見込者特別選考		新規・継続		今年度新規			
対象となる校種・教科	全ての志願区分(校種等)の教科(科目等)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	現に(出願時点で)教職大学院に在籍し、平成30年3月31日までに教職大学院を修了見込みの者							
資格要件の確認方法	教職大学院修了見込み証明書							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、実技(小学校を除く) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技(小学校のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	7	3	2	0	0	0	12

(山口県2)

選考名称	博士号取得者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校の理科(物理、化学、生物、地学)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	博士号を有し、高度の専門的な知識又は技能を高等学校理科教育の推進に生かす意欲のある者							
資格要件の確認方法	博士号の学位を証明するものまたはその写しにより確認							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			0				0
	平成28年度採用者数(名)			0				0
	平成29年度受験者数(名)			0				0
	平成29年度採用者数(名)			0				0
	平成30年度受験者数(名)			1				1

(香川県)

選考名称	特別選考 I ④		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	現に本県公立学校において、実習助手又は寄宿舎指導員の職(臨時又は非常勤の者を除く。)に5年以上ある者。							
資格要件の確認方法	願書に記入された職歴内容で確認する。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			1	0			1
	平成28年度採用者数(名)			0	0			0
	平成29年度受験者数(名)			1	0			1
	平成29年度採用者数(名)			0	0			0
	平成30年度受験者数(名)			0	0			0

(愛媛県)

選考名称	講師等特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校教員、特別支援学校教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	39	歳以下	
資格要件	平成29年度愛媛県公立学校教員採用選考試験において、本年度志願する試験区分、教科・科目の第1次選考試験に合格した者。ただし、第1次選考試験の全てを免除された者は除く。 小学校教員を志願する者については、平成29年4月1日から同年6月7日までの間に愛媛県教育委員会が1日以上任期を定めて常勤講師又は非常勤職員として任用し、小学校又は中学校において勤務した者。 特別支援学校教員を志願する者については、平成29年4月1日から同年6月7日までの間に愛媛県教育委員会が1日以上任期を定めて常勤講師又は非常勤講師として任用した者。							
資格要件の確認方法	講師等特別選考申請書による。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験の全てを免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	17			5			22

(福岡県)

選考名称	教職大学院修了予定者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校、中学校、県立高等学校、特別支援学校のすべての教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	平成30年3月31日までに教職大学院を修了見込の者								
資格要件の確認方法	出願時に大学(学部)及び教職大学院における成績証明書を提出させる。								
選考方法・試験内容	第一次試験において集団討論、集団面接及び実技試験を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			3	3				6
	平成28年度採用者数(名)				3				3
	平成29年度受験者数(名)		4	3	4	1			12
	平成29年度採用者数(名)		1	2	2				5
平成30年度受験者数(名)		3	11	4				18	

(沖縄県)

選考名称	特定の資格を有する者を対象とした特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校・家庭(調理)		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	45	歳以下		
資格要件	ア 高等学校の「家庭」の免許状を所持する者 イ 次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア) 専門調理師である者 (イ) 調理師免許を有し、調理師免許取得後5年以上調理の業務又は調理実習について教育研究若しくは実地指導の経験を有する者								
資格要件の確認方法	ア 職務経歴書(様式3) イ 専門調理師又は調理師免許の資格を有することを示す書類の写し								
選考方法・試験内容	資格に該当すると認められた者は一般選考の第一次試験を受験し、第一次試験に合格した場合は第二次試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)				1				1
	平成28年度採用者数(名)				1				1
	平成29年度受験者数(名)				0				0
	平成29年度採用者数(名)				0				0
平成30年度受験者数(名)				0				0	

(仙台市)

選考名称	仙台市退職者特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満		歳以下	
資格要件	受験資格を満たし、かつ次のア、イの両方に該当する者 ア、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭として36月以上の勤務実績があり、仙台市退職者特別選考出願意志確認書の交付を受けた上で、仙台市立学校を退職した者 イ、退職時に45歳未満であり、かつ退職後5年(育児休業に引き続く場合は育児休業期間との通算で6年、介護を理由として延長を承認された方は最大10年)を経過しない者							
資格要件の確認方法	仙台市退職者特別選考出願意志確認書の写しの提出							
選考方法・試験内容	第1次選考(専門教養・教養・実技試験)及び第2次選考の実技試験を免除する							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	0	0	0		0	0	0

(さいたま市1)

選考名称	小学校大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	さいたま市が指定した大学(大学院・教職大学院を含む)の推薦を受け、さいたま市立小学校教員を第一志望とする者							
資格要件の確認方法	大学作成の推薦書により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	41						41
	平成28年度採用者数(名)	33						33
	平成29年度受験者数(名)	38						38
	平成29年度採用者数(名)	31						31
	平成30年度受験者数(名)	35						35

(さいたま市2)

選考名称	特別支援教育特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	さいたま市立小・中・特別支援学校の特別支援教育担当教員を希望する方で、次の①、②のいずれかに該当する者 ①小学校教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状(領域を問わない)又は中学校教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状(領域を問わない)を所有している方又は平成30年3月31日までに取得見込の者。 ②平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間に於いて、特別支援教育担当教員としての勤務経験が2年以上の者。							
資格要件の確認方法	教員免許状の写し(取得見込証明書)又は実務に関する証明書による確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施。2次試験において、志願区分での実技試験のほか、特別支援教育に関する面接試験を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	40	28					68
	平成28年度採用者数(名)	12	8					20
	平成29年度受験者数(名)	33	28					61
	平成29年度採用者数(名)	6	7					13
	平成30年度受験者数(名)	43	24					67

(横浜市)

選考名称	特別選考③(大学推薦特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校(数学、理科、英語)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	(1)小学校 受験資格を満たし、小学校一種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする方。 (2)中学校・高等学校(数学・理科) 受験資格を満たし、中学校一種(専修)普通免許状(数学又は理科)取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする方。 (3)中学校・高等学校(英語) 受験資格を満たし、中学校一種(専修)普通免許状(英語)取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする方。ただし、次の(ア)から(ウ)のいずれかの級・スコアを有する者を対象とする。 (ア) 実用英語技能検定 準1級 (イ) TOEIC (IPは除く) 800点以上 (ウ) TOEFL iBT 80点以上							
資格要件の確認方法	(1)学長による推薦書 (2)学生時代の活動における実績報告書 (3)学業成績証明書(各大学の様式による) (4)級・スコアを証明する書類(英語のみ)							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、合格者は、一次試験を免除する。 書類選考に合格しなかった人は、一般選考第一次試験を受験することができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	156	92					248
	平成28年度採用者数(名)	91	35					126
	平成29年度受験者数(名)	147	53					200
	平成29年度採用者数(名)	103	16					119
	平成30年度受験者数(名)	161	74					235

(川崎市)(再掲:(3)国際貢献活動経験、(4)民間企業等勤務経験)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士又は看護師のいずれかの資格を有し、その資格に基づく常勤の職として、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの間に通算2年以上勤務した経験(休職期間等勤務の実態がない期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人							
資格要件の確認方法	受験に必要な資格を証明する書類及び任命権者等の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、教科専門試験 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	13	25		4	8		50
	平成28年度採用者数(名)	5	2		0	0		7
	平成29年度受験者数(名)	15	20	2	5	9		51
	平成29年度採用者数(名)	2	1	2	0	1		6
	平成30年度受験者数(名)	8	24	3	5	11		51

※(3)国際貢献活動、(4)民間企業等勤務経験、(9)その他は同一の選考のため、「実施状況」は合算値。

(相模原市)

選考名称	社会人経験者(ウ)		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士又は看護師のいずれかの資格を有し、その資格に基づく常勤の社員、職員として平成22年4月1日から平成29年3月31日までの7年間に、通算2年以上の勤務経験(育児休業、休職、停職等の期間を除く)を有する者							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	1	0			1		2

(新潟市)

選考名称	教職大学院特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校教諭・中高共通・特別支援学校教諭・養護教諭		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	教職大学院に在籍し、平成30年3月31日までに終了見込みの者で、在学する大学院の学長が推薦する者								
資格要件の確認方法	教職大学院学長による在学証明書と推薦書								
選考方法・試験内容	出願者は、筆記検査(Ⅰ・Ⅱ)を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)								0
	平成28年度採用者数(名)								0
	平成29年度受験者数(名)		1	1					2
	平成29年度採用者数(名)		1	0	0				1
平成30年度受験者数(名)		3	1		1			5	

※中高共通の出願者は「中」の欄に記載

(静岡市)

選考名称	前年度の補欠者を対象とした選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	前年度の静岡市教員採用選考試験で補欠となったが、採用候補者とならなかった者								
資格要件の確認方法	補欠通知の写しの提出								
選考方法・試験内容	1次試験の教職・一般教養と教科専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		4	2			1		7
	平成28年度採用者数(名)		4	0			1		5
	平成29年度受験者数(名)		3	3			1		7
	平成29年度採用者数(名)		3	2			1		6
平成30年度受験者数(名)		0	6			2		8	

(浜松市1)

選考名称	バイリンガル選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	日常生活や学校現場に必要なポルトガル語又はスペイン語を理解し、口頭及び簡単な文章で表現できる者。							
資格要件の確認方法	受験者の自己申告							
選考方法・試験内容	1次選考時に特別面接を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	2	2					4
	平成28年度採用者数(名)	0	0					0
	平成29年度受験者数(名)	1	3					4
	平成29年度採用者数(名)	1	0					1
	平成30年度受験者数(名)	5	3			1		9

(浜松市2)

選考名称	発達支援推進教員選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	特別支援学校教諭普通免許状を取得又は取得見込みの者 特別支援教育担当者としての経験がある者							
資格要件の確認方法	受験者の自己申告							
選考方法・試験内容	1次選考時に特別面接を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	9	4			0		13
	平成28年度採用者数(名)	6	0			0		6
	平成29年度受験者数(名)	10	7			0		17
	平成29年度採用者数(名)	3	0			0		3
	平成30年度受験者数(名)	6	3			0		9

(京都市)

選考名称	フロンティア特別選考 理数工コース		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・数学, 理科 高等学校・数学, 理科, 工業		特別免許状の活用		有				
募集人員	その他		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	フロンティア特別選考(3コース)で10名以内			満	44	歳以下		
資格要件	一般選考の資格要件に以下の①又は②の受験資格を追加 ①平成29年3月31日時点で、博士号を取得している者で、受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する者 ②大学・企業又は研究機関等において、研究・開発・調査等に関する勤務経験から、受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する者 ※特別免許状の授与条件を満たしている者は、普通免許状を所有しない者及び取得見込みのない者も受験可能。								
資格要件の確認方法	①出願時に学位授与証明書を提出 ②内定時に職歴証明書を提出								
選考方法・試験内容	第1次試験 一般・教職教養及び専門筆記試験に替えて論文試験を実施								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)			2	15				17
	平成28年度採用者数(名)			1	1				2
	平成29年度受験者数(名)			3	11				14
	平成29年度採用者数(名)				1				1
平成30年度受験者数(名)			2	10				12	

(堺市)

選考名称	大学等推薦選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校小学部、中学校・特別支援学校中学部(数学、美術、技術、家庭)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	(1)堺市立学校教員を第1志望とし、平成30年度の採用を希望する者 (2)学業成績が優秀であるとともに、堺市の教員として優れた実践力を発揮することが期待できる者 (3)昭和33年4月2日以降に出生した者 (4)平成30年3月31日までに、上記1で定める大学等を卒業見込み若しくは修了見込みであり、《出願に必要な免許状》を現に有する者又は平成30年4月1日までに確実に取得できる見込みの者 (5)地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者								
資格要件の確認方法	大学を通じて提出された推薦書、レポート、成績証明書等より資格要件について確認。選考試験合格後、卒業証明書や免許状の写し等を提出。								
選考方法・試験内容	1次筆答試験を免除し、1次面接試験(集団・個人)、2次筆答試験・実技試験・面接試験(個人)により選考								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		39	38					77
	平成28年度採用者数(名)		22	19					41
	平成29年度受験者数(名)		25	13					38
	平成29年度採用者数(名)		6	6					12
平成30年度受験者数(名)		29	11					40	

(岡山市) (再掲: (8)小学校特定教科)

選考名称	理科教育推進の特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校理科・小中連携推進(中学校教諭普通免許状が理科の者に限る)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラム」を修了した者。(平成30年3月31日までに終了見込みの者を含む。)。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者及び岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を理科教育推進の特別選考で受験した者は除く。							
資格要件の確認方法	・特別選考申告票 ・「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し(修了した者のみ)							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)	6	1					7
	平成29年度受験者数(名)	8	2					10
	平成29年度採用者数(名)	4	1					5
	平成30年度受験者数(名)	4	0					10

※平成28年度受験者数は岡山県に含む

(北九州市)

選考名称	教職大学院修了者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	学校教育法の規程に基づく教職大学院を修了した者、または受験日の属する年度内に修了予定の者							
資格要件の確認方法	志願書提出時に提出させる教職大学院修了証明書(修了予定者は修了見込証明書)にて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち筆記試験の教職教養を免除し、筆記試験の専門教科、適性検査、実技試験、面接試験を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	3	0	0	0	0	0	3
	平成28年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年度受験者数(名)	3	3	0	0	0	0	6

(福岡市)

選考名称	教職大学院修了者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種, 全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	40	歳以下	
資格要件	区分A: 学校教育法の規定に基づく教職大学院を修了した人又は平成30年3月31日までに修了見込みの人 区分B: 学校教育法の規定に基づく教職大学院を平成30年4月1日から平成31年3月31日までに修了見込みの人							
資格要件の確認方法	教職大学院における研究実績をまとめたものを提出(志願書提出時) 教職大学院修了(見込み)証明書の提出(第2次試験合格者のみ)							
選考方法・試験内容	選考方法: 第1次試験前に書類選考を行う。第1次合格者の選考は一般選考と別枠で行う。 試験内容: 第1次試験は、教養試験(一般教養分野)と論文。第2次試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	4	4	0	1	0	1	10
	平成28年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年度受験者数(名)	13	7	0	1	0	0	21
	平成29年度採用者数(名)	2	1	0	0	0	0	3
	平成30年度受験者数(名)	18	27	0	1	0	0	46

(豊能地区)

選考名称	大学等推薦者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校(美術、技術、家庭)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	○昭和42年(1967年)4月2日以降に出生していること。 ○小学校又は中学校の「美術」・「技術」・「家庭」の教諭一種(専修)普通免許状取得の課程認定を受けている大学、大学院又は教職大学院在籍者のうち、推薦要件を満たす者で、学長等が推薦する者。							
資格要件の確認方法	大学等からの推薦書等により確認							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト: 面接 第2次選考テスト: 面接、筆答、実技(小学校のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	50						50
	平成28年度採用者数(名)	18						18
	平成29年度受験者数(名)	43	8					51
	平成29年度採用者数(名)	18	5					23
	平成30年度受験者数(名)	58	15					73

4 特別免許状を活用した選考

	特別の選考の種類	特別免許状を活用した選考					
			特別の選考				一般選考
			英語の資格	スポーツ・芸術での技能や実績	民間企業等勤務経験	その他	
1 北海道	○	○			○		
2 青森県	○	○	○		○		
3 岩手県	○	○		○	○		
4 宮城県							
5 秋田県	○	○		○	*	*	
6 山形県	○*						○*
7 福島県							
8 茨城県	○	○			○		
9 栃木県	○	○		○	○		
10 群馬県							
11 埼玉県	○	○			○		
12 千葉県	○	○				○	
13 東京都							
14 神奈川県	○	○				○	○
15 新潟県	○	○			○		
16 富山県							
17 石川県	○*	○*				○*	
18 福井県	○	○				○	
19 山梨県	○	○			○		
20 長野県							
21 岐阜県							
22 静岡県	○	○			○	○	
23 愛知県	○	○			○	*	
24 三重県	○	○			○		
25 滋賀県	○*	○*				○*	
26 京都府	○	○		○	○	○	
27 大阪府	○						○
28 兵庫県	○	○			○		○*
29 奈良県	○	○			○		
30 和歌山県	○	○		○		○	
31 鳥取県	○	○			○		
32 島根県	○						○
33 岡山県	○	○	○		○		
34 広島県	○	○		○	○	○	
35 山口県	○	○			○	*	
36 徳島県	○	○			○		
37 香川県	○	○			○		
38 愛媛県							
39 高知県	○	○			○		
40 福岡県							
41 佐賀県	○	○			*	○*	
42 長崎県							
43 熊本県							
44 大分県	○	○			○		
45 宮崎県	○	○			○		
46 鹿児島県	○	○			○		
47 沖縄県							

特別の選考の種類	特別免許状を活用した選考						
	特別の選考						一般選考
	英語の資格	スポーツ・芸術での技能や実績	民間企業等勤務経験	その他			
48 札幌市	○	○			○		
49 仙台市							
50 さいたま市							
51 千葉市	○	○				○	
52 横浜市							
53 川崎市							
54 相模原市							
55 新潟市							
56 静岡市							
57 浜松市							
58 名古屋市							
59 京都市	○	○	○*	○		○	○
60 大阪市							
61 堺市							
62 神戸市							
63 岡山市							
64 広島市	○	○		○	○	○	
65 北九州市							
66 福岡市							
67 熊本市							
68 豊能地区							
	39 (36)	36 (34)	3 (2)	8 (8)	26 (28)	13 (13)	6 (4)

(注) *は前年度から変更のあった県市を表す。また、()内は前年度の数値である。

4 特別免許状を活用した選考

(1) 特別免許状を活用した特別の選考

※ 実施縣市一覧は、前々ページを参照。

資格要件等の詳細は「3.試験免除・特別の選考等 3 特別の選考(〇〇～〇〇ページ)」を参照。

(2) 特別免許状を活用した一般選考

県市名	対象とする校種・教科	資格要件	選考方法・試験内容
山形県	高校建築	大学(短期大学を除く)において、科目に係る正規の課程を修めて卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者。	普通免許状を所有する者と同じ。
神奈川県	特別支援学校 自立活動担当	次の(1)～(3)を全て満たし、かつ(4)又は(5)のいずれかに該当する人 (1)昭和33年4月2日以降に出生した人 (2)地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に規定する欠格事項に該当しない人 (3)言語聴覚士の場合は言語聴覚士の資格、臨床心理士の場合は臨床心理士の資格を有し、その資格に基づく職務経験が出願時に3年以上ある人 (4)特別支援学校自立活動教諭免許状を所有している人又は平成30年3月31日までに取得見込みの人 (5)教育職員免許法第5条第3項による特別免許状の申請が可能なる人	(1)第1次試験:一般教養試験 (2)第2次試験:論文試験、協議、個人面接
大阪府	高等学校「工業実習」	次の①から④のすべてを満たしていること。 ①平成29年3月31日までに、職業能力開発促進法で定める技能士(1級機械加工技能士又は2級機械加工技能士)の資格を取得していること。 ②高等学校教諭の「工業」又は「工業実習」の普通免許状を所有(所要資格を得ている場合を含む。)していないこと。 ③高等学校を卒業した者(通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを修了した者を含む。)。ただし、文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認められた者を含む。その他、教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しないこと。 ④法人格を有する民間企業又は官公庁等において、常勤の職としての勤務経験が平成29年3月31日までに通算5年(休職期間を除く。)以上あること。なお、勤務経験には、独立行政法人国立協力機構法(平成14年法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員等としての活動経験を含めることができます(廃止前の国際協力事業団法のきていに基づく活動経験を含む。))。	・【一般選考】<一般対象者>C社会人経験者(イ特別免許状取得を前提とする者): 第1選考(筆答テスト)、第2次選考(面接テスト)、第3次選考(筆答テスト、実技テスト、面接テスト) ・【一般選考】<教員チャレンジテスト対象者>C社会人経験者(イ特別免許状取得を前提とする者): 第2次選考(面接テスト)、第3次選考(筆答テスト、実技テスト、面接テスト) (補足事項) ※当該出願区分は、【一般選考】<一般対象者>及び<教員チャレンジテスト対象者>における加点区分である。 <一般対象者>については、第1次選考に10点加点。 <教員チャレンジテスト対象者>については、第2次選考に10点加点。

県市名	対象とする校種・教科	資格要件	選考方法・試験内容
兵庫県	高校・「看護」「福祉」	<p>「看護」 平成30年3月31日現在、休職・育児休業等、勤務実態のない期間を除き、国公立および民間病院・保健所等において、「看護師」「助産師」「保健師」の正規職員として5年以上の勤務経験を有し(看護学校の教官経験を含む)、かつ勤務を行うのに必要な高い専門知識・技能を有する者</p> <p>「福祉」 平成30年3月31日現在、休職・育児休業等、勤務実態のない期間を除き、国公立および民間病院・保健所等において、「介護福祉士」の正規職員として5年以上の勤務経験を有し、かつ勤務を行うのに必要な高い専門知識・技能を有する者</p>	一般選考と同様。 特別免許状授与を前提とした社会人特別選考として実施
島根県	高等学校教諭 農業(土木・造園・畜産)、工業(電気・機械・建築)、商業、水産(漁業・機関・製造)	高等学校教諭の普通免許状を有しない者で、出願する教科に関する社会的実務経験を5年程度有する者	一般の受験者と同じ
京都市	中学校・数学, 理科 高等学校・数学, 理科	校種・教科については、当該校種及び教科の普通免許状を所有及び取得見込のない場合でも受験することが可能	一般選考と同様